オンラインマニュアル

プリンターソフトウエアの詳細

808-895324-502-A
初版

商標について

MultiWriter、NMPS、MOPYING、PrintAgentは日本電気株式会社の登録商標です。
Microsoft、Windows、Windows NT、MS-DOSは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
i486は米国Intel Corporationの商標です。
HP 7550は米国Hewlett-Packard Companyの商標です。
ESC/Pはセイコーエプソン株式会社の登録商標です。
NetWare、IntranetWareは米国Novell, Inc.の登録商標です。
Macintosh、Mac OS、QuickDraw、QuickDraw GX、LocalTalk、TrueType、漢字Talkは米国Apple Computer, Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
IBM、PS/V、PC/ATは米国International Business Machines Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
UNIXオペレーティングシステムはX/Openカンパニーリミテッドがライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。
TranXitはPuma Technology, Inc.の登録商標です。
AdobeおよびAcrobatはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
DocuWorksは富士ゼロックス株式会社の商標です。

Windows 98はMicrosoft Windows 98 operating systemの略です。Windows 98 Second EditionはMicrosoft Windows 98 Second Edition operating systemの略です。Windows 95はMicrosoft Windows 95 operating systemの略です。Windows 2000はMicrosoft Windows 2000 Professional operating systemおよびMicrosoft Windows 2000 Server operating systemの略です。Windows NT 4.0はMicrosoft Windows NT Workstation operating system Version 4.0およびMicrosoft Windows NT Server network operating system Version 4.0の略です。Windows NT 3.51はMicrosoft Windows NT Workstation operating system Version 3.51およびMicrosoft Windows NT Server network operating system Version 3.51の略です。Windows 3.1はMicrosoft Windows operating system Version 3.1の略です。

その他記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

ご注意

1. 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
2. 本書の一部はアドビシステムズ社で著作権を所有しており、その許可の下に転載されています。
3. 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
4. NECの許可なく複製・改変などを行うことはできません。
5. 本書は内容について万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
6. プリンターの機能の一部は使用する環境あるいはソフトウエアによってはサポートされない場合があります。
7. 運用した結果の影響については5項および6項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

808-895324-502-A 初版

本書について

このマニュアルは以下の機種のプリンタードライバーとPrintAgentについて説明しています。説明は特に指定のない限り全機種共通のものとなります。
また、オペレーティングシステム(OS)、その他についても同様に特に指定のない限り説明は共通とします。
Windows 98は、Windows 98 Second Editionを含むものとします。

- MultiWriter 2300
- MultiWriter 2100
- MultiWriter 210S

本文中で使用の記号について

このマニュアルでは、3種類の記号を使用しています。それぞれの記号の意味を次に示します。

記　号	内　容
重要	この注意事項および指示を守らないと、プリンターを含むコンピューターシステムに影響を与える障害が発生するおそれがあることを示しています。
チェック	この注意事項および指示を守らないと、プリンターが正しく動作しない可能性があることを示しています。
ヒント	プリンターを使用する際に知っておくと便利なことや参考になることを記載しています。

目次

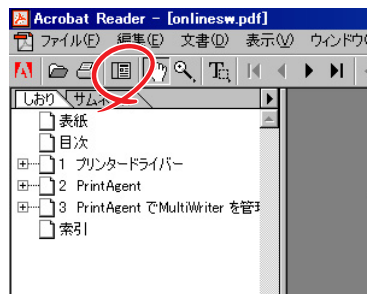
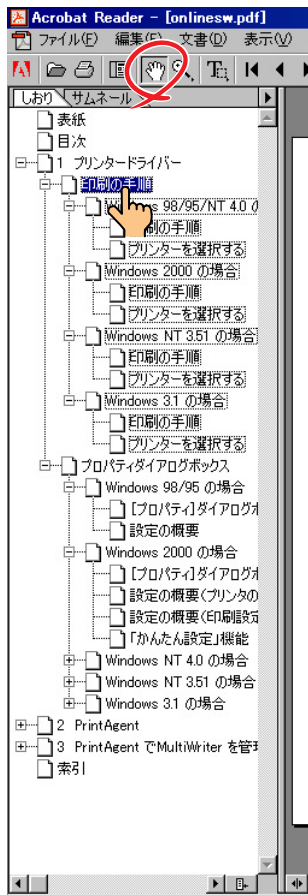
オンラインマニュアルの使い方

このオンラインマニュアルは、コンピューターの画面上で目的のページを検索しやすいように、しおりやサムネール、リンクを設定しています。ここでは、しおりやサムネール、リンクの使い方、印刷方法などをAcrobat Reader 4.0.5Jを使用して簡単に説明します。Acrobat Readerの詳しい説明についてはヘルプメニューの[Readerのヘルプ]をご覧ください。

目的のページを表示する

[しおり]、[サムネール]のナビゲーション機能やリンク機能を使って目的のページを表示します。

しおりを使う

しおりは目次のようなものです。しおりを表示させると全体の内容が一覧でき、そこから見たいページを選ぶこともできます。

1. [パレット表示]ボタンをクリックし、パレットを表示する。
2. [しおり]タブをクリックし、しおりパレットを一番上に表示する。

3. [手のひら]ツールクリックする。

4. 表示させたいしおりを選びクリックする。

しおりの上へ[手のひら]ツールを移動すると｢指さし｣の形に変わるので、その場所をクリックしてください。

選んだしおりのページが表示されます。

階層化された項目は、項目名の左側に[+]、[—]の記号が表示されます。その下の階層は[+]を押すと表示し、[—]を押すと非表示になります。

15

1 プリンタードライバー

プリンタードライバーはMultiWriterで印刷を行うためのソフトウエアです。本章では一般的な印刷の手順と印刷の詳細を設定するためのプロパティダイアログボックスの概要を各OSに分けて説明します。

印刷の手順

- Windows 98/95/NT 4.0の場合
- Windows 2000の場合
- Windows NT 3.51の場合
- Windows 3.1の場合

プロパティーダイアログボックス

- Windows 98/95/NT 4.0の場合
- Windows 2000の場合
- Windows NT 3.51の場合
- Windows 3.1の場合

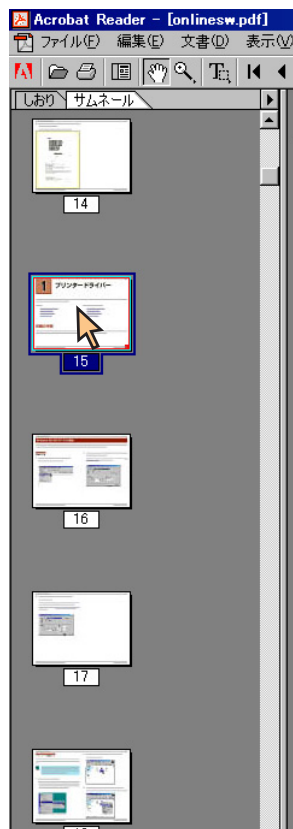
印刷の手順

本項の説明は、MultiWriter 2300を選択して進めています。ここでは、各OSの一般的な印刷手順を説明します。お使いになるアプリケーションによってはメニュー構成など多少異なる点があるかもしれません。詳細はアプリケーションのマニュアルをご覧ください。

All Rights Reserved. Copyright 2000, NEC Corporation　808-895324-502-A　初版

サムネールを使う

サムネールはそのページの全体のイメージを小さく表示したものです。表示したいページを見つけ、ダブルクリックすることで目的のページを表示することができます。

1. [パレット表示]ボタンをクリックし、パレットを表示する。
2. [サムネール]タブをクリックし、サムネールパレットを一番上に表示する。

3. [手のひら]ツールクリックする。

4. 表示させたいページのサムネールをダブルクリックする。

サムネールの上へ[手のひら]ツールを移動すると「矢印」の形に変わるので、その場所をダブルクリックしてください。

選んだページが表示されます。

15

1 プリンタードライバー

プリンタードライバーはMultiWriterで印刷を行うためのソフトウエアです。本章では一般的な印刷の手順と印刷の詳細を設定するためのプロパティダイアログボックスの概要を各OSに分けて説明します。

印刷の手順
- Windows 98/95/NT 4.0の場合
- Windows 2000の場合
- Windows NT 3.51の場合
- Windows 3.1の場合

プロパティーダイアログボックス
- Windows 98/95/NT 4.0の場合
- Windows 2000の場合
- Windows NT 3.51の場合
- Windows 3.1の場合

印刷の手順

本項の説明は、MultiWriter 2300を選択して進めています。ここでは、各OSの一般的な印刷手順を説明します。お使いになるアプリケーションによってはメニュー構成など多少異なる点があるかもしれません。詳細はアプリケーションのマニュアルをご覧ください。

All Rights Reserved. Copyright 2000, NEC Corporation 808-895324-502-A 初版

リンクを使う

リンクは目的のページへジャンプする機能です。本マニュアルでは、目次ページや文章内の青の下線文字はリンクの設定がしてあります。[手のひら]ツールを使ってリンクの設定先にジャンプすることができます。

1. [手のひら]ツールをクリックする。
2. リンクのある場所をクリックする。

   リンクのある場所へ[手のひら]を移動すると「指さし」の形に変わるので、その場所をクリックしてください。

15

1 プリンタードライバー

プリンタードライバーはMultiWriterで印刷を行うためのソフトウエアです。本章では一般的な印刷の手順と印刷の詳細を設定するためのプロパティダイアログボックスの概要を各OSに分けて説明します。

印刷の手順

- Windows 98/95/NT 4.0の場合
- Windows 2000の場合
- Windows NT 3.51の場合
- Windows 3.1の場合

プロパティーダイアログボックス

- Windows 98/95/NT 4.0の場合
- Windows 2000の場合
- Windows NT 3.51の場合
- Windows 3.1の場合

印刷の手順

本項の説明は、MultiWriter 2300を選択して進めています。ここでは、各OSの一般的な印刷手順を説明します。お使いになるアプリケーションによってはメニュー構成など多少異なる点があるかもしれません。詳細はアプリケーションのマニュアルをご覧ください。

All Rights Reserved. Copyright 2000, NEC Corporation 808-895324-502-A 初版

1 プリンタードライバー 16

Windows 98/95/NT 4.0の場合

ここでは、Windows 98/95に付属されている日本語ワードプロセッサー「ワードパッド」を例にとって一般的な印刷手順について説明します(Windows NT 4.0の場合は、多少画面の表示が異なります)。任意のワードパッド文書を表示させて次の手順を確認してください。

印刷の手順

1. [ファイル]メニューの[印刷]をクリックする。

   [印刷]ダイアログボックスが開きます。

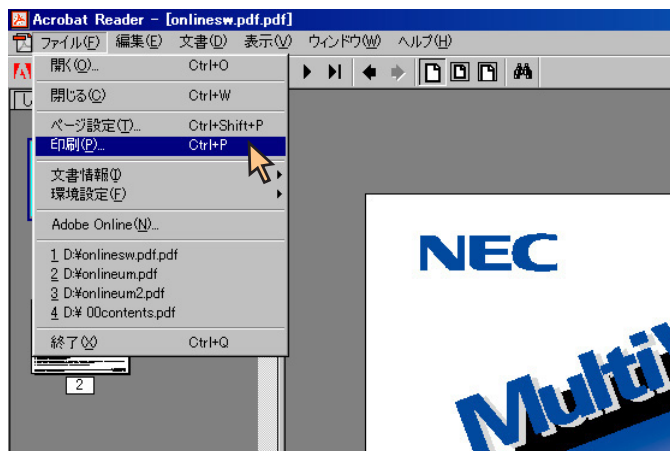
2. 使用する[プリンタ名：]として[NEC MultiWriter 2300]が選択されていることを確認する。

   もし選択されていなければ選択し直します。選択方法については「プリンターを選択する」を参照してください。

All Rights Reserved. Copyright 2000, NEC Corporation 808-895324-502-A 初版

オンラインマニュアルを印刷する

このオンラインマニュアルは、ディスプレイ上で閲覧しやすいように作成されています。印刷する場合は以下の手順のとおり、複数ページ印刷機能を使ってA4用紙に2ページずつ印刷すると用紙をたくさん使わず、効率的です。
ここでは、Windows 98の環境でMultiWriter 2300を使ってオンラインマニュアルを印刷する手順について説明します。

1. [ファイル]メニューの[印刷]をクリックする。

[印刷]ダイアログボックスが開きます。

2. [プロパティ]をクリックする。

プリンターのプロパティダイアログボックスが表示されます。

3. [レイアウト]タブをクリックし、[複数ページ印刷]のページ数を「2ページ→1ページ」に指定する。

4. **[用紙]タブをクリックし、[用紙サイズ]から[A4]を選択する。**

5. **[OK]をクリックする。**

[印刷]ダイアログボックスに戻ります。

6. **印刷範囲と部数を設定し、[OK]をクリックする。**

印刷を開始します。

印刷結果はご覧のとおりです。

NEC
MultiWriter
マルチライタ 2300
2100
210S
レーザープリンター
オンラインマニュアル
プリンターソフトウエアの詳細
808-895324-502-A
初版

2

§標について

ultiWriter、NMPS、MOPYING、PrintAgentは日本電気株式会社の登録商標です。
icrosoft、Windows、Windows NT、MS-DOSは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
36は米国Intel Corporationの商標です。
P 7550は米国Hewlett-Packard Companyの商標です。
SC/Pはセイコーエプソン株式会社の登録商標です。
etWare、IntranetWareは米国Novell, Inc.の登録商標です。
acintosh、Mac OS、QuickDraw、QuickDraw GX、LocalTalk、TrueType、漢字Talkは米国Apple Computer, Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
M、PS/V、PC/ATは米国International Business Machines Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
NIXオペレーティングシステムはX/Openカンパニーリミテッドがライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。
anXitはPuma Technology, Inc.の登録商標です。
dobeおよびAcrobatはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
ocuWorksは富士ゼロックス株式会社の商標です。

indows 98はMicrosoft Windows 98 operating systemの略です。Windows 98 Second EditionはMicrosoft Windows 98 Second Edition operating systemの略です。Win-
ows 95はMicrosoft Windows 95 operating systemの略です。Windows 2000はMicrosoft Windows 2000 Professional operating systemおよびMicrosoft Windows 2000
erver operating systemの略です。WindowsNT 4.0はMicrosoft Windows NT Workstation operating system Version 4.0およびMicrosoft Windows NT Server network
erating system Version 4.0の略です。Windows NT 3.51はMicrosoft Windows NT Workstation operating system Version 3.51およびMicrosoft Windows NT Server network
erating system Version 3.51の略です。Windows 3.1はMicrosoft Windows operating system Version 3.1の略です。

の他記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

ご注意

本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
本書の一部はアドビシステムズ社で著作権を所有しており、その許可の下に転載されています。
本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
NECの許可なく複製・改変などを行うことはできません。
本書は内容について万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
プリンターの機能の一部は使用する環境あるいはソフトウエアによってはサポートされない場合があります。
運用した結果の影響については5項および6項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

© NEC Corporation 2000

プリンタードライバー

プリンタードライバーとはMultiWriterの機能を最大限に発揮させるためのソフトウエアです。本章ではまず、一般的な印刷の手順について説明し、次に印刷に関する様々な設定を行うためのプロパティダイアログボックスの概要をOS別に説明します。

● 印刷の手順

● プロパティーダイアログボックス

印刷の手順

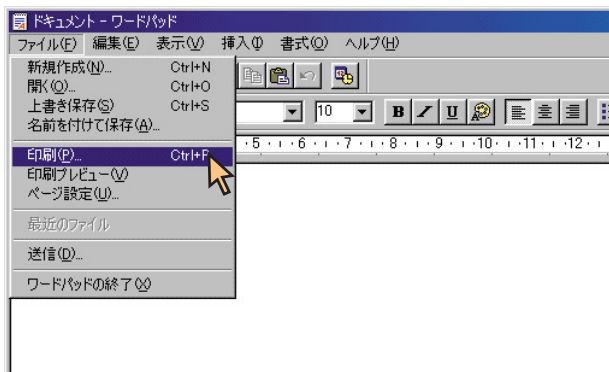
本項の説明は、MultiWriter 2300を中心に記載しています。他の機種をお使いの方はMultiWriter 2300をそれぞれに読み替えてください。ここでは、各OSの一般的な印刷手順を説明します。お使いになるアプリケーションによってはメニュー構成など多少異なる点があるかもしれません。詳細はアプリケーションのマニュアルをご覧ください。

Windows 98/95/NT 4.0の場合

ここでは、Windows 98/95に付属されている日本語ワードプロセッサー「ワードパッド」を例にとって一般的な印刷手順について説明します（Windows NT 4.0の場合は、多少画面の表示が異なります）。任意のワードパッド文書を表示させて次の手順を確認してください。

印刷をする

1. [ファイル]メニューの[印刷]をクリックする。

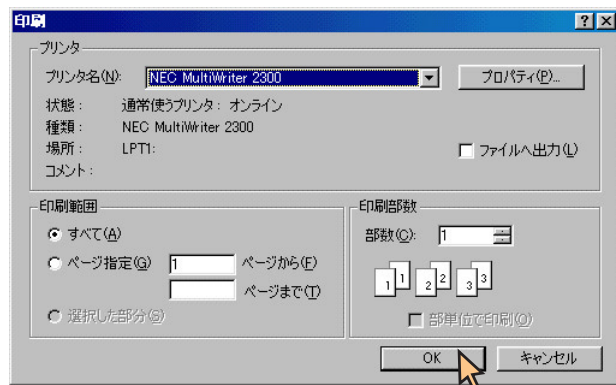
[印刷]ダイアログボックスが開きます。

2. 使用する[プリンタ名：]として[NEC MultiWriter 2300]が選択されていることを確認する。

もし選択されていなければ選択し直します。[通常使うプリンタ]として選択しておきたい場合は[通常使うプリンタ]として設定するを参照してください。

3. **印刷範囲、部数を指定し、[OK]をクリックする。**

印刷が開始されます。

用紙サイズなど、さらに詳しい設定をしたい場合は[プロパティ]をクリックし、設定を変更してから[OK]をクリックします。

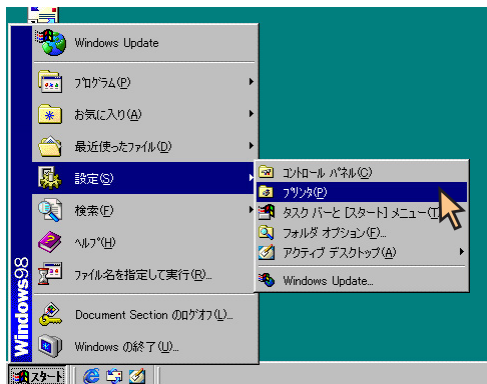
設定方法の詳細については「プロパティダイアログボックス」を参照してください。

[通常使うプリンタ]として設定する

Windows 98/95、Windows NT 4.0から印刷をするために、あらかじめMultiWriter 2300を[通常使うプリンタ]として選択しておく方法を説明します。

ヒント

お使いになっているアプリケーションによっては[プリンタの設定]ダイアログボックスを使ってMultiWriter 2300を[通常使うプリンタ]として選択することができます。詳しくはアプリケーションのマニュアルをご覧ください。

1. [プリンタ]フォルダーを開く。

[NEC MultiWriter 2300]アイコンが[プリンタ]フォルダー内に表示されます。(表示されない場合はプリンタードライバーがインストールされていません。ユーザーズマニュアルをご覧になり、プリンタードライバーをインストールしてください。)

2. [NEC MultiWriter 2300]アイコンを右クリックする。

メニューが表示されます。

3. メニューの[通常使うプリンタに設定]をクリックする。

すでに設定されている場合はチェックマークが表示されています。

Windows 2000の場合

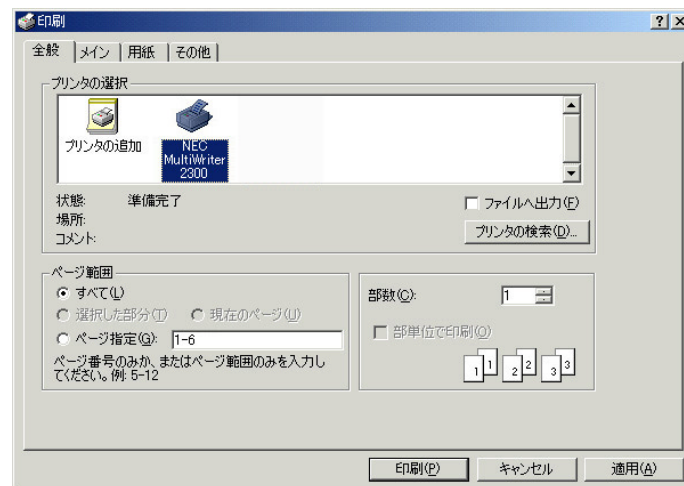
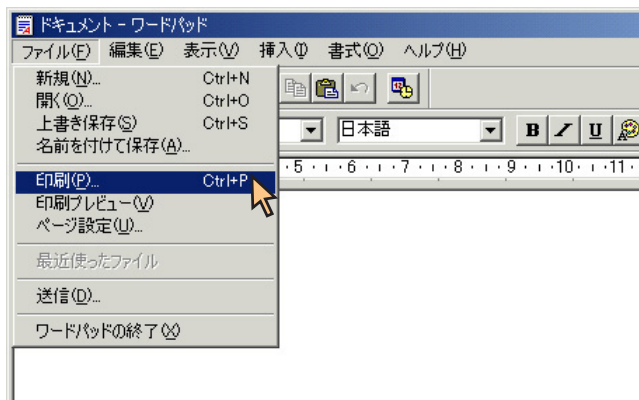
ここでは、Windows 2000に付属されている日本語ワードプロセッサー「ワードパッド」を例にとって一般的な印刷手順について説明します。任意のワードパッド文書を表示させて次の手順を確認してください。

印刷をする

1. [ファイル]メニューの[印刷]をクリックする。

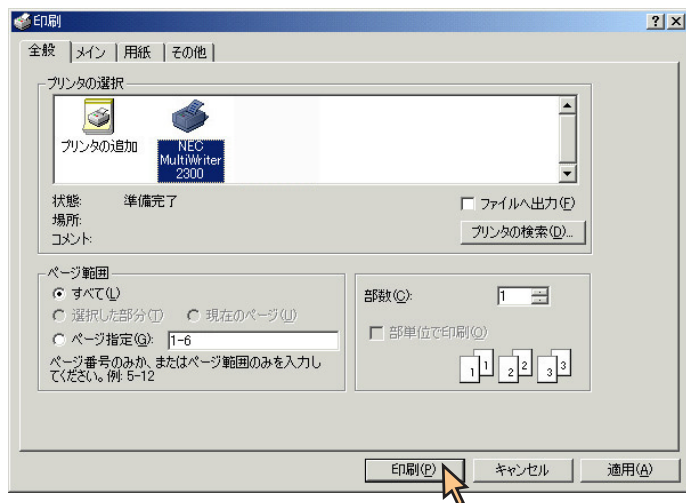
[印刷]ダイアログボックスが開きます。

2. 使用するプリンターとして[NEC MultiWriter 2300]が選択されていることを確認する。

もし選択されていなければ選択し直します。[通常使うプリンタ]として選択しておきたい場合は[通常使うプリンタ]として設定するを参照してください。

3. ページ範囲、部数を指定し、[印刷]をクリックする。

印刷が開始されます。

用紙サイズなど、さらに詳しい設定をしたい場合は各シートのタブをクリックし、設定を変更してから[印刷]をクリックします。

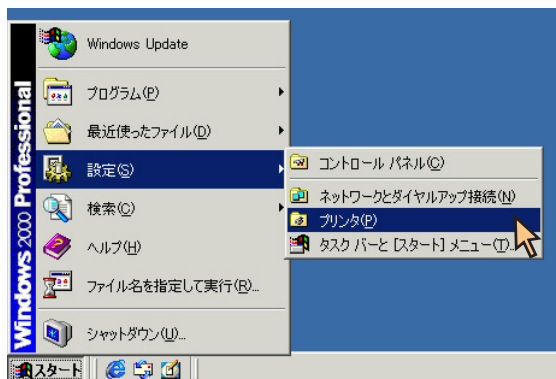
設定方法の詳細については「プロパティダイアログボックス」を参照してください。

[通常使うプリンタ]として設定する

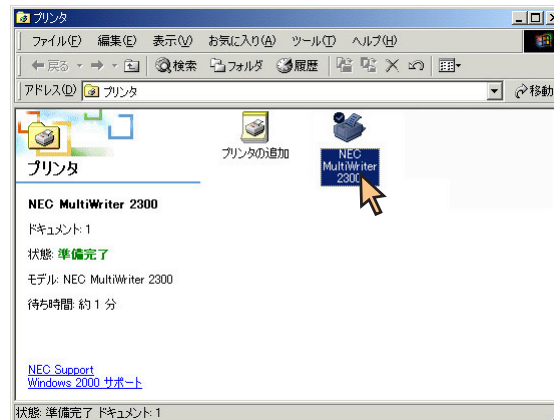
Windows 2000から印刷をするために、あらかじめMultiWriter 2300を[通常使うプリンタ]として選択しておく方法を説明します。

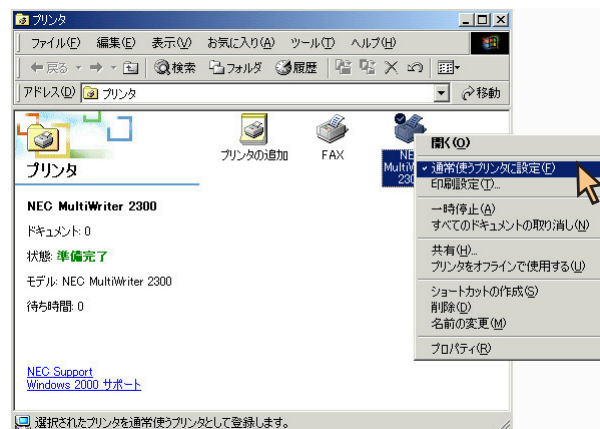
ヒント

お使いになっているアプリケーションによっては[プリンタの設定]ダイアログボックスを使ってMultiWriter 2300を[通常使うプリンタ]として選択することができます。詳しくはアプリケーションのマニュアルをご覧ください。

1. [プリンタ]フォルダーを開く。

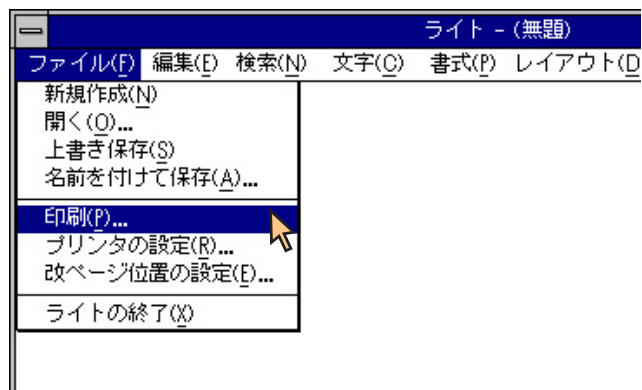
[NEC MultiWriter 2300]アイコンが[プリンタ]フォルダー内に表示されます。(表示されない場合はプリンタードライバーがインストールされていません。ユーザーズマニュアルをご覧になり、プリンタードライバーをインストールしてください。)

2. [NEC MultiWriter 2300]アイコンを右クリックする。

メニューが表示されます。

3. メニューの[通常使うプリンタに設定]をクリックする。

すでに設定されている場合はチェックマークが表示されています。

Windows NT 3.51の場合

ここでは、Windows NT 3.51に付属されている日本語ワードプロセッサー「ライト」を例にとって一般的な印刷手順について説明します。任意のライト文書を表示させて次の手順を確認してください。

印刷をする

1. [ファイル]メニューの[印刷]をクリックする。

[印刷]ダイアログボックスが開きます。

2. [プリンタの設定]をクリックする。

[プリンタの設定]ダイアログボックスが開きます。

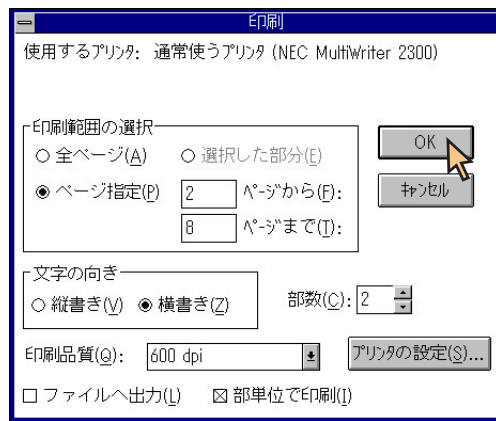
3. 使用する[プリンタ名:]として[NEC MultiWriter 2300]が選択されていることを確認し、[OK]をクリックする。

もし選択されていなければ選択し直します。[通常使うプリンタ]として選択しておきたい場合は[通常使うプリンタ]として設定するを参照してください。

4. **印刷範囲、部数を指定し、[OK]をクリックする。**

印刷が開始されます。

用紙サイズなど、さらに詳しい設定をしたい場合は[プリンタの設定]をクリックし、設定を変更してから[OK]をクリックします。

設定方法の詳細については「プロパティダイアログボックス」を参照してください。

[通常使うプリンタ]として設定する

Windows NT 3.51から印刷をするために、あらかじめMultiWriter 2300を[通常使うプリンタ]として選択しておく方法を説明します。

お使いになっているアプリケーションによっては[プリンタの設定]ダイアログボックスを使ってMultiWriter 2300を[通常使うプリンタ]として選択することができます。詳しくはアプリケーションのマニュアルをご覧ください。

1. [プリントマネージャ]を開く。

2. ツールバーの[標準：]ボックスから[NEC MultiWriter 2300]を選ぶ。

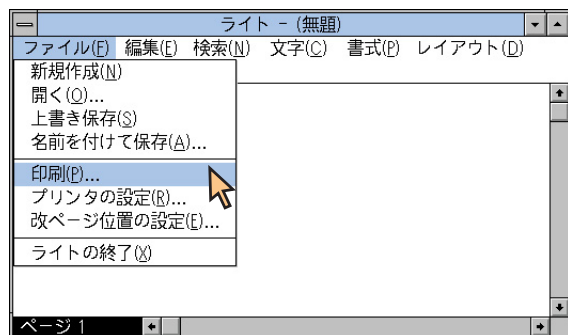
[NEC MultiWriter 2300]が表示されない場合、プリンタードライバーがインストールされていません。ユーザーズマニュアルをご覧になり、プリンタードライバーをインストールしてください。

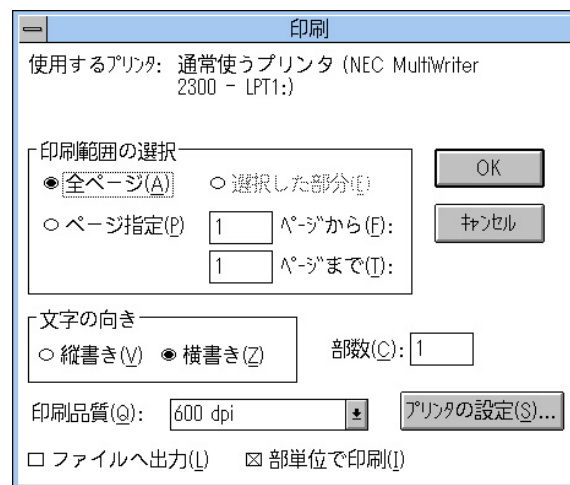
Windows 3.1の場合

ここでは、Windows 3.1に付属されている日本語ワードプロセッサー「ライト」を例にとって一般的な印刷手順について説明します。任意のライト文書を表示させて次の手順を確認してください。

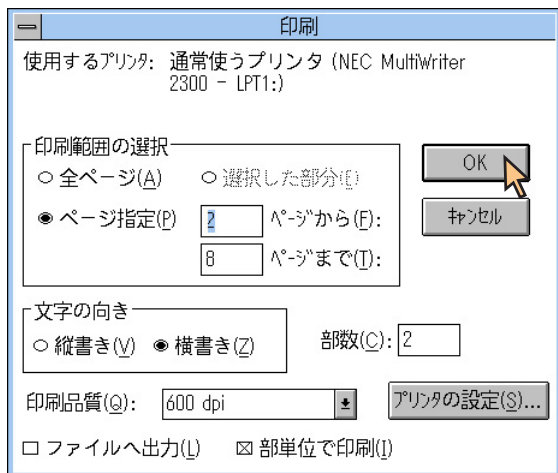
印刷をする

1. [ファイル]メニューの[印刷]をクリックする。

[印刷]ダイアログボックスが開きます。

2. [使用するプリンタ：]として[NEC MultiWriter 2300]が選択されていることを確認する。

もし選択されていなければ選択し直します。[通常使うプリンタ]として選択しておきたい場合は「通常使うプリンタ」として設定するを参照してください。

3. **印刷範囲、部数を指定、[OK]をクリックする。**

用紙サイズなど、さらに詳しい設定を変更したい場合は[プリンタの設定]をクリックし、設定を変更してから[OK]をクリックします。

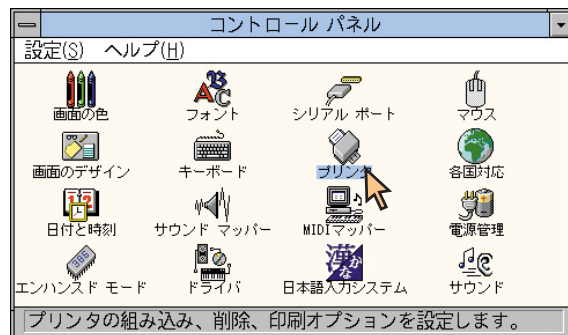
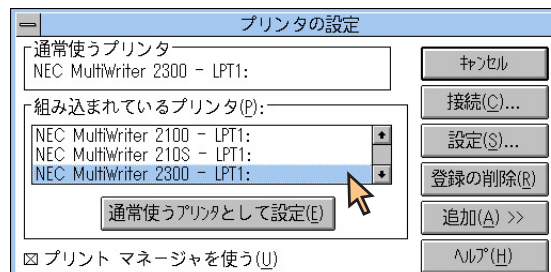
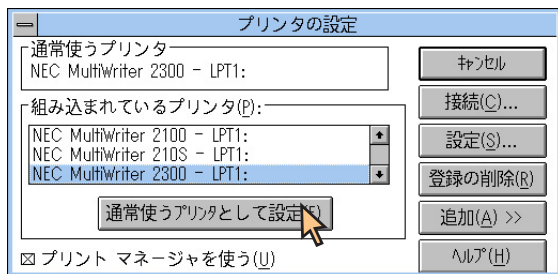
設定方法の詳細についてはダイアログボックスの使い方を参照してください。

[通常使うプリンタ]として設定する

Windows 3.1から印刷するために、あらかじめMultiWriter 2300を[通常使うプリンタ]として選択しておく方法を説明します。

お使いになっているアプリケーションによっては[プリンタの設定]ダイアログボックスを使ってMultiWriter 2300を[通常使うプリンタ]として選択することができます。詳しくはアプリケーションのマニュアルをご覧ください。

1. [コントロールパネル]を開く。

2. [プリンタ]アイコンをダブルクリックする。

[プリンタの設定]ダイアログボックスが表示されます。

3. [組み込まれているプリンタ]ボックスから[NEC MultiWriter 2300]をクリックする。

4. [通常使うプリンタとして設定] をクリックする。

プロパティダイアログボックス

MultiWriter 2300/2100/210Sでは[プロパティダイアログボックス]と呼ばれる画面を使って印刷の詳細な設定を行います。ここではプロパティダイアログボックスの開き方とダイアログボックスの設定の概要を各OSに分けて説明します。

Windows 98/95の場合

Windows 98/95では、印刷の詳細設定はプロパティダイアログボックスで行います。

[プロパティ]ダイアログボックス

この[プロパティ]ダイアログボックスは次のようなプロパティシートで構成されています。

- [全般]シート*1
- [詳細]シート
- [共有]シート
- [用紙]シート
- [出力制御]シート
- [レイアウト]シート
- [グラフィックス]シート
- [フォント]シート
- [印刷品質]シート
- [フォーム]シート
- [補助機能]シート
- [プリンタの構成]シート
- [プリンタの状態]シート

*1　お使いのシステムによっては[情報]シートと表示されることがあります。

プロパティダイアログボックスを開く

[プロパティ]ダイアログボックスを開く方法は次の2通りあります。

- **アプリケーションのメニューから開く方法**

  一般的にダイアログボックスの設定は、そのアプリケーションでのみ有効となります。また、用紙の設定の項目などが表示できないことがあります。

- **デスクトップ上の[スタート]ボタンから開く方法**

  ダイアログボックスの設定はすべてのアプリケーションでの基本設定になります。

アプリケーションから開く

アプリケーションから[プロパティ]ダイアログボックスを開く場合、[ファイル]メニューの[印刷]コマンドか[プリンタの設定]コマンドを使います。(このコマンドはほとんどの場合[ファイル]メニューの中にありますが、メニューの構成はアプリケーションによって異なります。詳しくはアプリケーションのマニュアルをご覧ください。)

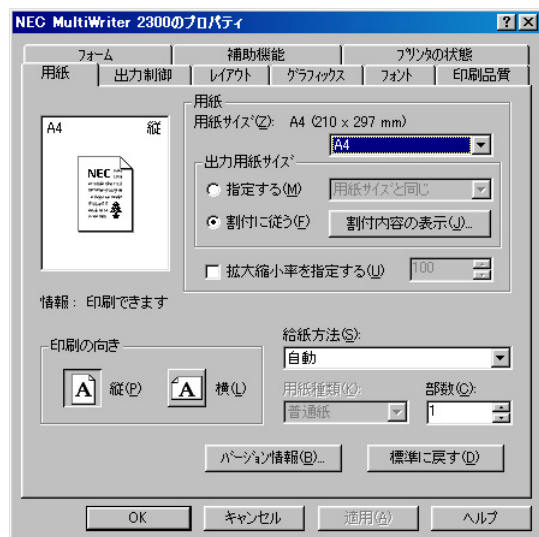
ここではWindows 98/95に付属されている日本語ワードプロセッサー「ワードパッド」を例にとって説明します。任意のワードパッド文書を表示させて次の手順を確認してください。

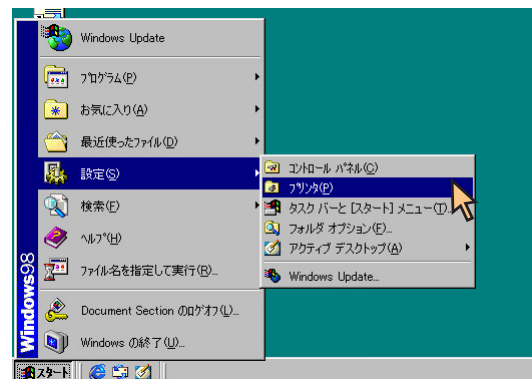
1. [ファイル]メニューの[印刷]をクリックする。

[印刷]ダイアログボックスが開きます。

2. [プロパティ]をクリックする。

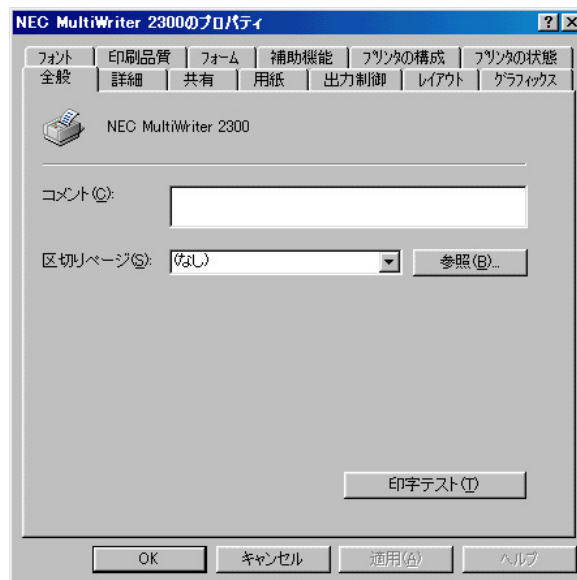
このような[プロパティ]ダイアログボックスが表示されます。

各プロパティシートについては「設定の概要」を参照してください。

[スタート]ボタンから開く

1. [スタート]から[設定]ー[プリンタ]を選択し、[プリンタ]フォルダーを開く。

2. [NEC MultiWriter 2300] アイコンを右クリックする。

プリンターのアイコンを選択し、メニューを表示します。

3. メニューの[プロパティ]をクリックする。

このような[プロパティ]ダイアログボックスが表示されます。

設定の概要

[プロパティ]ダイアログボックスの概要をプロパティシートごとに説明します。詳細は各プロパティシート上のそれぞれの項目の上で右クリックすると表示されるヘルプでも説明されています。

[全般]シート

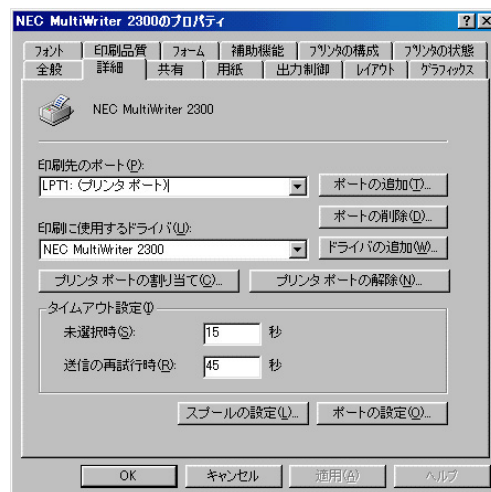
このプロパティシートはプリンターに関するコメントを設定・表示します。（Windows 98/95 日本語版対応のプリンタードライバー共通のものです。）

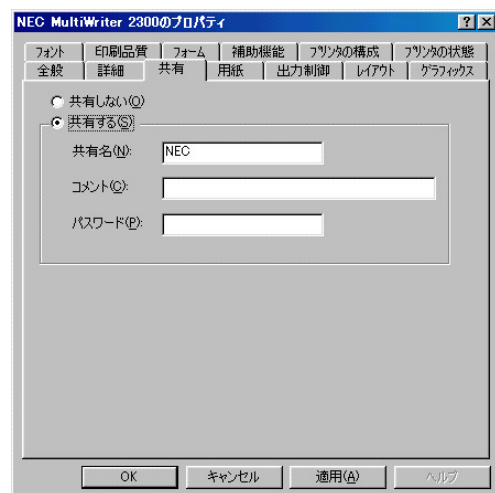
通常のご使用時、このシートの設定の変更は必要はありません。

[詳細]シート

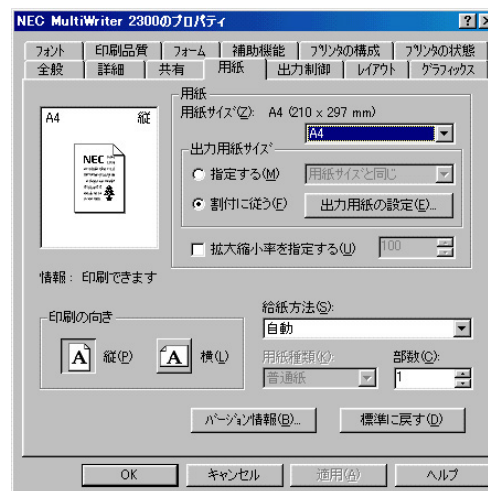
このプロパティシートは印刷先のポートや使用するプリンタードライバーなどを表示・設定します。（Windows 98/95 日本語版対応のプリンタードライバー共通のものです。）

通常のご使用時、このシートの設定の変更は必要はありません。

- タイムアウト設定の時間が短いと、複雑なデータやアプリケーションによっては、印刷データ送信を中止することがあります。その場合には、タイムアウト設定の時間を長くしてください。
- PrintAgentを使用する場合は[スプールの設定]の[このプリンタで双方向通信機能をサポートする]が選択されている必要があります。

[共有]シート

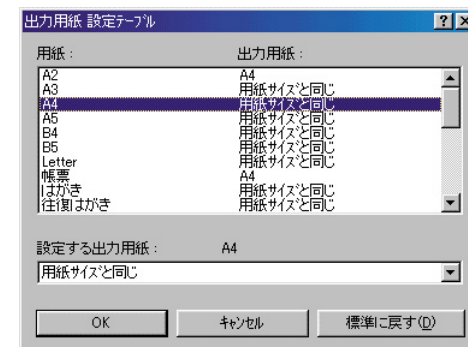
このプロパティシートはプリンターを共有するときの設定を行うシートです。ネットワークの設定でプリンターを共有できるように設定している場合に表示されます。（Windows 98/95 日本語版対応のプリンタードライバー共通のものです。）

[用紙]シート

このプロパティシートは用紙に関する以下の設定を行います。

- 用紙サイズ
- 給紙方法
- 出力用紙サイズ
- 用紙種類
- 拡大縮小率を指定する
- 部数
- 印刷の向き

「用紙サイズ」

印刷する用紙サイズ、拡大・縮小サイズを選択できます。

[ユーザ定義]を選択した場合は、用紙の寸法を入力する次のダイアログボックスが表示されます。

- アプリケーションによっては[A3→A4]などの拡大・縮小が正しく印刷されないものがあります。
- ユーザ定義サイズを含むデータを印刷する場合は、[用紙サイズエラーを検出する]チェックボックスをOFFにしてください。選択したユーザ定義サイズで印刷されない場合があります。

「出力用紙サイズ」

原稿を実際に印刷する用紙サイズを選択します。

- **指定する**
  サポートするすべての用紙サイズに対して共通の出力用紙サイズを割り付ける場合に選択します。コンボボックスから用紙サイズを選択します。

- **割付に従う**
  すでに設定してある用紙割り付けに従って出力用紙を設定する場合に選択します。現在[用紙サイズ]で選択されている用紙サイズに割り付けてある出力用紙サイズがコンボボックス上に表示されます。設定は[出力する用紙の設定]をクリックして以下のダイアログボックスを表示させて行います。

ユーザ定義サイズを含むデータを印刷する場合は、[用紙サイズエラーを検出する]チェックボックスをOFFにしてください。選択したユーザ定義サイズで印刷されない場合があります。

「拡大縮小率を指定する」

文書を印刷する際の拡大縮小率を設定します。10%～400%の範囲で設定が可能です。

「印刷の向き」

ページを縦長（ポートレート）か横長（ランドスケープ）で使用するかを設定します。枠内の用紙ボタンをクリックして選択します。

[用紙サイズ]で[LP*1→A4]、[LP*1→B4]が設定されている場合、[縦]は設定できません。

*1　LPとは帳票のことを示しています。

「給紙方法」

給紙先（ホッパー/MP/手差し*2）を[給紙方法]コンボボックスから選択します。コンボボックスには使用できる給紙方法が表示されます。「自動」に設定すると選択した用紙サイズがセットされている給紙先（ホッパー、MP、手差し*2）から自動的に給紙されます。

給紙先を[自動]に選択した場合の注意事項

- 「出力制御」シートの[用紙サイズエラーを検出する]のチェックを外していると、[MP]、または[手差し]*2を対象とした自動給紙は行いません。給紙先すべての自動給紙を行うには[用紙サイズエラーを検出する]をチェックしてください。

- ユーザ定義サイズを含むデータを印刷する場合に、[出力制御]シートの[用紙サイズエラーを検出する]がチェックされているときは、チェックを外してください。チェックされていると、選択したユーザー定義サイズの用紙で印刷されない場合があります。

- プリンターの操作パネルで[MP]、または[手差し]*2を設定し、印刷したい用紙がMP、または手差し*2にセットされている場合は、[用紙サイズエラーを検出する]の設定に関係なくプリンターの操作パネルで設定したMP、手差し*2から給紙します。

- PrintAgentをインストールし双方向通信が有効の場合、コンボボックスの給紙先にはプリンターにセットされている用紙サイズが表示されます。[MP]では、MPカセットの用紙サイズ設定ダイヤルが「*」に設定されている場合は、「MP（－）」と表示されます。

「用紙種類」

[給紙方法]を[MP]、[手差し]*2に選択したとき、用紙の種類を[普通紙]、[厚紙]、[OHP]の3種類から選択できます。また、印刷する用紙サイズの出力用紙サイズを「ユーザ定義」に選択しているときは給紙先が[MP]、[手差し]*2になりますので、[用紙種類]を選択することができます。
[MP]、[手差し]*2以外のときは[普通紙]のみとなり選択することができません。

*2　MultiWriter 2300/2100のみ

「部数」

印刷時の部数（コピー部数）を設定することができます。1～99部まで設定可能です。

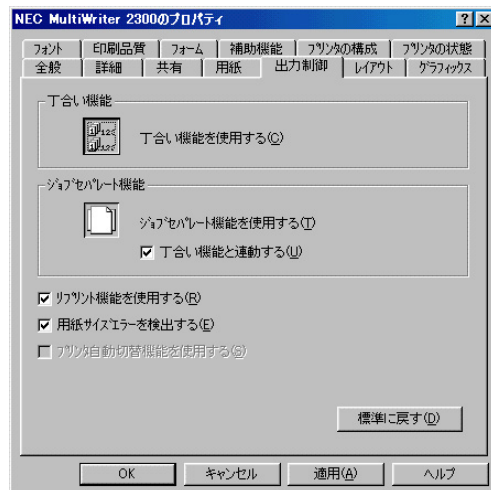
アプリケーションの印刷機能で部数を設定できる場合があります。アプリケーション側で設定できる場合は、アプリケーション側で設定するようにしてください。

「バージョン情報」

クリックすると本プリンタードライバーのバージョン情報が表示されます。

[出力制御]シート

このプロパティシートは出力制御に関する以下の設定を行います。

- 丁合い機能
- ジョブセパレート機能
- リプリント機能を使用する
- 用紙サイズエラーを検出する
- プリンタ自動切替機能

「丁合い機能を使用する」

複数部数の印刷を行うとき、丁合いを行うかの設定をします。

[詳細]シートの[スプールの設定]で[このプリンタで双方向通信機能をサポートする]を設定していない場合は使用できません。ただし、電子ソート機能が使用できるメモリーをプリンターに増設し、[プリンタの構成]シートで増設したメモリーを選択してある場合には使用できます。

ジョブセパレート機能と組み合わせて使用することによって、A4用紙のみ縦置き横置き出力された仕分け出力を実現することができます。

アプリケーションの印刷機能で「丁合い」もしくは「部単位で印刷」などの指定ができる場合がありますが、アプリケーションによっては、プリンターの丁合い機能を使用せずに、アプリケーション独自の機能で丁合い印刷を実現している場合があります。このような場合には、アプリケーションの丁合い機能は使用せずに、プリンターのプロパティで「丁合い」を設定してください。
プリンターの機能で丁合い印刷を行うと、文書の1部分の処理で印刷できるため、アプリケーションの丁合い機能を使用するよりも速く印刷することができます。プリンターに増設メモリーを装着すると、「電子ソート」の機能を使って、より高速に丁合い印刷することができます。

「電子ソート」機能は以下の設定で使用できます。

- 解像度1200dpi時（MultiWriter 2300のみ）：増設メモリーの容量が256MB以上
- その他の解像度：増設メモリーの容量が64MB以上

「ジョブセパレート機能を使用する」

ジョブセパレート機能を使用するかしないかを切り替えます。ジョブセパレート機能とは、文書を印刷実行した単位で、A4用紙を縦横に置き分けてスタッカーに排出する機能です。詳細についてはユーザーズマニュアルをご覧ください。

- 丁合い機能と連動する
  チェックボックスをチェックするとジョブセパレート機能と丁合い機能を連動して印刷することができます。

本機能はプリンター本体のいずれかのホッパー、またはMPにA4用紙を縦、横にセットしておく必要があります。
[用紙サイズ]にA4用紙（＊＊→A4を含む）が設定されていない場合や[給紙方法]に[自動]が設定されていない場合は、ジョブセパレート機能はグレー表示され使用できません。

「リプリント機能を使用する」

リプリント機能を使用するかしないかを選択します。一度印刷したことのあるデータをアプリケーションを再起動せずにPrintAgentリプリント2の機能またはプリンターステータスウィンドウの機能から再印刷する機能です。

本機能は、PrintAgentがインストールされていない場合や、インストールされているが双方向通信が無効時等でリプリント機能が使用できない場合、またはプリンターが自動切替用としてインストールされている場合は、グレー表示され使用できません。

「用紙サイズエラーを検出する」

給紙先から用紙を給紙したときに設定されている用紙サイズ、異なる用紙サイズを給紙した場合、用紙サイズエラーを検出するかどうか設定します。

本機能は、[出力用紙サイズ]コンボボックスで[ユーザ定義]を指定した場合または、[用紙]シートの[給紙方法]でホッパーを選択した場合はグレー表示され使用できません。

[用紙サイズエラーを検出する]をチェックしていない場合[用紙]シートの[給紙方法]で[自動]を選択しても[MP]、[手差し]*からの給紙を行いません。[MP]、[手差し]*からも給紙を行いたいときは[用紙サイズエラーを検出する]をチェックしてください。ただしプリンター操作パネルで[MP]、[手差し]*が設定されている場合は、[給紙方法]が[自動]でも[用紙サイズエラーを検出する]のチェックにかかわらず、[MP]、[手差し]*から給紙されます。

ユーザ定義サイズを含むデータを印刷する場合は、[用紙サイズエラーを検出する]チェックボックスをOFFにしてください。選択したユーザ定義サイズで印刷されない場合があります。

＊ MultiWriter 2300/2100のみ

「プリンタ自動切替機能を使用する」

プリンターが自動切り替え用としてインストールした場合に、チェックボックスをチェックすると、グルーピングされた各プリンターに印刷文書を自動分配します。

本機能は、プリンターが自動切り替え用としてインストールされていない場合は、グレー表示され使用できません。

[レイアウト]シート

このプロパティシートはレイアウトに関する以下の設定を行うものです。

【MultiWriter 2300/2100の場合】

- 両面印刷
- 複数ページ印刷
- 詳細設定

【MultiWriter 210Sの場合】

- 複数ページ印刷
- 詳細設定

「両面印刷」（MultiWriter 2300/2100）

両面印刷するかどうか、および両面印刷する場合の綴じ方を設定します。

> [用紙]シートの[用紙サイズ]で[はがき]、[往復はがき]、[封筒洋形4号]、[ユーザ定義]が選択されている場合や、[用紙種類]で[厚紙]、[OHP]が選択されている場合には、両面印刷はできません。

- **印刷開始ページ**
  両面印刷する場合に、先頭ページを用紙の表面から印刷するか裏面から印刷するかを選択します。両面印刷が選択されていない場合はグレー表示となり使用できません。

「複数ページ印刷」

- **ページ数**
  コンボボックスで複数のページ印刷を選択すると、選択したページ数分を用紙の一面に縮小印刷します。選択できるページ数は1、2、4、6、8、9、16です。

- **境界線**
  コンボボックスから境界線を選択できます。[1ページ→1ページ]が選択されている場合はグレー表示され使用できません。

- **配置**
  複数ページ印刷の並び方を選択できます。[2ページ→1ページ]の場合は[左→右]、[右→左]の2通りから選択できます。[4ページ→1ページ]、[6ページ→1ページ]、[8ページ→1ページ]、[9ページ→1ページ]、[16ページ→1ページ]の場合は[Z型]、[逆Z型]、[N型]、[逆N型]から選択できます。[1ページ→1ページ]が選択されている場合はグレー表示され使用できません。

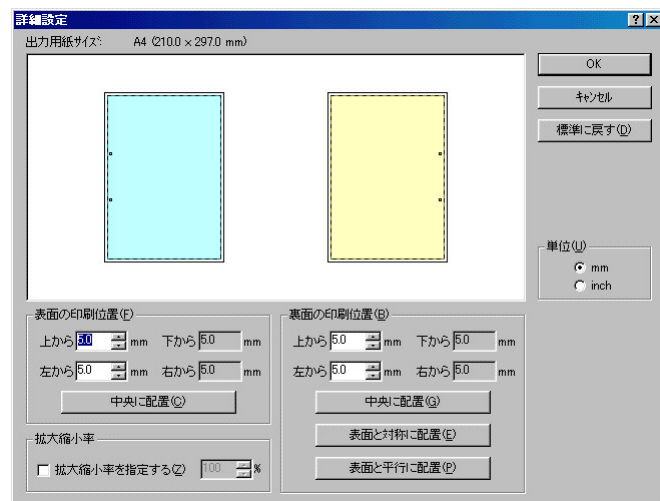
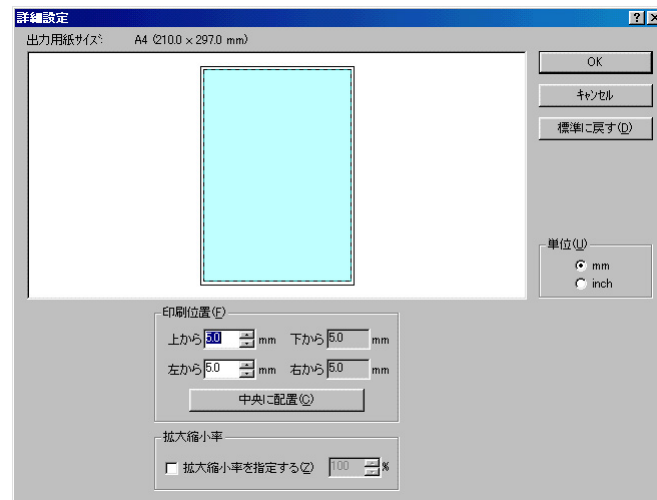
- **ページ番号を付加する**
  チェックボックスをチェックするとページ番号が付加されます。[1ページ→1ページ]が選択されている場合はグレー表示され使用できません。

> 以下の設定では複数ページレイアウトはグレー表示され使用できません。
> - [用紙]シートの「原稿設定」で「＊＊→＊＊」の用紙が選択されているとき
> - [出力設定]で[拡大縮小率を指定する]がチェックされているとき
> - フォームオーバレイ印刷が設定されているとき

「詳細設定」

このボタンをクリックすると以下の[詳細設定]ダイアログボックスが開き、印刷位置や拡大縮小率を設定できます。

本機能は、以下の場合以外はいつでも有効で両面印刷*などの印刷機能と組み合わせることができます。

- [フォーム]シートでフォーム印刷を設定している。
- [用紙]シートの[用紙サイズ]で[＊＊→＊＊]の用紙を選択している。

両面*設定の場合

片面設定の場合

＊ MultiWriter 2300/2100のみ

● ［中央に配置］
ボタンをクリックすると印刷範囲枠が用紙の中央に配置されます。

● ［表面と対称に配置］＊
両面印刷の場合、裏面設定のみの機能です。ボタンをクリックすると印刷範囲枠が綴じ辺を軸にして表面と対称の位置に配置されます。

● ［表面と平行に配置］＊
両面印刷の場合、裏面設定のみの機能です。ボタンをクリックすると印刷範囲枠が表面と同じ位置に配置されます。

● 「拡大縮小率」
本設定項目は［用紙］シートの［拡大縮小率］と連動しています。動作条件も同様です。また用紙レイアウト表示ウィンドウでマウス操作によって印刷範囲の大きさを変更した場合も、それに連動して表示されている数値が変更されます。

＊ MultiWriter 2300/2100のみ

[グラフィックス]シート

このプロパティシートは印刷解像度やグラフィックスデータに対するプリンターの処理の設定を行うものです。以下の設定が可能です。

- 解像度
- 濃度
- ディザリング
- 描画方法
- ブラシパターンを拡大する
- ビットマップを低解像度で印刷する
- グレイスケールの網点を細かく印刷する

「解像度」

解像度は次の中から選択できます。

機種名	解像度
MultiWriter 2300	1200dpi、600dpi、400dpi、300dpi、240dpi
MultiWriter 2100	600dpi、400dpi、300dpi、240dpi
MultiWriter 210S	600dpi、300dpi

「ディザリング」

グレースケールイメージのデータをプリンターで処理できるように変換する設定です。

アプリケーション、および印刷データによっては効果がないことがあります。

- なし
  グラフィックスのグレースケールを白か黒に変換します。この設定はテキストや線画などの印刷に適しています。

- パターン
  グレーの濃淡を白地に黒いドットでできたパターンに変換します。ドットを周期的に集中させて印刷する方式です。
  [コントラストを強くする]をチェックを外すとハーフトーンセルのグレーの明暗を弱く表現します。

- 誤差拡散法
  [パターン]と同様にドットに変換する方法ですが、ドットを分散させて印刷する方式です。パターンと誤差拡散法は好みに応じて使い分けてください。

「濃度」

グラフィックスの明暗を0～200の範囲で設定することができます。印刷を薄くするときは[明]の方向へ、濃くするときは[暗]の方向へスライダーを設定してください。

「描画方法」

プリンターの描画方法を設定できます。

- 自動
  アプリケーションの種別によりプリンターで処理するかコンピューターで処理するかを自動的に決定します。
- すべてプリンタ
  すべてプリンターで処理します。簡単な図形や文字中心のドキュメントが高速に印刷できます。
- すべてビットマップ
  コンピューター側で文字、図形などをすべてビットマップ処理します。複雑な図形が多いドキュメントが高速に印刷できます。

ヒント

自動の場合、文字と図形の重ね合わせの結果が不正になる場合や反転文字などの文字修飾が不正になる場合があります。このような場合には[すべてプリンタ]か[すべてビットマップ]を指定してください。

「ブラシパターンを拡大する」

解像度に合わせてブラシパターンの大きさを変える機能です。拡大率は設定されている解像度によって異なります。240dpiではこの設定は無効です。また、アプリケーションによっては効果がないことがあります。

- 1200dpi → 600%(6倍拡大)*1
- 600dpi → 300%(3倍拡大)
- 400dpi → 200%(2倍拡大)*2
- 300dpi → 300%(3倍拡大)
- 240dpi → 100%(拡大しない)*2

*1　MultiWriter 2300のみ
*2　MultiWriter 2300/2100のみ

チェック

この機能は[描画方法]で[すべてビットマップ]が選択されている場合は使用できません。

「ビットマップを低解像度で印刷する」

ビットマップデータを1/2の解像度で印刷します。通常の印刷より高速で出力することができます。

チェック

印刷データによってはハーフトーンがきれいに出ないことがあります。そのような場合はチェックを外してください。
この設定は、[描画方法]で[すべてビットマップ]が選択されている場合、または[解像度]が600dpi以外の場合は使用できません。

「グレイスケールの網点を細かく印刷する」

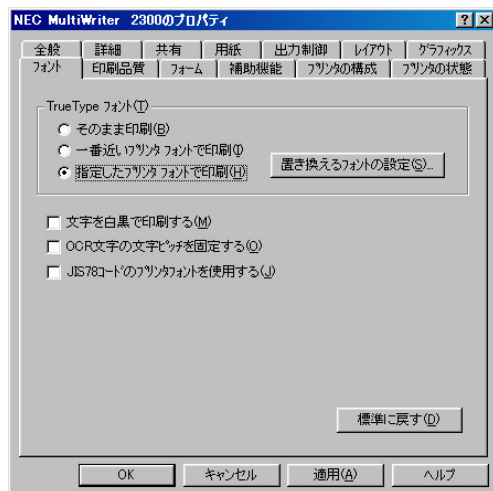
グレースケールのパターンを細かく印刷します。グレーの濃淡を白地に黒いドットで作られたパターンで表現する際に、パターンの繰り返し周期が短くなります。

チェック

本設定は解像度に600dpiが設定されているときのみ有効で、その他の場合はグレー表示となり使用できません。

[フォント]シート

このプロパティシートはフォントに関する以下の設定を行うものです。

- TrueTypeフォント
- 文字を白黒で印刷する
- OCR文字の文字ピッチを固定する
- JIS78コードのプリンタフォントを使用する

「TrueTypeフォント」

TrueTypeフォントの置き換え方法を設定することができます。

- **そのまま印刷**
  アプリケーションから送られたTrueTypeフォントイメージをそのままビットマップで印刷します。

- **一番近いプリンタフォントで印刷**
  アプリケーションから送られたTrueTypeフォントを書体が似ているプリンターフォントに置き換えます。

- **指定したプリンタフォントで印刷**
  アプリケーションから送られたTrueTypeフォントを[置き換えるフォントの設定]によって設定したプリンターフォントに置き換えます。

この機能は[描画方法]で[すべてビットマップ]が選択されている場合は使用できません。

[置き換えるフォントの設定]

このダイアログボックスを使って置き換えるプリンターフォントを設定します。それぞれのフォントを選択して[OK]をクリックすることで置き換えが設定されます。
[標準に戻す]をクリックすると標準の組み合わせに戻すことができます。

ANSI、SHIFT JISなど文字セットが異なるフォント、デザインが著しく異なるフォントの置き換えは行わないでください。期待どおりの印刷結果にならない場合があります。

「文字を白黒で印刷する」

チェックボックスをチェックすると文字の色を、グレースケールを使わずに、白か黒のどちらかで印刷します。

「OCR文字の文字ピッチを固定して印刷する」

チェックボックスをチェックするとOCR文字列を強制的にJISで定められた文字ピッチに固定して印刷します。

この機能は[描画方法]で[すべてビットマップ]が選択されている場合は使用できません。

「JIS78コードのプリンターフォントを使用して印刷する」

チェックボックスをチェックするとプリンターフォントをJIS78コードで印刷します。

この機能は[描画方法]で[すべてビットマップ]が選択されている場合は使用できません。

[印刷品質]シート

このプロパティシートは印刷品質に関する以下の設定を行うものです。

【MultiWriter 2300/2100の場合】

- SET機能
- トナー節約機能
- 印刷濃度の設定
- 従来互換の印刷範囲を使用する

【MultiWriter 210Sの場合】

- 印刷濃度の設定
- 従来互換の印刷範囲を使用する

「SET機能」(MultiWriter 2300/2100)

SET(Sharp Edge Technology)機能を使用するかしないかを選択します。SET機能を使用すると、テキストや斜線などのグラフィックスで細かなエッジ部分のギザギザをなくし、画質を向上させることができます。

「トナー節約機能」(MultiWriter 2300/2100)

トナー節約モードを使用するかしないかを設定します。

この機能は[解像度]で[1200dpi]が選択されていると無効です。

トナー節約機能を使用すると、細い線、濃度の薄い印刷、網かけおよびグラデーションが不鮮明になることがあります。本機能は試し印刷などにご使用ください。

「印刷濃度の設定」

印刷濃度を5段階の中からスライダーで設定します。

「従来互換の印刷範囲を使用する」

印刷範囲をMultiWriter 2400X/2200NW2など、MultiWriter 2000X以前のMultiWriterシリーズのプリンターと同じ印刷範囲に設定する場合に選択します。

従来互換の印刷範囲を設定しない場合は、 用紙の全周5mm幅が余白となります。また「複数ページレイアウト」を設定している場合は用紙の全周10mmが余白となります。

[フォーム]シート

このプロパティシートはフォーム印刷を利用する場合に、フォーム印刷に関する設定を行うものです。フォーム印刷は見出し文字や罫線枠などのフォームデータを文書データと重ね合わせて印刷するものです。フォームデータを作成するには別売のアプリケーションが必要です。

フォーム印刷を有効にした場合は、フォームデータが優先されるため以下の項目がグレー表示となり変更できなくなります。

- 用紙サイズ
- 出力用紙サイズ
- 印刷の向き
- 給紙方法
- 複数ページレイアウト
- 従来互換の印刷範囲
- 印刷位置微調整

なおフォームデータで設定された「用紙サイズ」、「印刷の、向き」、「給紙方法」などがアプリケーションの設定と異なる場合や印刷データの途中で「用紙サイズ」、「印刷の向き」、「給紙方法」などが変更された場合、印刷結果は保証されません。

「フォーム印刷」

フォーム印刷をする場合、リストボックスから使用したいフォームファイルを選びます。リストボックスに希望のファイルがない場合は[ファイル参照]をクリックして他の場所のファイルを参照することができます。

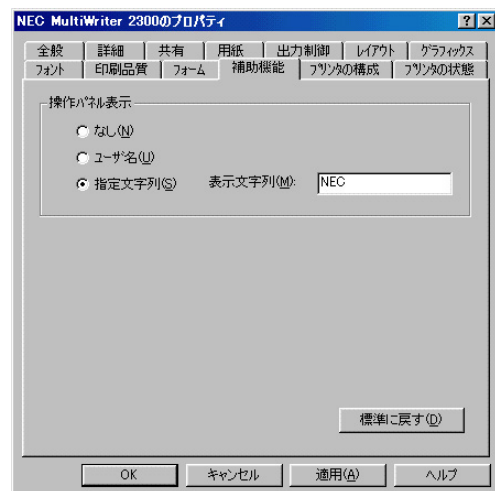
「フォームデータを先に描画する」

フォーム印刷を行う場合、文書データをフォームデータの上に描画するかどうかを選択します。

[補助機能]シート

このプロパティシートは、印刷時にプリンターの操作パネルの下段に表示する文字列を設定します。

「操作パネル表示」

- **なし**
  プリンターの操作パネルの下段には何も表示しません。

- **ユーザ名**
  ネットワーク上にログインしたときのユーザー名が操作パネルの下段に表示されます。[ユーザ名]を選択すると[表示文字列]テキストボックスでユーザー名が確認できます。

- **指定文字列**
  プリンターの操作パネルの下段に[表示文字列]に入力した文字列が表示されます。

- **表示文字列**
  プリンターの操作パネルの下段に表示される文字列です。[指定文字列]を選択した場合は、16文字まで入力可能になります。入力可能な文字については次の表を参照してください。
  [ユーザ名]を選択した場合は、ユーザー名が表示されます。
  [ユーザ名]に入力可能な文字以外の文字が設定されている場合、[なし]が選択されます。

[表示文字列]に入力可能な文字一覧(スペースを含む)

スペース	!	#	$	%	&	‘	(	)	=
-	'	^	¥	¦	@	{	[	+	;
*	:	}	]	<	,	>	.	?	/
_									
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T
U	V	W	X	Y	Z				
a	b	c	d	e	f	g	h	i	j
k	l	m	n	o	p	q	r	s	t
u	v	w	x	y	z				
ｱ	ｲ	ｳ	ｴ	ｵ	ｶ	ｷ	ｸ	ｹ	ｺ
ｻ	ｼ	ｽ	ｾ	ｿ	ﾀ	ﾁ	ﾂ	ﾃ	ﾄ
ﾅ	ﾆ	ﾇ	ﾈ	ﾉ	ﾊ	ﾋ	ﾌ	ﾍ	ﾎ
ﾏ	ﾐ	ﾑ	ﾒ	ﾓ	ﾔ	ﾕ	ﾖ	ﾗ	ﾘ
ﾙ	ﾚ	ﾛ	ﾜ	ｦ	ﾝ	ｧ	ｨ	ｩ	ｪ
ｫ	ｬ	ｭ	ｮ	ｯ	ﾞ	ﾟ	ｰ	｢	｣
､	｡	･							

半角文字のみ入力可能です。

[プリンタの構成]シート

このプロパティシートはプリンターの構成を表示・設定するものです。プリンターとコンピューターとの間で双方向通信が行われているとき、プリンターに装着されているメモリー、オプション装置が表示されます。双方向通信ができない場合はそれぞれ表示される項目から装着されているものをクリックして選択し、プリンターの構成を設定します。

- メモリ
- ホッパ2
- ホッパ3

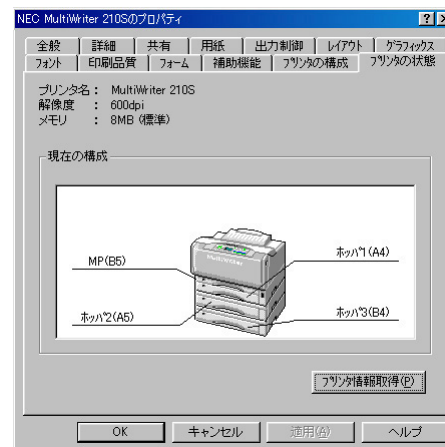
MultiWriter 2300の場合

MultiWriter 2100の場合

MultiWriter 210Sの場合

［プリンタの状態］シート

このプロパティシートは現在のプリンターの状態を表示するものです。

MultiWriter 2300

MultiWriter 2100

MultiWriter 210S

［プリンター情報取得］

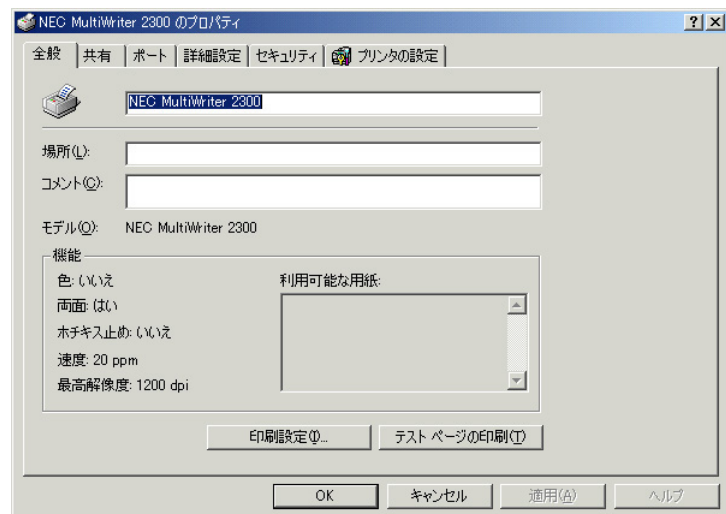
プリンターの最新情報を取得します。双方向通信している場合（PrintAgentがインストールされており、［詳細］シートの［プリンタスプールの設定］にある［このプリンタで双方向通信機能をサポートする］がチェックされているとき）のみ有効です。

Windows 2000の場合

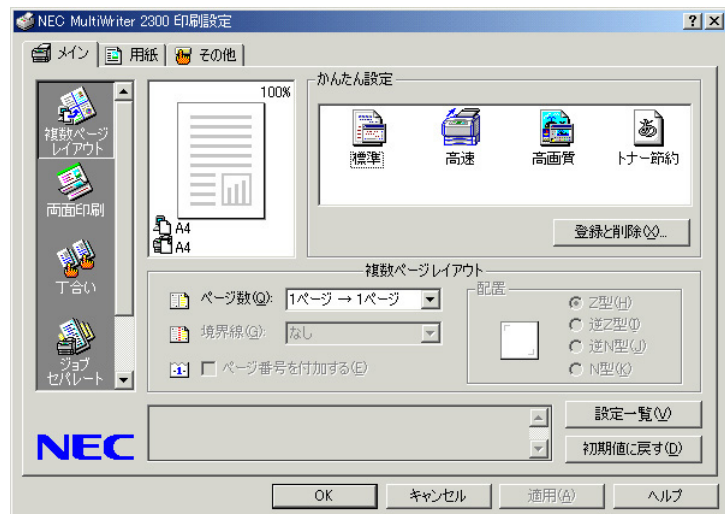
Windows 2000では、印刷の詳細な設定は次の2つのプロパティダイアログボックスで行います。

[プリンタのプロパティ]ダイアログボックス

このダイアログボックスはプリンターのポートや共有などに関する設定を行うものです。次の6枚のプロパティシートで構成されています。このダイアログボックスはアプリケーションのメニューからは表示させることができません。

- [全般]シート
- [共有]シート
- [ポート]シート
- [詳細設定]シート
- [セキュリティ]シート
- [プリンタの設定]シート

[印刷設定]ダイアログボックス

このダイアログボックスは印刷の詳細な設定を行うものです。次の3枚のプロパティシートで構成されています。また、プロパティダイアログボックス内の設定は自由に組み合わせて登録することができます。(「かんたん設定」機能参照)

- [メイン]シート
- [用紙]シート
- [その他]シート

MultiWriter 2300

プロパティダイアログボックスを開く

プロパティダイアログボックスを開く方法は次の2通りあります。

- **アプリケーションのメニューから開く方法**

  一般的にダイアログボックスの設定は、そのアプリケーションでのみ有効となります。また用紙の設定の項目など表示できないことがあります。アプリケーションから呼び出せるのは印刷の設定を行う[印刷設定]ダイアログボックスだけです。

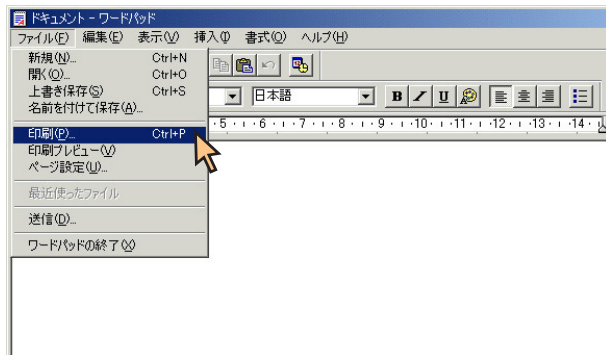
- **タスクバー上の[スタート]ボタンから開く方法**

  ダイアログボックスの設定は[印刷設定]、[プリンタのプロパティ]ともにすべてのアプリケーションでの基本設定になります。

アプリケーションから開く

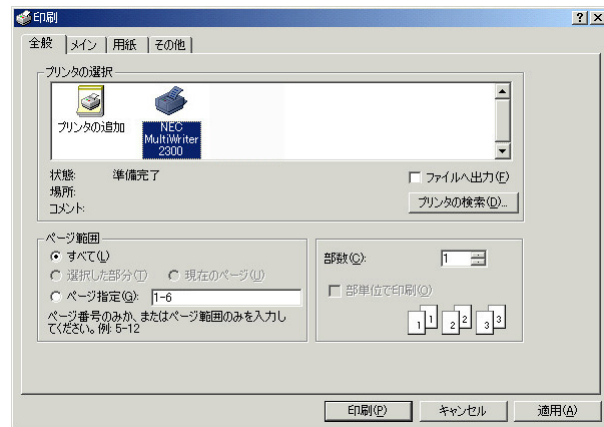
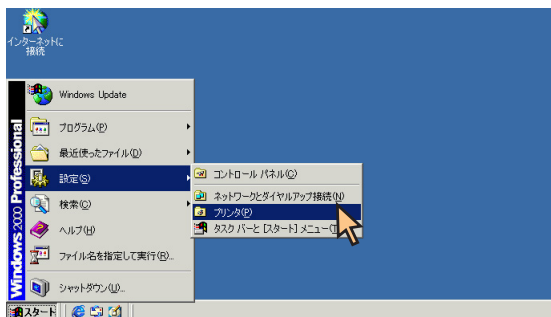
アプリケーションから[印刷設定]ダイアログボックスを開く場合、[ファイル]メニューの[印刷]コマンドか[プリンタの設定]コマンドを使います。(このコマンドはほとんどの場合[ファイル]メニューの中にありますが、[ファイル]メニューの構成はアプリケーションによって異なります。詳しくはアプリケーションのマニュアルをご覧ください。)

ここではWindows 2000に付属されている日本語ワードプロセッサー「ワードパッド」を例にとって、[印刷設定]ダイアログボックスを開く手順を説明します。任意のワードパッド文書を表示させて次の手順を確認してください。

1. [ファイル]メニューの[印刷]をクリックする。

[印刷]ダイアログボックスが開きます。

このような[印刷]ダイアログボックスが表示されます。

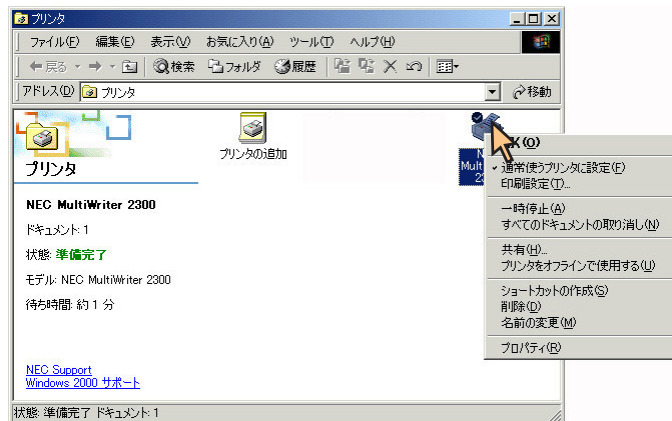
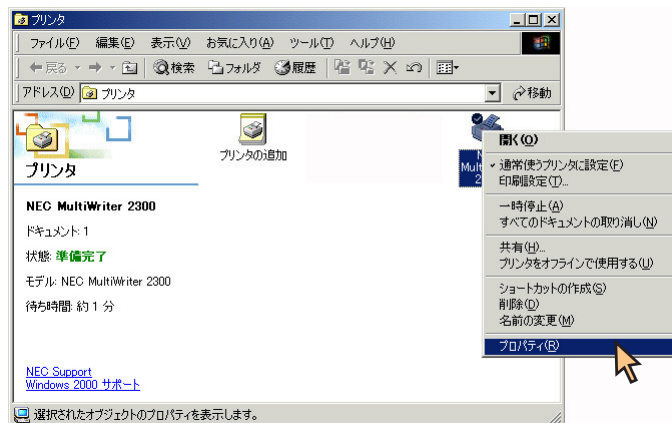
タブをクリックすることで各シートを開くことができます。

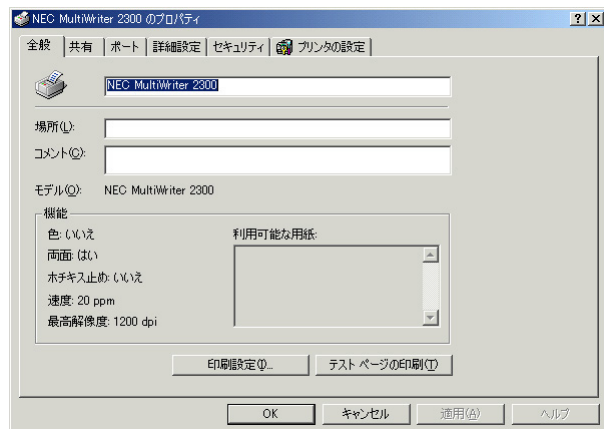
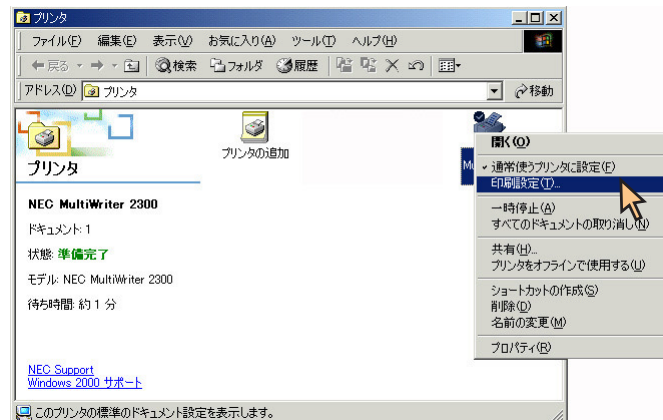
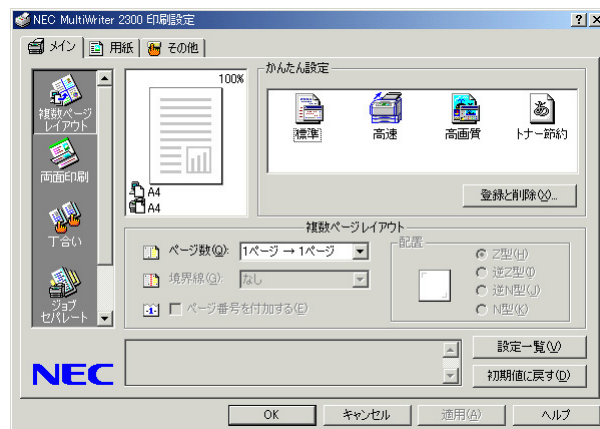
各プロパティシートについては、「設定の概要(印刷設定)」を参照してください。

[スタート]ボタンから開く

1. [スタート]から[設定]ー[プリンタ]を選択し、[プリンタ]フォルダーを開く。

2. [NEC MultiWriter 2300]アイコンを右クリックする。

プリンターのアイコンを選択し、メニューを表示します。

このメニューから2つのプロパティダイアログボックスが開きます。

[プリンタのプロパティ]ダイアログボックスを開きたい場合は手順3へ、[印刷設定]ダイアログボックスを開きたい場合は手順4へ進みます。

3. [プロパティ]をクリックして、[プリンタのプロパティ]ダイアログボックスを開く。

このような[プリンタのプロパティ]ダイアログボックスが表示されます。

各プロパティシートについては、「設定の概要(プリンタのプロパティ)」を参照してください。

4. [印刷設定]をクリックして、[印刷設定]ダイアログボックスを開く。

このような[印刷設定]ダイアログボックスが表示されます。

各プロパティシートについては、「設定の概要(印刷設定)」を参照してください。

設定の概要(プリンタのプロパティ)

[プリンタのプロパティ]ダイアログボックスの概要をプロパティシートごとに説明します。詳細はタイトルバーの[?]をクリックした後、各プロパティシート上のそれぞれの項目の上でクリックすることで表示されるヘルプでも説明されています。

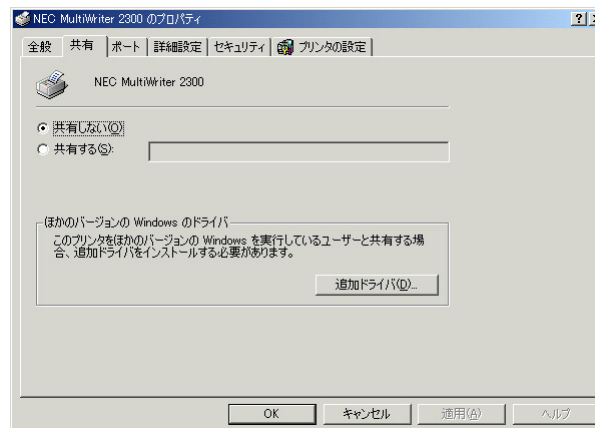
[全般]シート

このプロパティシートはあらかじめ入力されたプリンターについてのコメントなどを表示・設定します。Windows 2000 日本語版対応のプリンタードライバー共通のものです。

通常のご使用時、このシートの設定の変更は必要はありません。詳しくはWindows 2000 日本語版のヘルプをご覧ください。

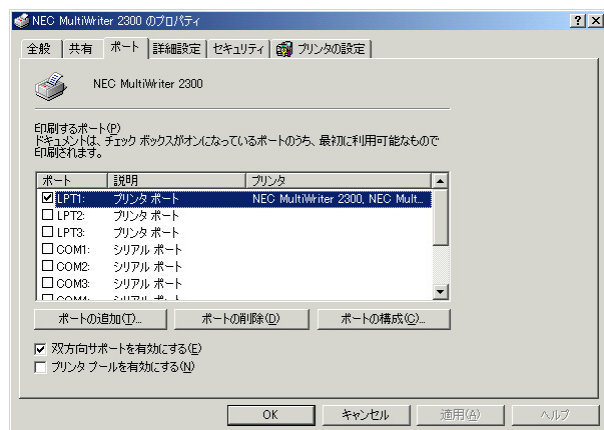
[共有]シート

このプロパティシートはWindows 2000 日本語版対応のプリンタードライバー共通のものです。

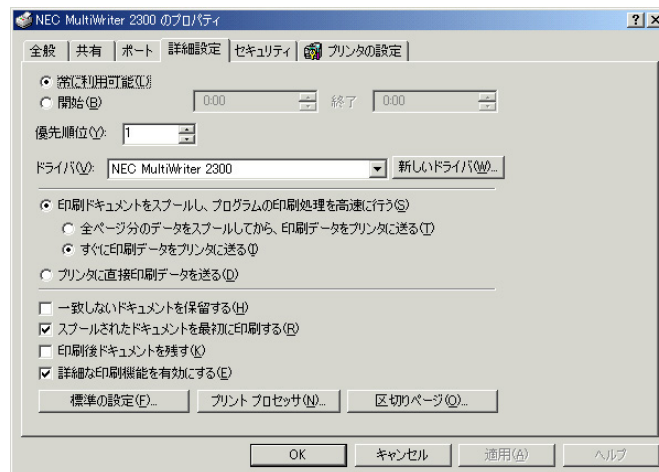
プリンターを共有するときの設定を行うシートです。詳しくはWindows 2000 日本語版のヘルプをご覧ください。

[ポート]シート

このプロパティシートはWindows 2000 日本語版対応のプリンタードライバー共通のものです。

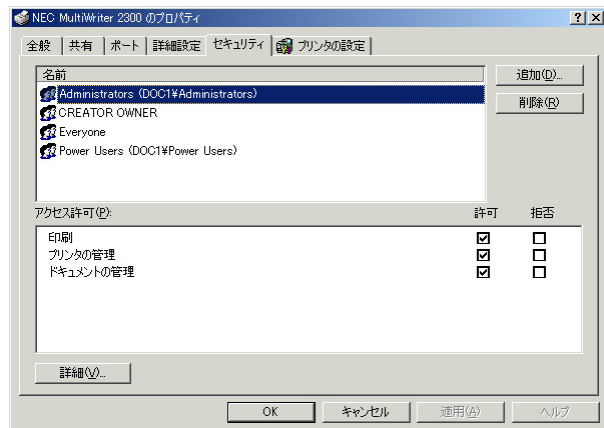
PrintAgentを使用する場合は、[双方向サポートを有効にする]がチェックされている必要があります。

通常のご使用時、このシートの設定の変更は必要はありません。詳しくはWindows 2000 日本語版のヘルプをご覧ください。

[詳細設定]シート

このプロパティシートはWindows 2000 日本語版対応のプリンタードライバー共通のものです。

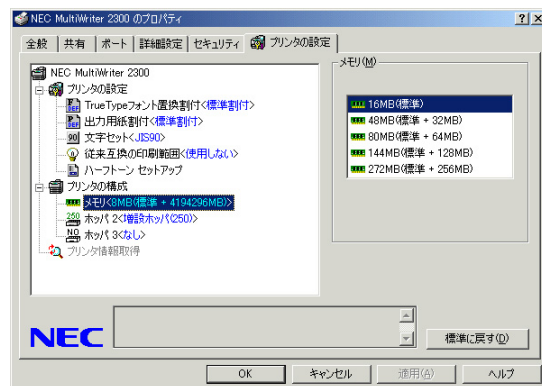
通常のご使用時、このシートの設定の変更は必要はありません。詳しくはWindows 2000 日本語版のヘルプをご覧ください。

[セキュリティ]シート

このプロパティシートはWindows 2000 日本語版対応のプリンタードライバー共通のものです。

通常のご使用時、このシートの設定の変更は必要はありません。詳しくはWindows 2000 日本語版のヘルプをご覧ください。

[プリンタの設定]シート

このプロパティシートは以下のプリンターの設定・情報の確認を行うことができます。

- 「プリンタの設定」
  - ◇ TrueTypeフォント置換割付
  - ◇ 従来互換の印刷範囲
  - ◇ 出力用紙割付
  - ◇ ハーフトーンセットアップ
  - ◇ 文字セット
- 「プリンタの構成」
  - ◇ メモリ
  - ◇ 増設ホッパ
- 「プリンタ情報取得」

設定・情報の確認は左側のツリービューで項目を選んで右側のリストボックス、ボタンを使って行います。
設定内容は〈　〉内に表示されます。通常は青色で、ダイアログボックスを開いた後に変更した場合は赤色で表示されます。

● プリンタの設定

◇「TrueTypeフォントの置換割付」
TrueTypeフォントをプリンターフォントに置き換える場合の置き換え方法を設定します。

ここでは、置き換え方法のみを設定します。ここで設定した置き換え方法でTrueTypeフォントの置き換えを行うには[印刷設定]ダイアログボックスの[その他]シートで[TrueTypeフォント置換]を[有効にする]にしておく必要があります。

ANSI、SHIFT JISなど文字セットが異なるフォント、デザインが著しく異なるフォントへの置き換えは行わないでください。期待どおりの印刷結果にならない場合があります。

－ 標準割付
アプリケーションから送られたTrueTypeフォントを書体が似ているプリンターフォントに置き換えます。

－ ユーザ割付
アプリケーションから送られたTrueTypeフォントを任意のプリンターフォントに置き換えます。設定は[割付設定]をクリックして表示される[TrueTypeフォントの割付設定]ダイアログボックスで行います。

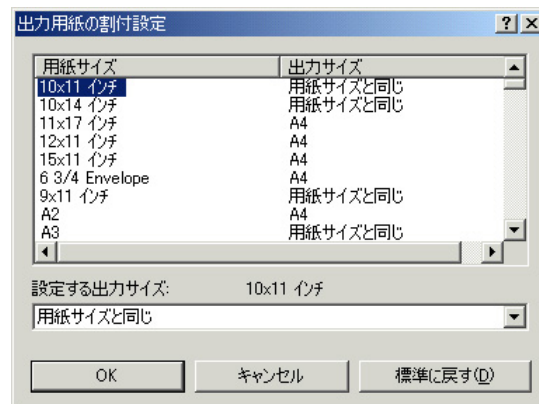
－ 割付設定ボタン
下のダイアログボックスを使って置き換えるプリンターフォントを設定します。それぞれのフォントを設定して[OK]をクリックすることで置き換えが設定されます。
[標準に戻す]をクリックすると、標準の組み合わせに戻すことができます。

◇「出力用紙割付」
用紙サイズを出力サイズに割り付ける場合の割り付け方法を設定します。

ここでは割り付け方法のみを設定します。ここで設定した割り付け方法で用紙サイズの置き換えを行うには[印刷設定]ダイアログボックスの[用紙]シートで[出力設定]の[割付に従う]をチェックしておく必要があります。

– 標準割付
ドライバーの定義する出力用紙の設定を使用します。使用可能なサイズはそのまま出力用紙サイズとし、使用不可能なサイズの用紙の場合は出力用紙サイズにA4用紙が割り当てられます。

– ユーザ割付
任意の出力用紙サイズを設定します。設定は[割付設定]をクリックすると表示される[出力用紙の割付設定]ダイアログボックスで行います。

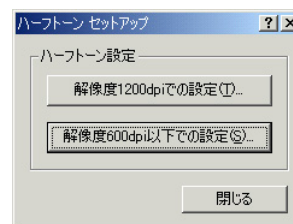
– [割付設定]ボタン
次のダイアログボックスを使って出力する用紙のサイズを設定します。それぞれのサイズを選択して[OK]をクリックすることで割り付けが設定されます。
[標準に戻す]をクリックすると標準の組み合わせに戻すことができます。

◇「文字セット」
プリンターフォントの文字セット（JIS1990かJIS1978）を選択します。

◇「従来互換の印刷範囲」
印刷範囲を以前のMultiWriter 2400X、2200NW2などMultiWriter 2000X以前のMultiWriterシリーズのプリンターと同じ印刷範囲に設定するかどうかを選択します。従来互換の印刷範囲は［印刷範囲］（オンラインマニュアル　「プリンターの設定と技術仕様」）を参照してください。

この設定を変更することで印刷位置が印刷範囲の外側に設定される場合があります。その場合は［印刷設定］ダイアログボックスの［その他］シートにある［印刷位置微調整］にて確認の上、印刷位置を設定し直してください。

従来互換の印刷範囲を設定しない場合は、用紙の全周5mm幅が余白となります。また、「複数ページレイアウト」を設定している場合は用紙の全周10mm幅が余白となります。

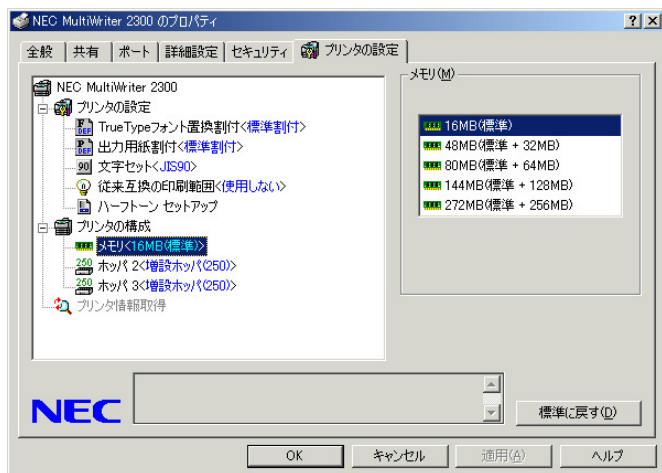
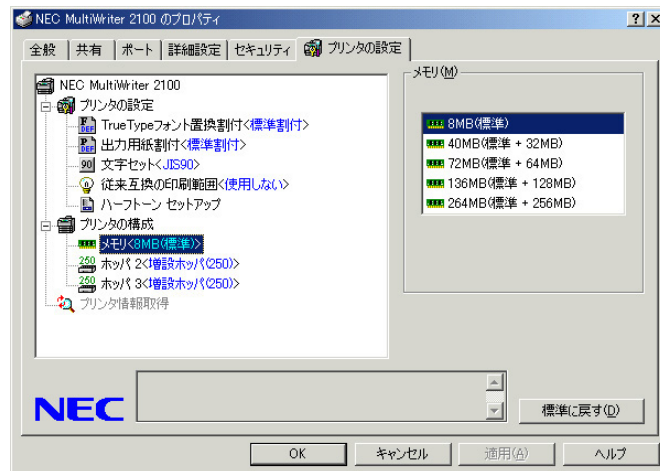
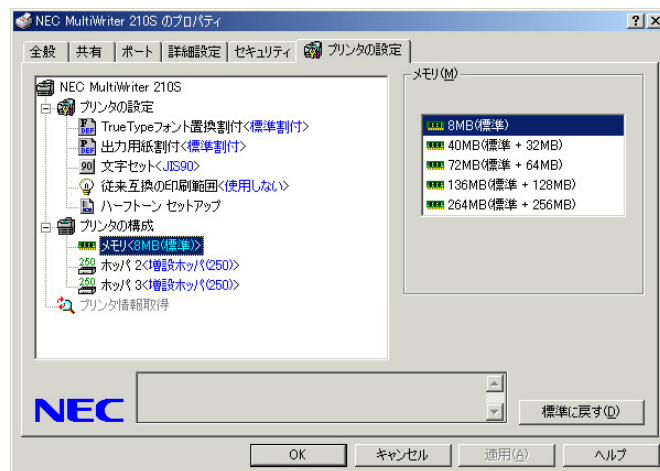
◇「ハーフトーンセットアップ」
［ハーフトーンセットアップ］をクリックして印刷データのハーフトーンの設定を行います。

【MultiWriter 2300の場合】
解像度1200dpiもしくは1200dpi以外で、ハーフトーンの設定を変更することができます。それぞれのボタンをクリックすることで、［デバイスカラー/ハーフトーンのプロパティ］が表示され、設定を変更することができます。

【MultiWriter 2100/210Sの場合】
［デバイスカラー/ハーフトーンのプロパティ］を開き設定します。

● プリンタの構成

このプロパティシートはプリンターの構成を表示・設定するものです。プリンターとコンピューターとの間で双方向通信が行われているとき、プリンターに装着されているメモリー、オプション装置が表示されます。

双方向通信ができない場合はそれぞれ表示される項目から装着されているものをクリックして選択し、プリンターの構成を設定します。

- ◇ メモリ
- ◇ ホッパ2
- ◇ ホッパ3

MultiWriter 2300

MultiWriter 2100

MultiWriter 210S

ホッパーの種類(増設ホッパ(250)/増設ホッパ(500))を変更した場合はプリンターの操作パネルで給紙装置の変更を行ってください(詳しくはユーザーズマニュアルをご覧ください)。

双方向通信している場合[プリンタ情報取得]をクリックするとプリンター装置の最新情報を取得することができます。

- **プリンタ情報取得**

プリンター装置の最新情報を取得します。双方向通信している場合(PrintAgentがインストールされており、[プリンタのプロパティ]ダイアログボックスの[ポート]シートにある[双方向サポートを有効にする]がチェックされているとき)のみ有効です。

設定の概要(印刷設定)

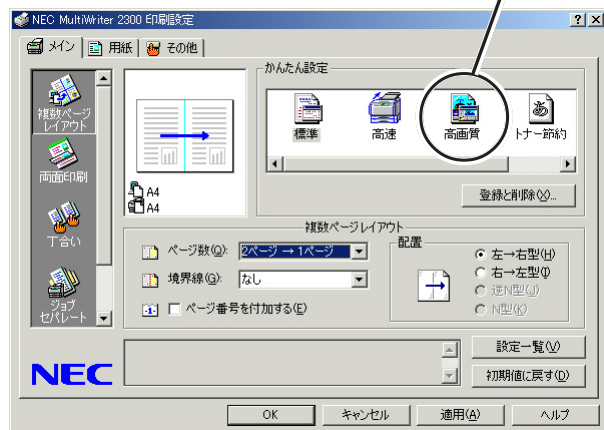
[印刷設定]ダイアログボックスの概要をプロパティシートごとに説明します。詳細はタイトルバーの[?]をクリックした後、各プロパティシートのそれぞれの項目の上でクリックすることで表示されるヘルプでも説明されています。

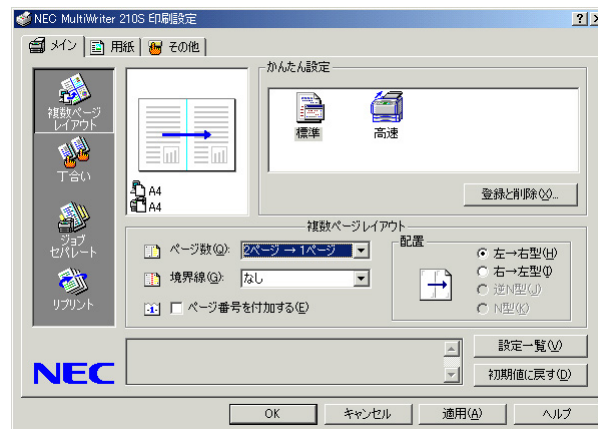
[メイン]シート

このプロパティシートはレイアウト、出力制御に関する以下の設定を行います。シート左側の[機能選択]バーから機能項目を選び、シート右下のエリア内で設定を行います。

【MultiWriter 2300/2100の場合】

- 複数ページレイアウト
- 両面印刷
- 丁合い
- ジョブセパレート
- リプリント

MultiWriter 2300のみで表示されます。

【MultiWriter 210Sの場合】

- 複数ページレイアウト
- 丁合い
- ジョブセパレート
- リプリント

シート右上の[かんたん設定]エリアはメインシート内の設定だけにかかわらず[印刷設定]ダイアログボックス内のすべてのシートの設定を登録するものです。詳細は[かんたん設定]機能を参照ください。

● [複数ページレイアウト]

◇ ページ数

コンボボックスで複数のページ印刷を選択すると、選択したページ数分を用紙の一面に縮小印刷します。選択できるページ数は1、2、4、6、8、9、16です。

◇ 境界線

コンボボックスから境界線を選択できます。「1ページ→1ページ」が選択されている場合はグレー表示され使用できません。

◇ 配置

複数ページ印刷の並び方を選択できます。「2ページ→1ページ」の場合は「左→右」、「右→左」または「上→下」、「下→上」の2通り。「4ページ→1ページ」、「6ページ→1ページ」、「8ページ→1ページ」、「9ページ→1ページ」、「16ページ→1ページ」の場合は「Z型」、「逆Z型」、「N型」、「逆N型」から選択できます。「1ページ→1ページ」が選択されている場合はグレー表示され使用できません。

◇ ページ番号を付加する

チェックボックスをチェックするとページ番号が付加されます。「1ページ→1ページ」が選択されている場合はグレー表示され使用できません。

ページ数で「1ページ→1ページ」を選択しているときは[境界線]、[配置]、[ページ番号を付加する]はグレー表示され使用できません。また以下の設定では複数ページレイアウトはグレー表示され使用できません。

- [用紙]シートの「原稿設定」で「＊＊→＊＊」の用紙が選択されているとき
- [出力設定]で[拡大縮小率を指定する]がチェックされているとき
- フォームオーバレイ印刷が設定されているとき

● [両面印刷](MultiWriter 2300/2100)

両面印刷するかどうか、および両面印刷する場合の綴じ方を設定します。

[用紙]シートの[用紙サイズ]で「はがき」、「往復はがき」、「封筒洋形4号」、「ユーザ定義サイズ」が選択されている場合や、[用紙種類]で「厚紙」、「OHP」が選択されている場合には、両面印刷はできません。

◇ [印刷開始ページ]

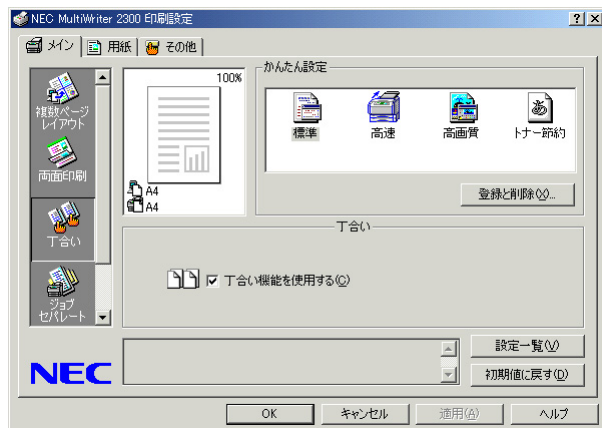
両面印刷する場合に、先頭ページを用紙の表面から印刷するか裏面から印刷するかを選択します。両面印刷が選択されていない場合はグレー表示で使用できません。

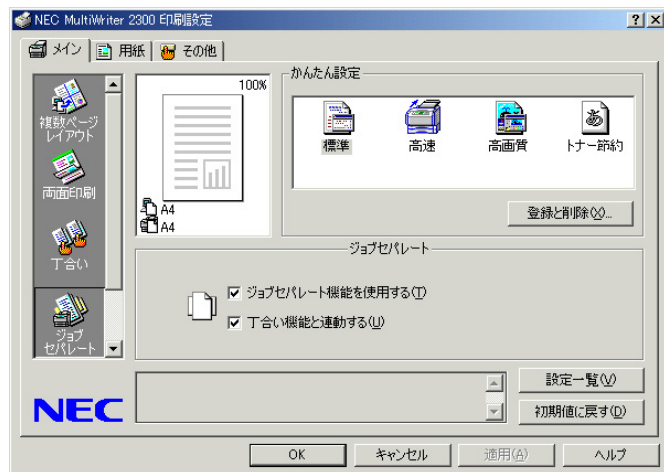
● [丁合い]

◇ [丁合い機能を使用する]
複数部数の印刷を行うとき、丁合い機能を使用するかしないかを選択します。

[プリンタのプロパティ]ダイアログボックスの[ポート]シートにある[双方向サポートを有効にする]がチェックされていない場合は使用できません。ただし電子ソート機能を使用できるメモリーをプリンターに増設し、[プリンタの設定]シートで増設したメモリーを選択してある場合には使用できます。

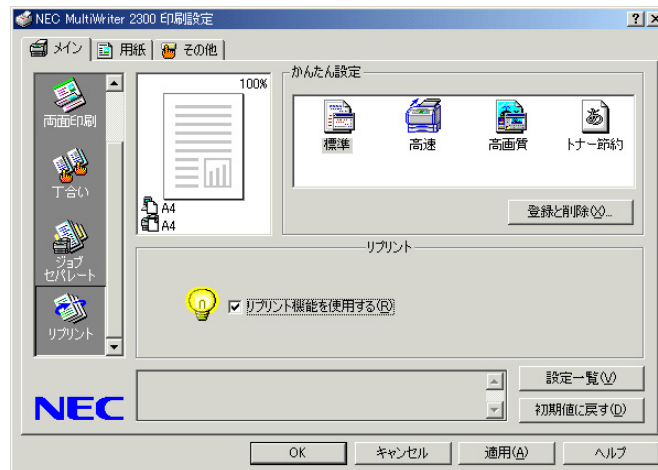
ジョブセパレート機能と組み合わせて使用することによって、A4用紙のみ縦置き横置き出力された仕分け出力を実現することができます。

アプリケーションの印刷機能で「丁合い」もしくは「部単位で印刷」などの指定ができる場合がありますが、アプリケーションによっては、プリンターの丁合い機能を使用せずに、アプリケーション独自の機能で丁合い印刷を実現している場合があります。このような場合には、アプリケーションの丁合い機能は使用せずに、プリンターのプロパティで「丁合い」を設定してください。
プリンターの機能で丁合い印刷を行うと、文書の一部分のデータで印刷できるため、アプリケーションの丁合い機能を使用するよりも速く印刷することができます。プリンターに増設メモリーを装着すると、「電子ソート」の機能を使って、より高速に丁合い印刷をすることができます。

「電子ソート機能」は以下の設定で使用できます。

- 解像度1200dpi時(MultiWriter 2300のみ):増設メモリーの容量が256MB以上
- その他の解像度:増設メモリーの容量が64MB以上

● ［ジョブセパレート］

◇［ジョブセパレート機能を使用する］
ジョブセパレート機能を使用するかしないかを選択します。ジョブセパレート機能とは、文書を印刷実行した単位で、A4用紙を縦横に置き分けてスタッカーに排出する機能です。詳細についてはユーザーズマニュアルをご覧ください。

◇［丁合い機能と連動する］
チェックボックスをチェックするとジョブセパレート機能と丁合い機能を連動して印刷することができます。

本機能はプリンター本体のいずれかのホッパー、またはMPにA4用紙を縦、横にセットしておく必要があります。
［用紙サイズ］にA4用紙（＊＊→A4を含む）が設定されていない場合や［給紙方法］に［自動］が設定されていない場合は、ジョブセパレート機能はグレー表示され使用できません。

● ［リプリント］

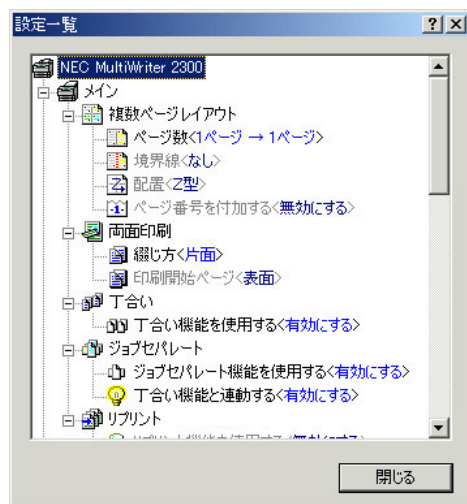
◇［リプリント機能を使用する］
リプリント機能を使用するかしないかを選択します。一度印刷したことのあるデータをアプリケーションを再起動せずにPrintAgentリプリント2の機能またはプリンターステータスウィンドウの機能から再印刷する機能です。

本機能は、PrintAgentがインストールされていない場合や、インストールされているが双方向通信が無効時等でリプリント機能が使用できない場合、またはプリンターが自動切替用としてインストールされている場合は、グレー表示され使用できません。

◇ [設定一覧]

このボタンをクリックすると次のようなダイアログボックスが表示され、現在[印刷設定]ダイアログボックスで設定されている内容が確認できます。

右クリックメニューの[設定一覧]を選択しても表示されます。

設定内容は〈　〉内に表示されます。通常は青色で、ダイアログボックスを開いた後に変更した場合は赤色で表示されます。このダイアログボックスでできるのは設定の確認のみです。設定の変更はできません。

チェック

以下の設定内容は[設定一覧]ダイアログボックスに表示されません。内容の確認はそれぞれのダイアログボックスを開いて行ってください。

- ハーフトーン カラーの調整([その他]シートの[グラフィックス]グループ)
- 印刷位置微調整([その他]シートの[拡張機能]グループ)
- フォーム([その他]シートの[拡張機能]グループ)

◇ [初期値に戻す]

このボタンをクリックすると[メイン]、[用紙]、[その他]シートすべての設定を初期値に戻します(初期値については「登録できる設定内容」をご覧ください)。

チェック

- [かんたん設定]でユーザーが登録した設定は[初期値に戻す]ボタンでは初期化されません。
- [その他]シートの[ハーフトーン カラーの調整]ダイアログボックスの設定内容はすべて初期値に戻るわけではありません。すべて初期値に戻すには[ハーフトーン カラーの調整]ダイアログボックス内に戻って設定し直す必要があります。詳しくは[ハーフトーン カラーの調整]ダイアログボックスのヘルプをご覧ください。
- [その他]シートの[操作パネル表示]の初期値は「ユーザ名」ですが、ユーザー名に全角文字が含まれている場合「初期値に戻す」を実行すると「なし」が選択されます。

[用紙]シート

このプロパティシートは以下の用紙に関する設定を行います。

- 原稿設定
  - ◇ 用紙サイズ
- 出力設定
  - ◇ 出力サイズ
  - ◇ 割付に従う
  - ◇ 拡大縮小率を指定する
- 印刷の向き
- 給紙方法
- 用紙種類
- 部数

● 原稿設定

◇ [用紙サイズ]

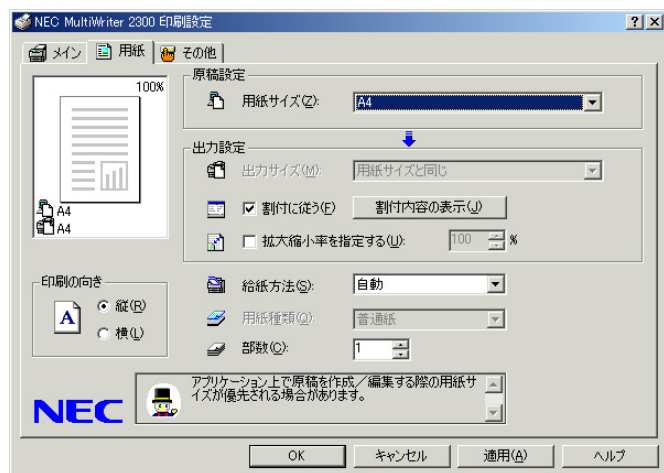
印刷する用紙サイズ、拡大・縮小サイズをコンボボックスから選択します。

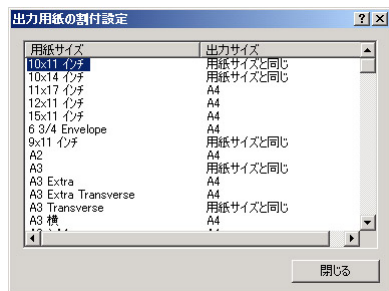
- アプリケーションによっては「A3→A4」などの拡大・縮小が正しく印刷されないものがあります。
- ユーザー定義サイズを含むデータを印刷する場合は[その他]シートの[用紙サイズエラー]で[検出しない」を選択してください。選択したユーザー定義サイズで印刷されない場合があります。

● 出力設定

◇ [出力サイズ]

原稿を実際に印刷する用紙サイズをコンボボックスから選択します。

ユーザ定義サイズを含むデータを印刷する場合は[その他]シートの[用紙サイズエラー]で「検出しない」を選択してください。選択したユーザー定義サイズで印刷されない場合があります。

◇［割付に従う］
［プリンタのプロパティ］ダイアログボックスの［プリンタの設定］シートの[出力用紙割付]で設定した内容に従って割り付けられた出力用紙で印刷されます。

［割付内容の表示］をクリックして下のダイアログボックスを表示させて、現在の出力用紙の割り付け内容の確認ができます。

◇［拡大縮小率を指定する］
文書を印刷する際の拡大縮小率を設定します。10%〜400%の範囲で設定が可能です。

－［印刷の向き］

ページを縦長（ポートレート）か横長（ランドスケープ）で印刷するかを設定します。

－［給紙方法］
給紙先（ホッパー/MP/手差し*）を［給紙方法］コンボボックスから選択します。コンボボックスには使用できる給紙方法が表示されます。「自動」に設定すると選択した用紙サイズがセットされている給紙先（ホッパー、MP、手差し*）から自動的に給紙されます。

給紙先を［自動］に設定した場合の注意事項

- ［その他］シートの［用紙サイズエラー］で［検出しない］を選択していると、［MP］、［手差し］*を対象とした自動給紙は行いません。給紙先すべての自動給紙を行うには［用紙サイズエラー］で［検出する］を選択してください。

- ユーザー定義サイズを含むデータを印刷する場合に、［その他］シートの［用紙サイズエラー］で［検出しない］を選択してください。［検出する］を選択すると、ユーザー定義サイズの用紙で印刷されない場合があります。

- プリンターの操作パネルで［MP］または［テサシ］*を設定し、印刷したい用紙が［MP］または［手差し］*にセットされている場合は、［用紙サイズエラー］の設定に関係なく［MP］または［手差し］*から給紙します。

- PrintAgentをインストールし双方向通信が有効の場合、コンボボックスの給紙先にはプリンターにセットされている用紙サイズが表示されます。［MP］では、MPカセットの用紙サイズ設定ダイヤルが「＊」に設定されている場合は、「MP（－）」と表示されます。

－［用紙種類］
［給紙方法］を［MP］、［手差し］*に選択したとき、用紙の種類を［普通紙］、［厚紙］、［OHP］の3種類から選択できます。また、印刷する用紙サイズの出力用紙サイズをユーザー定義サイズに選択しているときは給紙先が［MP］、［手差し］*になりますので、［用紙種類］を選択することができます。［MP］、［手差し］*以外のときは［普通紙］のみとなり選択することができません。

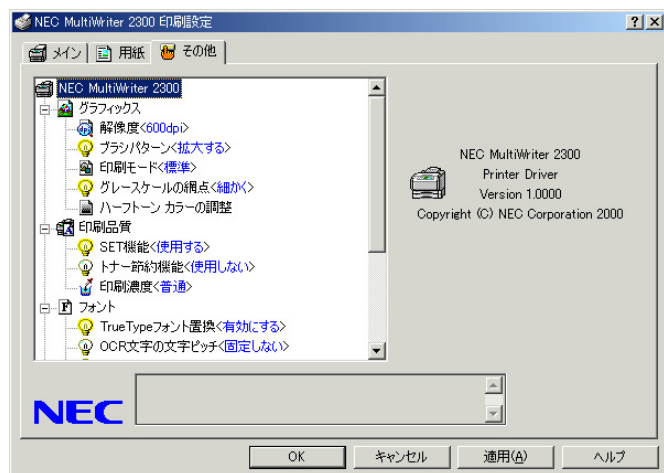
＊　MultiWriter 2300/2100のみ

－［部数］
印刷時の部数（コピー部数）を指定することができます。1〜99部まで設定可能です。

アプリケーションの印刷機能で部数を設定できる場合があります。アプリケーション側で設定できる場合は、アプリケーション側で設定するようにしてください。

[その他]シート

このプロパティシートは用紙、レイアウト、出力制御関係以外のプロパティを設定します。シート左側のツリービューから機能項目を選び、シート右側のエリア内で設定を行います。設定できる項目は次の5つのグループにまとめられています。

- グラフィックス
- 印刷品質
- フォント
- 拡張機能
- プリンタ情報取得

●「グラフィックス」

◇ 解像度

解像度を下記から選択できます。

機種名	解像度
MultiWriter 2300	1200dpi、600dpi、400dpi、300dpi、240dpi、200dpi
MultiWriter 2100	600dpi、400dpi、300dpi、240dpi、200dpi
MultiWriter 210S	600dpi、300dpi

高解像度を選択するとデータ量は多くなりますが、よりきれいに印刷することができます。低解像度を選択すると多少印刷品質は低下しますが速く印刷することができます。

◇ ブラシパターン

ブラシパターンの表現方法(標準/拡大する)を選択します。拡大率は設定されている解像度によって異なります。240dpiではこの設定は無効です。またアプリケーションによっては効果がないことがあります。

拡大する場合の拡大率は次のとおりになります。

1200dpi → 600%(6倍拡大)*1
600dpi → 300%(3倍拡大)
400dpi → 200%(2倍拡大)*2
300dpi → 300%(3倍拡大)
240dpi → 100%(拡大しない)*2
200dpi → 200%(2倍拡大)*2

*1　MultiWriter 2300のみ
*2　MultiWriter 2300/2100のみ

この機能は[印刷モード]で[ビットマップ]が選択されていると無効です。

◇ **印刷モード**

すべての印刷データをビットマップで印刷するかどうかを選択します。「ビットマップ」を選ぶと複雑な図形が多いドキュメントが高速に印刷できます。

図形の重なりが正しくないなどの問題が発生する場合は「ビットマップ」を選択してください。

◇ **グレースケールの網点**

グレースケールの網点の表現方法を選択します。「細かく」を選択するとグレーの濃淡を白地に黒いドットで作られたパターンで表現する際に、パターンの繰り返し周期が短くなります。お好みにより選択してください。

- 解像度に600dpiが設定されているときのみ有効で、その他の場合はグレー表示され使用できません。
- この機能は[印刷モード]で[ビットマップ]が選択されていると無効です。

◇ **ハーフトーン カラーの調整**

[ハーフトーン カラーの調整]をクリックすると以下のダイアログボックスが表示され、ハーフトーンの設定を行うことができます。

設定できる項目はプリンターによって異なります。カラー印刷に適用される項目はMultiWriter 2300/2100/210Sのようなモノクロプリンターでは無効です。

ハーフトーンカラーの調整項目と機能・設定内容

項目名	機能・設定内容
測光用の光	照度を調整して、イメージの表示を調整します。
コントラスト	明暗の色調の差を調整することができます。
明るさ	光の輝度を調整することができます。
色	色の鮮やかさを調整することができます。
濃淡	色合いを調整することができます。
暗い色	露出過度のグラフィックを調整することができます。
反転	色を反転することができます。
RGBガンマの入力	入力イメージの明るさのアンバランスを修正することができます。赤、緑、青をまとめて調整するときは、それぞれのチェックボックスをオンにします。個別に調整するときはそれぞれのチェックボックスをオフにします。「リニア」チェックボックスをオンにすると入力イメージに等しい明るさを設定できます。
黒/白の混合率	モノクロの混合率により、イメージの最も暗い点から明るい点までの範囲を設定することができます。
テストパターン	参照色またはグラフィックを選択することができます。
表示	テストパターンで選択した参照色またはグラフィックを表示させます。
最大化	フルスクリーンを使ってグラフィックを表示させます。
パレット	グラフィックのカラーパレットを表示させます。
スケール	グラフィックを元の比率で表示させます。
Xフリップ	イメージを水平軸に沿って反転させます。
Yフリップ	イメージを垂直軸に沿って反転させます。
［既定値］ボタン	クリックするとダイアログボックスの設定を標準の値に戻します。
［戻す］ボタン	クリックするとダイアログボックスの設定を、ダイアログボックスが表示されたときの状態に戻します。
［開く］ボタン	クリックするとグラフィックファイルを選択することができます。
［名前を付けて保存］ボタン	クリックすると開いたグラフィックファイルを保存します。

● 「印刷品質」

◇ SET機能（MultiWriter 2300/2100）
SET（Sharp Edge Technology）機能を使用するかしないかを選択します。SET機能を使用すると、テキストや斜線などのグラフィックスで細かなエッジ部分のギザギザをなくし、画質を向上させることができます。

◇ トナー節約機能（MultiWriter 2300/2100）
トナー節約モードを使用するかしないかを設定します。解像度1200dpi での印刷には設定できません。

- この機能は[解像度]で[1200dpi]が選択されていると無効です。
- トナー節約機能を使用すると、細い線、濃度の薄い印刷、網かけおよびグラデーションが不鮮明になることがあります。本機能は試し印刷などにご使用ください。

◇ 印刷濃度
印刷濃度を「淡く」、「やや淡く」、「普通」、「やや濃く」、「濃く」の5段階の中から設定します。

● 「フォント」

◇ TrueTypeフォント置換
アプリケーションから送られたTrueTypeフォントをプリンターフォントに置き換えるかどうかを設定します。

このとき置き換えるフォントは[プリンタのプロパティ]ダイアログの[プリンタの設定]シートで[TrueTypeフォント置換割付]によって設定された内容に従います。[割付内容の表示]をクリックすると現在の設定内容が表示されます。

この機能は[印刷モード]で「ビットマップ」が選択されていると無効です。

◇ OCR文字の文字ピッチ
OCR文字列を強制的にJISで定められた文字ピッチに固定して印刷するかどうかを選択します。

この機能は[印刷モード]で「ビットマップ」が選択されていると無効です。

◇ **文字の表現**

文字の色をグレースケールを使わずに、白色の文字は白に、その他の色の文字は黒で印刷します。

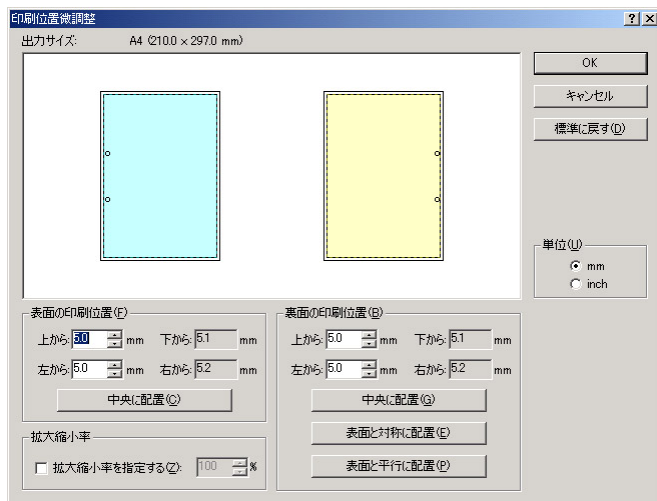
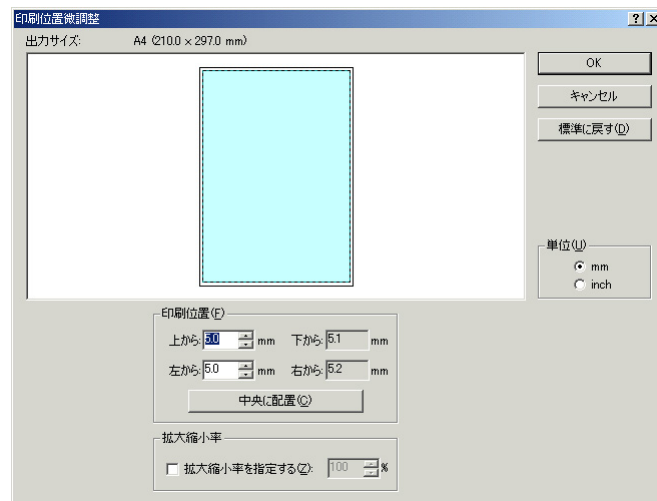
この機能は[印刷モード]で「ビットマップ」が選択されていると無効です。

●「拡張機能」

◇ 印刷位置微調整

[印刷位置微調整]をクリックすると以下の[印刷位置微調整]ダイアログボックスが開き、印刷位置や拡大縮小率を設定できます。

本機能は、以下の場合以外はいつでも有効で両面印刷*などの印刷機能と組み合わせることができます。

- [フォーム]シートでフォーム印刷を設定している。
- [用紙]シートの[原稿設定]で「＊＊→＊＊」の用紙を選択している。

両面*設定の場合

片面設定の場合

[中央に配置]
ボタンをクリックすると印刷範囲枠が用紙の中央に配置されます。

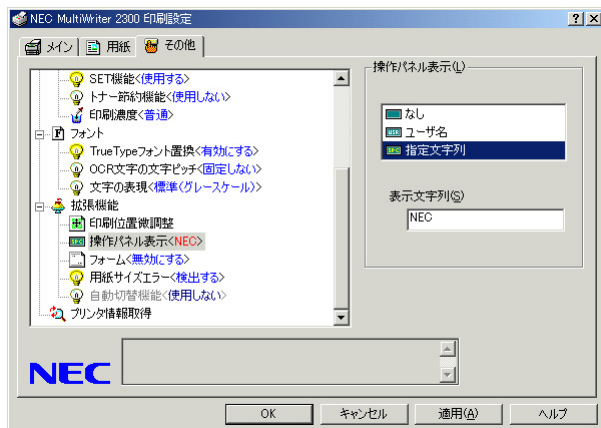
[表面と対称に配置]*
両面印刷の場合、裏面設定のみの機能です。ボタンをクリックすると印刷範囲枠が綴じ辺を軸にして表面と対称の位置に配置されます。

[表面と平行に配置]*
両面印刷の場合、裏面設定のみの機能です。ボタンをクリックすると印刷範囲枠が表面と同じ位置に配置されます。

＊　MultiWriter 2300/2100のみ

「拡大縮小率」
本設定項目は[用紙]シートの[拡大縮小率]と連動しています。動作条件も同様です。また、用紙レイアウト表示ウィンドウでマウス操作によって印刷範囲の大きさを変更した場合も、それに連動して表示されている数値が変更されます。

◇ **操作パネル表示**

印刷時にプリンターの操作パネルの下段に表示する文字列を設定します。

— **なし**

プリンターの操作パネルの下段には何も表示しません。

— **ユーザ名**

ネットワーク上にログインしたときのユーザー名が操作パネルの下段に表示されます。[ユーザ名]をチェックすると[表示文字列]テキストボックスでユーザー名が確認できます。

— **指定文字列**

プリンターの操作パネルの下段に[表示文字列]に入力した文字列が表示されます。

— **表示文字列**

プリンターの操作パネルの下段に表示される文字列です。「指定文字列」を選択した場合は、16文字まで入力可能になります。入力可能な文字については以下の表を参照してください。「ユーザ名」を選択した場合は、ユーザー名が表示されます。

ユーザー名として入力可能な文字以外の文字が設定されている場合、「なし」が選択されます。

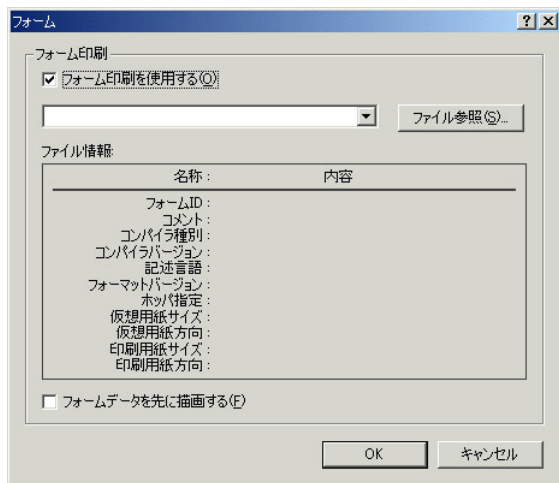
[表示文字列]に入力可能な文字一覧(スペースを含む)

スペース	!	#	$	%	&	‘	(	)	=
-	'	^	¥	¦	@	{	[	+	;
*	:	}	]	<	,	>	.	?	/
_									
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T
U	V	W	X	Y	Z				
a	b	c	d	e	f	g	h	i	j
k	l	m	n	o	p	q	r	s	t
u	v	w	x	y	z				
ｱ	ｲ	ｳ	ｴ	ｵ	ｶ	ｷ	ｸ	ｹ	ｺ
ｻ	ｼ	ｽ	ｾ	ｿ	ﾀ	ﾁ	ﾂ	ﾃ	ﾄ
ﾅ	ﾆ	ﾇ	ﾈ	ﾉ	ﾊ	ﾋ	ﾌ	ﾍ	ﾎ
ﾏ	ﾐ	ﾑ	ﾒ	ﾓ	ﾔ	ﾕ	ﾖ	ﾗ	ﾘ
ﾙ	ﾚ	ﾛ	ﾜ	ｦ	ﾝ	ｧ	ｨ	ｩ	ｪ
ｫ	ｬ	ｭ	ｮ	ｯ	ﾞ	ﾟ	ｰ	｢	｣
､	｡	･							

半角文字のみ入力可能です。

◇ フォーム

この機能はフォーム印刷を利用する場合にフォーム印刷に関する設定を行うものです。フォーム印刷とは見出し文字や罫線枠などのフォームデータを文書データと重ね合わせて印刷することです。フォームデータを作成するには別売のアプリケーションが必要です。

[フォーム]をクリックすると以下のダイアログボックスが表示されます。

◇ [フォーム印刷を使用する]

フォーム印刷をする場合、リストボックスから使用したいフォームファイルを選びます。コンボボックスに希望のファイルがない場合は[ファイル参照]をクリックして他の場所のファイルを参照することができます。

フォーム印刷を有効にした場合は、フォームデータが優先されるため以下の項目がグレー表示となり変更できなくなります。

- 原稿設定
- 出力設定
- 印刷の向き
- 給紙方法
- 複数ページレイアウト
- 従来互換の印刷範囲
- 印刷位置微調整

なお、フォームデータで設定された「用紙サイズ」、「印刷の向き」、「給紙方法」などがアプリケーションの設定と異なる場合や印刷データの途中で「用紙サイズ」、「印刷の向き」、「給紙方法」などが変更された場合、印刷結果は保証されません。

◇ [フォームデータを先に描画する]

フォーム印刷を行う場合、フォームデータを文書データの上に描画するかどうかを選択します。

◇ 用紙サイズエラー
給紙先から用紙を給紙したときに設定されている用紙サイズ、異なる用紙サイズを給紙した場合、用紙サイズエラーを検出するかどうか設定します。

本機能は、[出力サイズ]コンボボックスでユーザー定義サイズを指定した場合または、[用紙]シートの[給紙方法]でホッパーを選択した場合はグレー表示され使用できません。

[その他]シートの[用紙サイズエラー]で[検出しない]を選択していると、[MP]、[手差し]*を対象とした自動給紙は行ないません。給紙先すべての自動給紙を行うには[用紙サイズエラー]で[検出する]を選択してください。

ユーザー定義サイズを含むデータを印刷する場合に、[その他]シートの[用紙サイズエラー]で[検出しない]を選択してください。[検出する]を選択すると、ユーザー定義サイズで印刷されない場合があります。

* MultiWriter 2300/2100のみ

◇ 自動切替機能
プリンターを自動切り替え用としてインストールした場合、「使用する」を選択すると、グルーピングされた各プリンターに印刷文書を自動切替します。

本機能は、プリンターが自動切り替え用としてインストールされていない場合、[プリンタのプロパティ]ダイアログボックスの[ポート]シートで[双方向サポートを有効にする]がチェックされていない場合は、グレー表示になり使用できません。

● [プリンタ情報取得]

プリンターの最新情報を取得します。双方向通信している場合(PrintAgentがインストールされており、[プリンタのプロパティ]ダイアログボックスの[ポート]シートにある[双方向サポートを有効にする]がチェックされているとき)のみ有効です。

「かんたん設定」機能

「かんたん設定」は、Windows 2000のプリンタードライバーでご利用になれます。[印刷設定]ダイアログボックス内の設定内容をまとめて登録できる機能で、アイコンをクリックすれば登録した設定内容で簡単に印刷することができます。

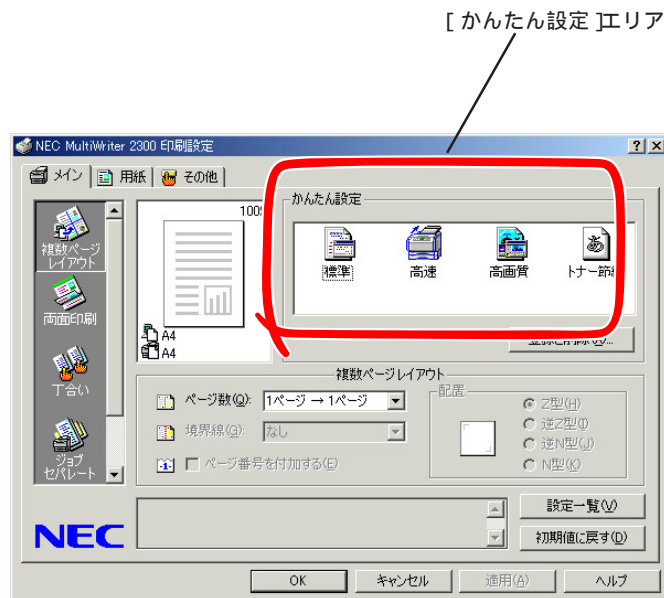
ここでは、MultiWriter 2300を例にして、「かんたん設定」の登録と削除方法について説明します。

なお、「かんたん設定」には、あらかじめ設定された[プリンターで登録済みの設定]アイコンがあります。
それぞれのアイコンに設定されている内容は以下の表の通りです。

[プリンターで登録済みの設定] アイコン	設定内容				
	解像度	ブラシパターン	グレースケールの網点	SET機能*2	トナー節約機能*2
標準	600dpi	拡大する	細かく	使用する	使用しない
高速	300dpi	拡大する	標準	使用する	使用しない
高画質*1	1200dpi	拡大する	標準	使用する	使用しない
トナー節約*2	600dpi	拡大する	標準	使用する	使用する

設定の登録と削除はメインシートの[かんたん設定]エリアで行います。プリンターにはあらかじめ[標準]、[高速]、[高画質]*1、[トナー節約]*2という設定が登録されています(「プリンターで登録済みの設定」参照)。

＊1 MultiWriter 2300のみ
＊2 MultiWriter 2300/2100のみ

以下はMultiWriter 2300のダイアログボックスの例です。

登録できる設定内容

以下の表に「かんたん設定」機能で登録できる設定内容を示します。<青字>は初期値です。[初期値に戻す]をクリックすると、この設定に戻ります。

【赤字】で示されている項目は印刷品質にかかわる項目です。これらを組み合わせた標準的な設定がすでにプリンターに登録されています(「プリンターで登録済みの設定」参照)。

「かんたん設定」機能で登録できる設定(1/3)

設定項目	設定内容
[メイン] シート	
複数ページレイアウト	
ページ数	(<1>、2、4、6、8、9、16)ページ → 1ページ
境界線	<なし>、実線、点線、破線、カットマーク
ページ番号を付加する	有効にする/<無効にする>
配置	左→右型、右→左型、上→下型、下→上型、<Z型>、逆Z型、逆N型、N型
両面印刷*	<片面>、長辺綴じ、短辺綴じ
印刷開始ページ	<表面>/裏面
丁合い機能を使用する	<有効にする>/無効にする
ジョブセパレート	
ジョブセパレート機能を使用する	<有効にする>/無効にする
丁合い機能と連動する	<有効にする>/無効にする
リプリント機能を使用する	<有効にする>/無効にする

* MultiWriter 2300/2100でのみ選択できます。

「かんたん設定」機能で登録できる設定（2/3）

設定項目	設定内容
［用紙］シート	
用紙サイズ	A3、B4、B5、＜A4＞、A5、レター、はがき、往復はがき、封筒洋形4号、A4→A3、B4→A3、B4→A4、LP→A4、A3→A4、A4、B5→A4、LP→B4、A3→B4、A4→B4、B5→B4、A4→B5、B4→B5、B5、その他システムで使用可能な用紙サイズ
出力サイズ	＜用紙サイズと同じ＞、A3、B4、B5、A4、A5、レター、はがき、往復はがき、封筒洋形4号、ユーザー定義サイズ
割付に従う	＜有効にする＞／無効にする
拡大縮小率を指定する	有効にする／＜無効にする＞　（拡大縮小率：10%～＜100%＞～400%）
印刷の向き	＜縦＞／横
給紙方法	＜自動＞、ホッパ1、ホッパ2，ホッパ3、MP、手差し＊
用紙種類	＜普通紙＞、厚紙、OHP
部数	＜1＞～99部

＊　MultiWriter 2300/2100のみ

「かんたん設定」機能で登録できる設定(3/3)

設定項目	設定内容
［その他］シート	
グラフィックス	
【解像度】	1200dpi＊1、＜600dpi＞、400dpi＊2、300dpi、240dpi＊2、200dpi＊2
【ブラシパターン】	標準／＜拡大する＞
印刷モード	＜標準＞／ビットマップ
【グレースケールの網点】	標準／＜細かく＞
印刷品質	
【SET機能】＊2	＜使用する＞／使用しない
【トナー節約機能】＊2	使用する／＜使用しない＞
印刷濃度	淡く、やや淡く、＜普通＞、やや濃く、濃く
フォント	
TrueTypeフォント置換	＜有効にする＞／無効にする
OCR文字の文字ピッチ	固定する／＜固定しない＞
文字の表現	＜標準（グレースケール）＞／白黒
拡張機能	
操作パネル表示	なし、＜ユーザ名＞、指定文字列
フォーム	有効にする／＜無効にする＞
用紙サイズエラー	＜検出する＞／検出しない
自動切替機能	＜使用する＞／使用しない

＊1　MultiWriter 2300のみ
＊2　MultiWriter 2300/2100のみ

プリンターで登録済みの設定

標準でプリンターに登録されている設定の特徴は次のとおりです。

標準： 印刷画質と印刷速度を両立させた印刷設定です。グラフなどを含めた一般的なビジネス文書の印刷に適しています。印刷品質に関する設定のみを行うため用紙の設定などと自由に組み合わせて使用できます。

高速： 印刷速度を優先した印刷設定です。自動的にビットマップなどの画像も調節されるため、高速な印刷に適しています。印刷品質に関する設定のみを行うため用紙の設定などと自由に組み合わせて使用できます。

高画質： 印刷画質を優先した印刷設定です。リアル1200dpiによる高品位な画像などの印刷に適しています。印刷品質に関する設定のみを行うため用紙の設定などと自由に組み合わせて使用できます。この設定はMultiWriter 2300でのみご利用になれます。

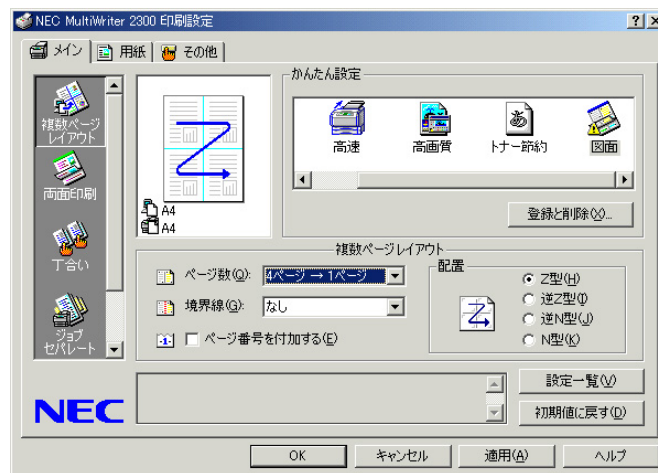
トナー節約： トナー消費量節約設定です。印刷品位を必要とせず全体の仕上がりを見るなどの試し印刷に適しています。印刷品質に関する設定のみを行うため用紙の設定などと自由に組み合わせて使用できます。この設定はMultiWriter 2300/2100でご利用になれます。

それぞれのアイコンをクリックすると印刷設定は以下の内容に変更されます。これらの設定は出力が目的に合った印刷品質になるような組み合わせになっています。通常はこの組み合わせを変更しないで使われることをお勧めします。

設定登録名	解像度	ブラシパターン	グレースケールの網点	SET機能*2	トナー節約機能*2
標準	600dpi	拡大する	細かく	使用する	使用しない
高速	300dpi	拡大する	標準	使用する	使用しない
高画質*1	1200dpi	拡大する	標準	使用する	使用しない
トナー節約*2	600dpi	拡大する	標準	使用する	使用する

*1　MultiWriter 2300でのみご利用になれます。
*2　MultiWriter 2300/2100でのみご利用になれます。

アイコンをクリック後、上記の内容を変更すると「登録済みの設定」アイコンにマーク（ ⚠ ）が付加され、登録済みの設定内容から変更されたことを示します。もちろん、このままユーザー設定として登録することができます（登録の手順については「ユーザー設定の登録」を参照ください）。しかし同じ名称で登録することはできません。

また「プリンターで登録済みの設定」は削除することができません。

ユーザー設定の登録

以下の手順で設定した内容を登録することができます。登録はプリンターで登録済みの[標準]、[高速]、[高画質]*1、[トナー節約]*2を含めて20セットまで登録することができます。

*1 MultiWriter 2300のみ
*2 MultiWriter 2300/2100のみ

1. 任意のプロパティシートで登録したい設定内容に変更する。

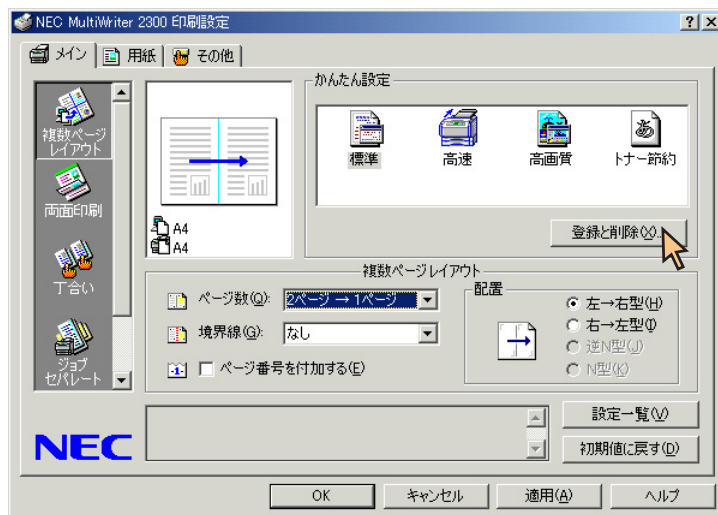
2. [メイン]シートを表示する。

[かんたん設定]リストビュー内のベースとなったアイコンにはマーク(⚠)が表示されています。

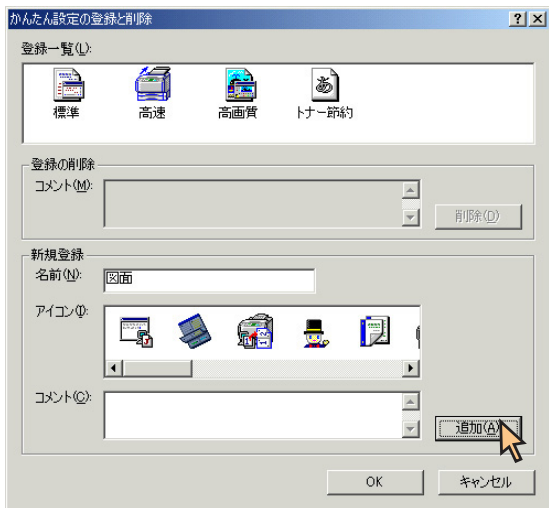
設定内容を確認したい場合は[設定一覧]をクリックすると[設定一覧]ダイアログボックスが表示されます。

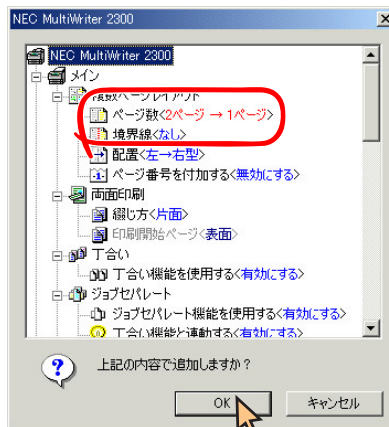
3. [登録と削除]をクリックする。

[かんたん設定の登録と削除]ダイアログボックスが表示されます。

[かんたん設定の登録と削除]ダイアログボックスは右クリックメニューの[登録と削除]メニューからも表示できます。

4. 名前を入力し任意のアイコンを選択する。

名前は全角/半角に関係なく15文字まで入力することができます。
登録する設定の簡単な説明を全角/半角関係なく127文字まで[コメント]に入力することができます。

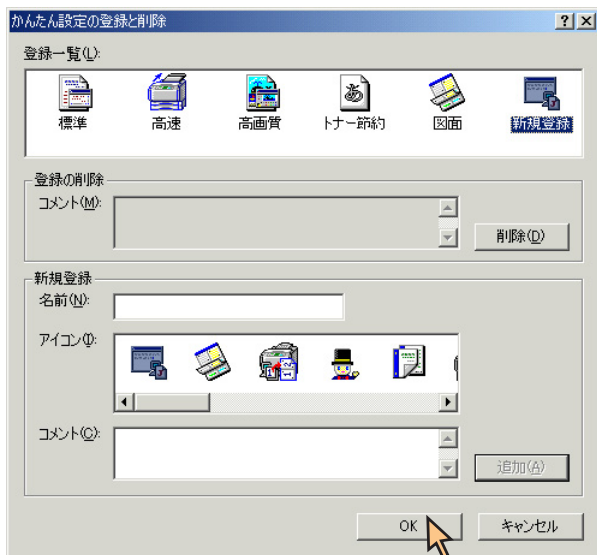
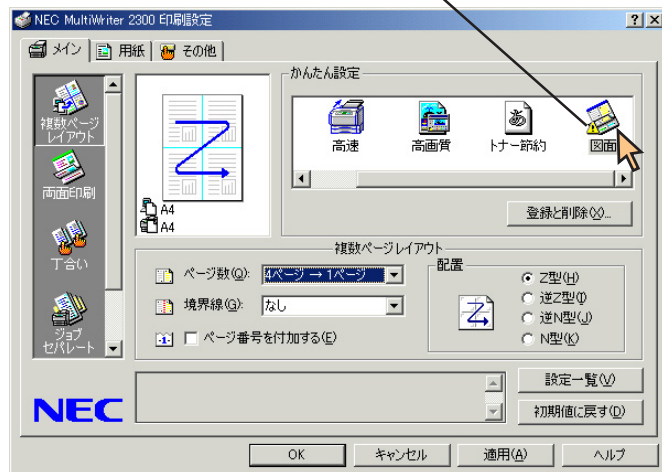
5. [追加]をクリックする。

6. 設定内容が表示されるので確認して[OK]をクリックする。

ダイアログボックスを開いた後に変更された内容は赤で表示されます。

7. [登録一覧]リストビューに選択したアイコンが登録されたことが確認できたら[OK]をクリックする。

ヒント

- アイコンを直接ドラッグすることでアイコンの表示順を 変更することができます。
- 各シートの右クリックメニューからも[かんたん設定の登録と削除]ダイアログボックス、[設定一覧]ダイアログボックスを開くことができます。

ユーザーが登録した設定はアイコンをクリック後、設定内容を変更するとアイコンにマーク(⚠)が付加され、登録済みの設定内容から変更されたことを表示します。ここでマークが付いたアイコンをクリックすると設定が登録時の内容に戻りマークが消えます。

登録された設定は[初期値に戻す]をクリックしても削除されません。ユーザーが登録した設定を削除するには「ユーザー設定の削除」をご覧ください。

⚠が付いたアイコンをクリックすると設定内容が元に戻る。

ユーザーが登録した設定の削除

以下の手順でユーザーが登録した設定を削除します。

1. [メイン]シートを表示する。

ヒント

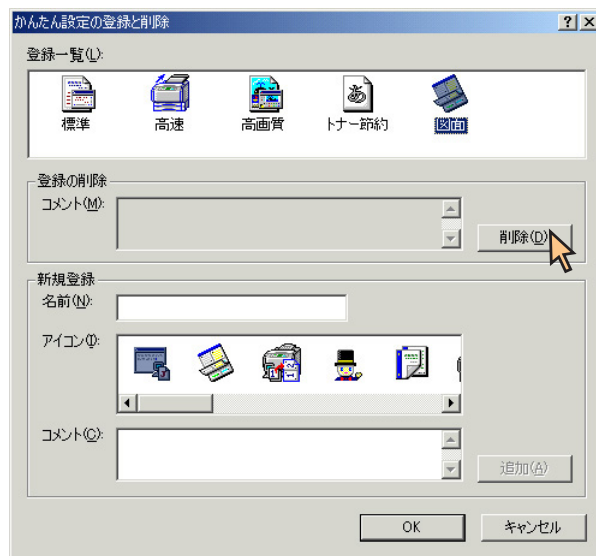
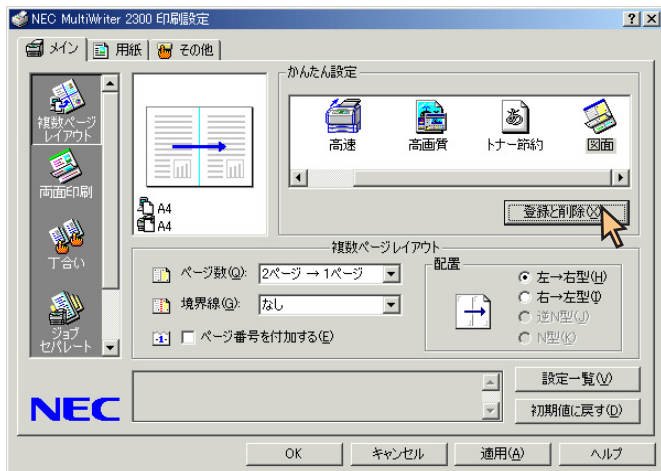
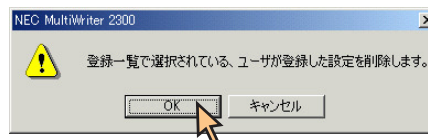
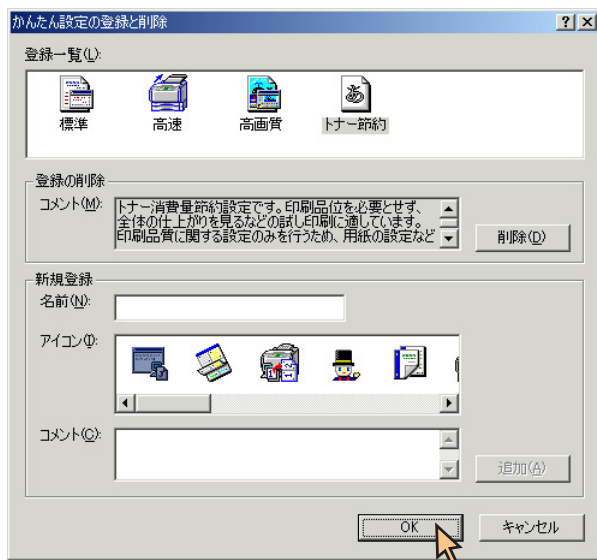
削除したい設定の内容を確認したい場合は[登録と削除]をクリックして[かんたん設定の登録と削除]ダイアログボックスを開き、[登録と削除]グループの[コメント]ボックスを確認してください。

2. [登録と削除]をクリックする。

[かんたん設定の登録と削除]ダイアログが表示されます。

ヒント

[かんたん設定の登録と削除]ダイアログボックスは右クリックメニューの[登録と削除]からも表示できます。

3. 削除したいアイコンを選択し[削除]をクリックする。

4. [OK]をクリックする。

5. ［登録一覧］リストビューからユーザー設定のアイコンが削除されたことが確認できたら［OK］をクリックする。

各シートの右クリックメニューからも［かんたん設定の登録と削除］ダイアログボックス、［設定一覧］ダイアログボックスを開くことができます。

Windows NT 4.0の場合

Windows NT 4.0では、印刷の詳細な設定は以下の2つのプロパティダイアログボックスで行います。

[デバイスプロパティ]ダイアログボックス

このダイアログボックスはプリンターのポートや共有などに関する設定を行うものです。次の7枚のプロパティシートで構成されています。このダイアログボックスはアプリケーションのメニューからは表示させることができません。

- [全般]シート
- [ポート]シート
- [スケジュール]シート
- [共有]シート
- [セキュリティ]シート
- [プリンタの設定]シート
- [プリンタの構成]シート

[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックス

このダイアログボックスは印刷の詳細な設定を行うものです。次の9枚のプロパティシートで構成されています。

- [用紙]シート
- [出力制御]シート
- [レイアウト]シート
- [グラフィックス]シート
- [フォント]シート
- [印刷品質]シート
- [フォーム]シート
- [補助機能]シート
- [プリンタの状態]シート

プロパティダイアログボックスを開く

プロパティダイアログボックスを開く方法は次の2通りあります。

- **アプリケーションのメニューから開く方法**

  一般的にダイアログボックスの設定は、そのアプリケーションでのみ有効となります。また用紙の設定の項目など表示できないことがあります。アプリケーションから呼び出せるのは印刷の設定を行う[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックスだけです。

- **デスクトップ上の[スタート]ボタンから開く方法**

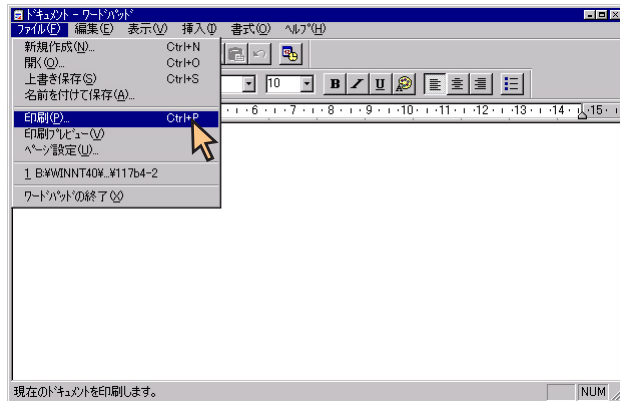
  ダイアログボックスの設定は[ドキュメントプロパティ]、[デバイスプロパティ]ともにすべてのアプリケーションでの基本設定になります。

アプリケーションから開く

アプリケーションから[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックスを開く場合、[ファイル]メニューの[印刷]コマンドか[プリンタの設定]コマンドを使います。(このコマンドはほとんどの場合[ファイル]メニューの中にありますが、[ファイル]メニューの構成はアプリケーションによって異なります。詳しくはアプリケーションのマニュアルをご覧ください。)

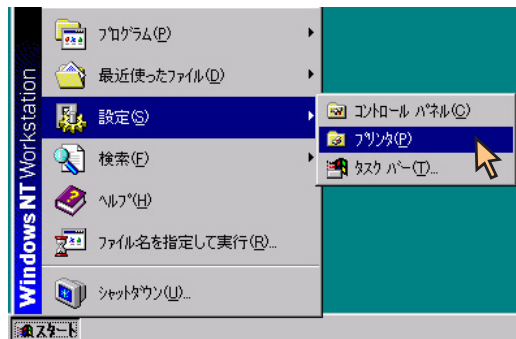
ここではWindows NT 4.0に付属されている日本語ワードプロセッサー「ワードパッド」を例にとって、[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックスを開く手順を説明します。任意のワードパッド文書を表示させて次の手順を確認してください。

1. [ファイル]メニューの[印刷]をクリックする。

[印刷]ダイアログボックスが開きます。

2. [プロパティ]をクリックする。

このような[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックスが表示されます。

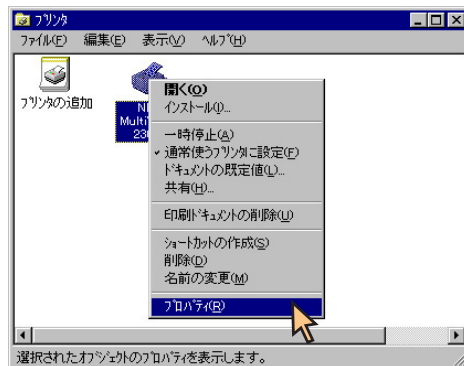
各プロパティシートについては、「設定の概要(ドキュメントプロパティ)」を参照してください。

[スタート]ボタンから開く

1. [スタート]から[設定]ー[プリンタ]を選択し、[プリンタ]フォルダーを開く。

2. [NEC MultiWriter 2300] アイコンを右クリックする。

プリンターのアイコンを選択し、メニューを表示します。

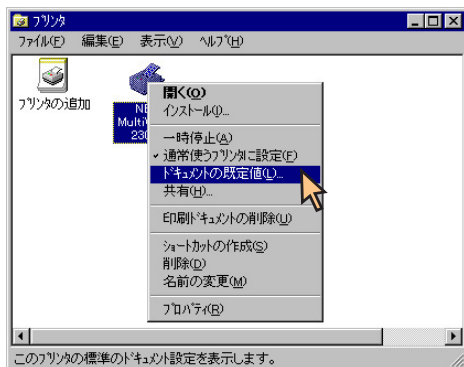
このメニューから2つのプロパティダイアログボックスが開きます。

[デバイスプロパティ]ダイアログボックスを開きたい場合は手順3へ、[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックスを開きたい場合は手順4へ進みます。

3. [プロパティ]をクリックして、[デバイスプロパティ]ダイアログボックスを開く。

このような[デバイスプロパティ]ダイアログボックスが表示されます。

各プロパティシートについては、「設定の概要(デバイスプロパティ)」を参照してください。

4. [ドキュメントの既定値]をクリックする。

[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックスを開く。

このような[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックスが表示されます。

各プロパティシートについては、「設定の概要(ドキュメントプロパティ)」を参照してください。

設定の概要（デバイスプロパティ）

[デバイスプロパティ]ダイアログボックスの概要をプロパティシートごとに説明します。詳細は各プロパティシート上のそれぞれの項目の上で右クリックすると表示されるヘルプでも説明されています。

[全般]シート

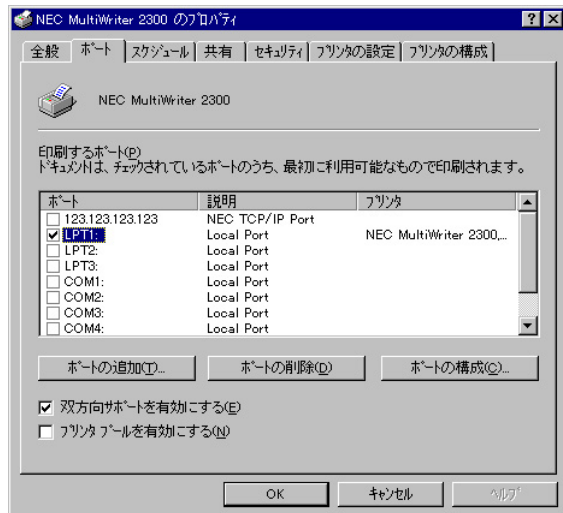
このプロパティシートはあらかじめ入力されたプリンターについてのコメントなどを表示・設定します。Windows NT 4.0 日本語版対応のプリンタードライバー共通のものです。

通常のご使用時、このシートの設定の変更は必要はありません。詳しくはWindows NT 4.0 日本語版のヘルプをご覧ください。

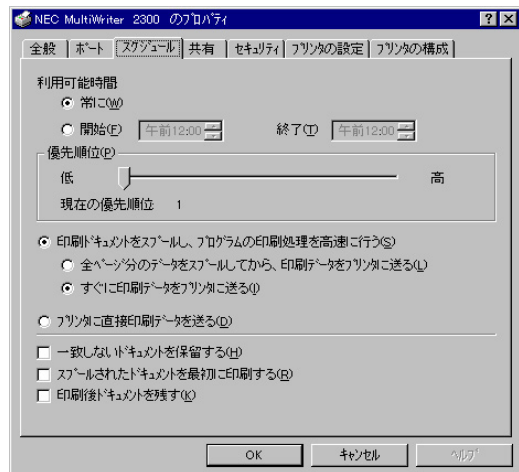
[ポート]シート

このプロパティシートはWindows NT 4.0 日本語版対応のプリンタードライバー共通のものです。

PrintAgentを使用する場合は、[双方向サポートを有効にする]がチェックされている必要があります。

通常のご使用時、このシートの設定の変更は必要はありません。詳しくはWindows NT 4.0 日本語版のヘルプをご覧ください。

[スケジュール]シート

このプロパティシートはWindows NT 4.0 日本語版対応のプリンタードライバー共通のものです。

通常のご使用時、このシートの設定の変更は必要はありません。詳しくはWindows NT 4.0 日本語版のヘルプをご覧ください。

[共有]シート

このプロパティシートはWindows NT 4.0 日本語版対応のプリンタードライバー共通のものです。

プリンターを共有するときの設定を行うシートです。詳しくはWindows NT 4.0 日本語版のヘルプをご覧ください。

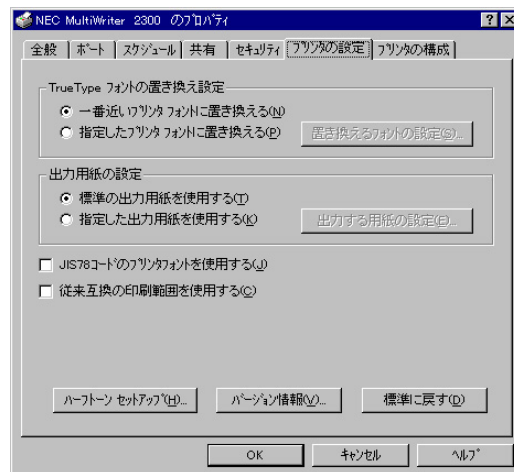
[セキュリティ]シート

このプロパティシートはWindows NT 4.0 日本語版対応のプリンタードライバー共通のものです。

通常のご使用時、このシートの設定の変更は必要はありません。詳しくはWindows NT 4.0 日本語版のヘルプをご覧ください。

[プリンタの設定]シート

このプロパティシートは以下のプリンターの設定を行います。

- TrueTypeフォントの置き換え設定
- 出力用紙の設定
- JIS78コードのプリンタフォントを使用する
- 従来互換の印刷範囲を使用する
- ハーフトーンセットアップ

「TrueTypeフォントの置き換え設定」

TrueTypeフォントの置き換え方法を設定することができます。

● 一番近いプリンタフォントに置き換える
  アプリケーションから送られたTrueTypeフォントを書体が似ているプリンターフォントに置き換えます。

● 指定したプリンタフォントに置き換える
  アプリケーションから送られたTrueTypeフォントを[置き換えるフォントの設定]によって設定したプリンターフォントに置き換えます。

[置き換えるフォントの設定]

このダイアログボックスを使って置き換えるプリンターフォントを設定します。それぞれフォントを選択して[OK]をクリックすることで置き換えが設定されます。
[標準に戻す]をクリックするとフォントの置き換えに関する設定を標準設定に戻すことができます。

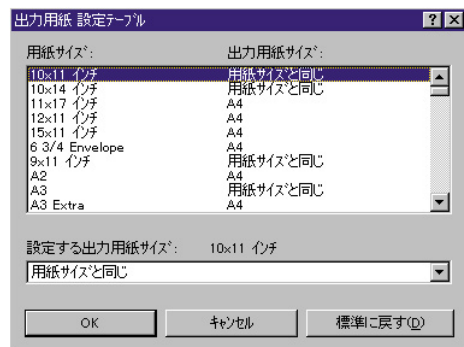
ANSI、SHIFT JISなど文字セットが異なるフォント、デザインが著しく異なるフォントの置き換えは行わないでください。期待どおりの印刷結果にならない場合があります。

「出力用紙の設定」

以下の項目から出力用紙を設定することができます。

● 標準の出力用紙を使用する
  ドライバーの定義する出力用紙の設定を使用します。使用可能なサイズはそのまま出力用紙サイズとし、使用不可能なサイズの用紙の場合は出力用紙サイズにA4用紙が割り当てられます。

● 指定した出力用紙を使用する
  任意の出力用紙サイズを設定します。設定は[出力する用紙の設定]をクリックすると表示される[出力用紙設定テーブル]で行います。

[出力する用紙の設定]

このダイアログボックスを使って出力する用紙のサイズを設定します。それぞれのサイズを選択して[OK]をクリックすることで割り付けが設定されます。
[標準に戻す]をクリックすると標準の組み合わせに戻すことができます。

「JIS78コードのプリンタフォントを使用する」

チェックボックスをチェックするとプリンターフォントをJIS78コードで印刷します。

「従来互換の印刷範囲を使用する」

印刷範囲をMultiWriter 2400X/2200NW2など、MultiWriter 2000X以前のMultiWriterシリーズのプリンターと同じ印刷範囲に設定する場合に選択します。

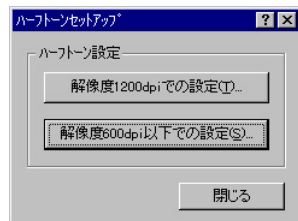
この設定を変更することで、印刷位置が印刷範囲の外側に設定される場合があります。その場合は[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックスの[レイアウト]シートにある[詳細設定]にて確認の上、印刷位置を設定し直してください。

従来互換の印刷範囲を設定しない場合は用紙の全周5mm 幅が余白となります。また[複数ページレイアウト]を設定している場合は用紙の全周10mm 幅が余白となります。

[ハーフトーン セットアップ]

[ハーフトーンセットアップ]をクリックして印刷データのハーフトーンの設定を行います。

【MultiWriter 2300の場合】

解像度1200dpi、もしくは1200dpi以外で、ハーフトーンの設定を変更することができます。それぞれのボタンをクリックすることで、[デバイスカラー/ハーフトーンのプロパティ]が表示され設定変更することができます。

【MultiWriter 2100/210Sの場合】

[デバイスカラー/ハーフトーンのプロパティ]を開き設定します。

- **ハーフトーンのパターン**
  ハーフトーンパターンのセルサイズを設定することができます。
- **デバイスガンマ**
  デバイスのガンマ補正を行うことができます。
- **ピクセルの大きさ**
  ピクセルの大きさを設定することができます。
- **輝度**
  白の明るさの値を調整することができます。
- **[戻す]**
  クリックするとダイアログボックスの設定を、ダイアログボックスが表示されたときの状態に戻します。

[バージョン情報]

クリックすると本プリンタードライバーのバージョン情報が表示されます。

[プリンタの構成]シート

このプロパティシートはプリンターの構成を表示・設定するものです。プリンターとコンピューターとの間でPrintAgentがインストールされていて双方向通信が行われているとき、プリンターに装着されているメモリー、オプション装置が表示されます。双方向通信ができない場合はそれぞれ表示される項目から装着されているものをクリックして選択し、プリンターの構成を設定します。

- メモリ
- ホッパ2
- ホッパ3

MultiWriter 2300の場合

MultiWriter 2100の場合

MultiWriter 210Sの場合

[プリンタ情報取得]

プリンターの最新情報を取得します。双方向通信している場合(PrintAgentがインストールされており、[プリンターのプロパティ]ダイアログボックスの[ポート]シートにある[双方向サポートを有効にする]がチェックされているとき)のみ有効です。

設定の概要（ドキュメントプロパティ）

［ドキュメントプロパティ］ダイアログボックスの概要をプロパティシートごとに説明します。詳細は各プロパティシート上のそれぞれの項目の上で右クリックすると表示されるヘルプでも説明されています。

［用紙］シート

このプロパティシートは以下の用紙に関する設定を行います。

- 用紙サイズ
- 出力用紙サイズ
- 拡大縮小率
- 印刷の向き
- 給紙方法
- 用紙種類
- 部数

「用紙サイズ」

印刷する用紙サイズ、縮小・拡大サイズを選択できます。

> アプリケーションによっては［A3→A4］などの拡大・縮小が正しく印刷されないものがあります。
>
> ユーザー定義サイズを含むデータを印刷する場合は、［用紙サイズエラーを検出する］のチェックを外してください。選択したユーザー定義サイズで印刷されない場合があります。

「出力用紙サイズ」

原稿を実際に印刷する用紙サイズを選択します。

- 指定する
  サポートするすべての用紙サイズに対して共通の出力用紙サイズを割り付ける場合に選択します。コンボボックスから用紙サイズを選択します。

- 割付に従う
  ［デバイスプロパティ］ダイアログボックスの［プリンタの設定］シートで［出力用紙の設定］をクリックして表示される［出力用紙　設定テーブル］で設定した内容に従って割り付けられた出力用紙で印刷されます。

  ［割付内容の表示］をクリックして以下のダイアログを表示させて、現在の出力用紙の割り付け内容の確認ができます。

> ユーザー定義サイズを含むデータを印刷する場合は、［用紙サイズエラーを検出する］のチェックを外してください。選択したユーザー定義サイズで印刷されない場合があります。

「拡大縮小率を指定する」

文書を印刷する際の拡大縮小率を設定します。10%〜400%の範囲で設定が可能です。

「印刷の向き」

ページを縦長(ポートレート)か横長(ランドスケープ)で印刷するかを設定します。枠内の用紙ボタンをクリックして選択します。

[用紙サイズ]で[LP*1→A4]、[LP*1→B4]が設定されている場合、[縦]は設定できません。

*1 LPとは帳票のことを示しています。

「給紙方法」

給紙先(ホッパー/MP/手差し*2)を[給紙方法]コンボボックスから選択します。コンボボックスには使用できる給紙方法が表示されます。「自動」に設定すると選択した用紙サイズがセットされている給紙先(ホッパー、MP、手差し*2)から自動的に給紙されます。

給紙先を[自動]に設定した場合の注意事項

- 「出力制御」シートの[用紙サイズエラーを検出する]のチェックを外していると、[MP]、[手差し]*2を対象とした自動給紙は行いません。給紙先すべての自動給紙を行うには[用紙サイズエラーを検出する]をチェックしてください。
- ユーザー定義サイズを含むデータを印刷する場合に、[出力制御]シートの[用紙サイズエラーを検出する]がチェックされているときは、チェックを外してください。チェックされていると、選択したユーザ定義サイズの用紙で印刷されない場合があります。
- プリンターの操作パネルでMPまたは手差し*2を設定し、印刷したい用紙がMPまたは手差し*2にセットされている場合は、[用紙サイズエラーを検出する]の設定に関係なく[MP]、または[手差し]*2から給紙します。
- PrintAgentをインストールし双方向通信が有効の場合、コンボボックスの給紙先にはプリンターにセットされている用紙サイズが表示されます。[MP]では、MPカセットの用紙サイズ設定ダイヤルが「*」に設定されている場合は、「MP(−)」と表示されます。

「用紙種類」

給紙方法を[MP]、[手差し]*2に選択したとき、用紙の種類を[普通紙]、[厚紙]、[OHP]の3種類から選択できます。また、印刷する用紙サイズの出力用紙サイズをユーザー定義サイズに選択しているときは給紙先が[MP]、[手差し]*2になりますので、[用紙種類]を選択することができます。
[MP]、[手差し]*2以外のときは[普通紙]のみとなり選択することができません。

*2　MultiWriter 2300/2100のみ

「部数」

印刷時の部数(コピー部数)を指定することができます。1〜99部まで設定可能です。

アプリケーションの印刷機能で部数を設定できる場合があります。アプリケーション側で設定できる場合は、アプリケーション側で設定するようにしてください。

[バージョン情報]

クリックすると本プリンタードライバーのバージョン情報が表示されます。

[出力制御]シート

このプロパティシートは以下の用紙に関する設定を行います。

- 丁合い機能
- ジョブセパレート機能
- リプリント機能を使用する
- 用紙サイズエラーを検出する
- プリンタ自動切替機能を使用する

「丁合い機能」

● 丁合い機能を使用する

複数部数の印刷を行うとき、丁合いを行うかの設定をします。[デバイスプロパティ]ダイアログボックスの[ポート]シートにある[双方向サポートを有効にする]がチェックされていない場合は使用できません。ただし、電子ソート機能を使用できるメモリーをプリンターに増設し、[プリンタの構成]シートで増設したメモリーを選択してある場合には使用できます。
ジョブセパレート機能と組み合わせて使用することによって、A4用紙のみ縦置き横置き出力された仕分け出力を実現することができます。

アプリケーションの印刷機能で「丁合い」もしくは「部単位で印刷」などの指定ができる場合がありますが、アプリケーションによっては、プリンターの丁合い機能を使用せずに、アプリケーション独自の機能で丁合い印刷を実現している場合があります。このような場合には、アプリケーションの丁合い機能は使用せずに、プリンターのプロパティで「丁合い」を設定してください。
プリンターの機能で丁合い印刷を行うと、文書の1部分の処理で印刷できるため、アプリケーションの丁合い機能を使用するよりもより速く印刷することができます。プリンターに増設メモリーを装着すると、「電子ソート」の機能を使って、より高速に丁合い印刷をすることができます。

「電子ソート」機能は以下の設定で使用できます。

◇ 解像度1200dpi時（MultiWriter 2300のみ）：増設メモリーの容量が256MB以上
◇ その他の解像度：増設メモリーが64MB以上

「ジョブセパレート機能」

● ジョブセパレート機能を使用する
ジョブセパレート機能を使用するかしないかを切り替えます。ジョブセパレート機能とは、文書を印刷実行した単位で、縦横に置き分けてスタッカーに排出する機能です。詳細についてはユーザーズマニュアルをご覧ください。

● 丁合い機能と連動する
チェックボックスをチェックするとジョブセパレート機能と丁合い機能を連動して印刷することができます。

本機能はプリンター本体のいずれかのホッパーまたはMPにA4用紙を縦、横にセットしておく必要があります。
[用紙サイズ]にA4用紙(＊＊→A4を含む)が設定されていない場合や[給紙方法]に[自動]が設定されていない場合は、ジョブセパレート機能はグレー表示され使用できません。

「リプリント機能を使用する」

リプリント機能を使用するかしないかを選択します。一度印刷したことのあるデータをアプリケーションを再起動せずにPrintAgentリプリント2の機能またはプリンターステータスウィンドウの機能から再印刷する機能です。

本機能は、PrintAgentがインストールされていない場合や、インストールされているが双方向通信が無効時等でリプリント機能が使用できない場合、またはプリンターが自動切替用としてインストールされている場合は、グレー表示され使用できません。

「用紙サイズエラーを検出する」

給紙先から用紙を給紙したときに設定されている用紙サイズ、異なる用紙サイズを給紙した場合、用紙サイズエラーを検出するかどうか設定します。

● 本機能は、[出力用紙サイズ]コンボボックスでユーザ定義サイズを指定した場合はグレー表示され使用できません。
● [用紙サイズエラーを検出する]をチェックしていない場合[用紙]シートの[給紙方法]で[自動]を選択しても、[MP]、[手差し]*からの給紙を行いません。[MP]、[手差し]*からも給紙を行いたいときは[用紙サイズエラーを検出する]をチェックしてください。ただしプリンター操作パネルで[MP]、[手差し]*が設定されている場合は、[給紙方法]が[自動]でも[用紙サイズエラーを検出する]のチェックにかかわらず、[MP]、[手差し]*から給紙されます。
● ユーザー定義サイズを含むデータを印刷する場合は、[検出しない]を選択してください。選択したユーザー定義サイズで印刷されない場合があります。

* MultiWriter 2300/2100のみ

「プリンタ自動切替機能を使用する」

プリンター自動切り替え用としてインストールした場合に、チェックボックスをチェックすると、グルーピングされた各プリンターに印刷文書を自動分配します。

本機能は、プリンターが自動切り替え用としてインストールされていない場合は、グレー表示され使用できません。

［レイアウト］シート

このプロパティシートは以下のレイアウトに関する設定を行うものです。

【MultiWriter 2300/2100の場合】

- 両面印刷
- 複数ページ印刷
- 詳細設定

【MultiWriter 210Sの場合】

- 複数ページ印刷
- 詳細設定

「両面印刷」(MultiWriter 2300/2100)

両面印刷するかどうか、および両面印刷する場合の綴じ方を設定します。

[用紙]シートの[用紙サイズ]で[はがき]、[往復はがき]、[封筒洋形4号]、[ユーザ定義サイズ]が選択されている場合や、[用紙種類]で[厚紙]、[OHP]が選択されている場合には、両面印刷はできません。

● 印刷開始ページ(MultiWriter 2300/2100)
両面印刷する場合に、先頭ページを用紙の表面から印刷するか裏面から印刷するかを選択します。両面印刷が選択されていない場合はグレー表示となり使用できません。

「複数ページ印刷」

● ページ数
コンボボックスで複数のページ印刷を選択すると、選択したページ数分を用紙の一面に縮小印刷します。選択できるページ数は1、2、4、6、8、9、16です。

● 境界線
コンボボックスから境界線を選択できます。[1ページ→1ページ]が選択されている場合はグレー表示され、使用できません。

● 配置
複数ページ印刷の並び方を選択できます。[2ページ→1ページ]の場合は[左→右]、[右→左]または[上→下]、[下→上]の2通り。[4ページ→1ページ]、[6ページ→1ページ]、[8ページ→1ページ]、[9ページ→1ページ]、[16ページ→1ページ]の場合は[Z型]、[逆Z型]、[N型]、[逆N型]から選択できます。[1ページ→1ページ]が選択されている場合はグレー表示され、使用できません。

● ページ番号を付加する
チェックボックスをチェックするとページ番号が付加されます。[1ページ→1ページ]が選択されている場合はグレー表示され、使用できません。

「詳細設定」

このボタンをクリックすると以下の[詳細設定]ダイアログボックスが開き、印刷位置や拡大縮小率を設定できます。

本機能は、以下の場合以外はいつでも有効で両面印刷などの印刷機能と組み合わせることができます。

- [フォーム]シートでフォーム印刷を設定している。
- [用紙]シートの[用紙サイズ]で[＊＊→＊＊]の用紙を選択している。

片面設定の場合

両面*設定の場合

＊　MultiWriter 2300/2100のみ

- ［中央に配置］
  ボタンをクリックすると印刷範囲枠が用紙の中央に配置されます。

- ［表面と対称に配置］＊
  両面印刷の場合、裏面設定のみの機能です。ボタンをクリックすると印刷範囲枠が綴じ辺を軸にして表面と対称の位置に配置されます。

- ［表面と平行に配置］＊
  両面印刷の場合、裏面設定のみの機能です。ボタンをクリックすると印刷範囲枠が表面と同じ位置に配置されます。

- 「拡大縮小率」
  本設定項目は［用紙］シートの［拡大縮小率］と連動しています。動作条件も同様です。また用紙レイアウト表示ウィンドウでマウス操作によって印刷範囲の大きさを変更した場合も、それに連動して表示されている数値が変更されます。

＊　MultiWriter 2300/2100のみ

[グラフィックス]シート

このプロパティシートは印刷解像度やグラフィックスデータに対するプリンターの処理の設定を行うものです。以下の設定が可能です。

- 解像度
- ブラシパターンを拡大する
- すべてビットマップで印刷する
- グレイスケールの網点を細かく印刷する
- ハーフトーン カラーの調整

「解像度」

解像度を次の中から選択できます。

機種名	解像度
MultiWriter 2300	1200dpi、600dpi、400dpi、300dpi、240dpi、200dpi
MultiWriter 2100	600dpi、400dpi、300dpi、240dpi、200dpi
MultiWriter 210S	600dpi、300dpi

「ブラシパターンを拡大する」

解像度に合わせてブラシパターンの大きさを変える機能です。拡大率は設定されている解像度によって異なります。240dpiではこの設定は無効です。またアプリケーションによっては効果がないことがあります。

- 1200dpi → 600%(6倍拡大)*1
- 600dpi → 300%(3倍拡大)
- 400dpi → 200%(2倍拡大)*2
- 300dpi → 300%(3倍拡大)
- 240dpi → 100%(拡大しない)*2
- 200dpi → 200%(2倍拡大)*2

*1 MultiWriter 2300に対応
*2 MultiWriter 2300/2100に対応

「すべてビットマップで印刷する」

コンピューター側で文字、図形などをすべてビットマップ処理します。複雑な図形が多いドキュメントが高速に印刷できます。

「グレイスケールの網点を細かく印刷する」

グレースケールのパターンを細かく印刷します。グレーの濃淡を白地に黒いドットで作られたパターンで表現する際に、パターンの繰り返し周期が短くなります。

本設定は解像度に600dpiが設定されているときのみ有効で、その他の場合はグレー表示され使用できません。

[ハーフトーン カラーの調整]

クリックするとこのダイアログボックスが表示され、ハーフトーンの設定を行います。

設定できる項目はプリンターによって異なります。カラー印刷に適用される項目はMultiWriter 2300/2100/210Sのようなモノクロプリンターでは無効です。

ハーフトーンカラーの調整項目と機能・設定内容

項目名	機能・設定内容
測光用の光	照度を調整して、イメージの表示を調整します。
コントラスト	明暗の色調の差を調整することができます。
明るさ	光の輝度を調整することができます。
色	色の鮮やかさを調整することができます。
濃淡	色合いを調整することができます。
暗い色	露出過度のグラフィックを調整することができます。
反転	色を反転することができます。
RGBガンマの入力	入力イメージの明るさのアンバランスを修正することができます。赤、緑、青をまとめて調整するときは、それぞれのチェックボックスをオンにします。個別に調整するときはそれぞれのチェックボックスをオフにします。「リニア」チェックボックスをオンにすると入力イメージに等しい明るさを設定できます。
黒/白の混合率	モノクロの混合率により、イメージの最も暗い点から明るい点までの範囲を設定することができます。
テストパターン	参照色またはグラフィックを選択することができます。
表示	テストパターンで選択した参照色またはグラフィックを表示させます。
最大化	フルスクリーンを使ってグラフィックを表示させます。
パレット	グラフィックのカラーパレットを表示させます。
スケール	グラフィックを元の比率で表示させます。
Xフリップ	イメージを水平軸に沿って反転させます。
Yフリップ	イメージを垂直軸に沿って反転させます。
［標準値］ボタン	クリックするとダイアログボックスの設定を標準の値に戻します。
［戻す］ボタン	クリックするとダイアログボックスの設定を、ダイアログボックスが表示されたときの状態に戻します。
［開く］ボタン	クリックするとグラフィックファイルを選択することができます。
［名前を付けて保存］ボタン	クリックすると開いたグラフィックファイルを保存します。

[フォント]シート

このプロパティシートはフォントに関する以下の設定を行うものです。

- TrueTypeフォント
- 文字を白黒で印刷する
- OCR文字の文字ピッチを固定する

「TrueTypeフォント」

TrueTypeフォントの置き換え方法を設定することができます。

- そのまま印刷
  アプリケーションから送られたTrueTypeフォントイメージをそのままビットマップで印刷します。

- プリンタフォントに置き換えて印刷
  [プリンタの設定]シートの[置き換えるフォントの設定]をクリックして表示される[TrueType 置き換えテーブル]ダイアログボックスで設定した内容に従って割り付けられたフォントで印刷します。

[割付内容の表示]

[TrueType置き換えテーブル]を表示し、割り付け内容の確認を行うことができます。

「文字を白黒で印刷する」

チェックボックスをチェックすると文字の色を、グレースケールを使わずに、白色の文字は白、その他の色の文字は黒で印刷します。

「OCR文字の文字ピッチを固定印刷する」

チェックボックスをチェックするとOCR文字列を強制的にJISで定められた文字ピッチに固定して印刷します。

[印刷品質]シート

このプロパティシートは印刷品質に関する以下の設定を行うものです。

【MultiWriter 2300/2100の場合】

- SET機能
- トナー節約機能
- 印刷濃度の設定

【MultiWriter 210Sの場合】

● 印刷濃度の設定

「SET機能」(MultiWriter 2300/2100)

SET(Sharp Edge Technology)機能を使用するかしないかを選択します。SET機能を使用すると、テキストや斜線などのグラフィックスで細かなエッジ部分のギザギザをなくし、画質を向上させることができます。

「トナー節約機能」(MultiWriter 2300/2100)

トナー節約モードを使用するかしないかを設定します。
解像度1200dpiでの印刷時には設定できません。

トナー節約機能を使用すると、細い線、濃度の薄い印刷、網かけおよびグラデーションが不鮮明になることがあります。本機能は試し印刷などにご使用ください。

「印刷濃度の設定」

印刷濃度を5段階の中からスライダーで設定します。

[フォーム]シート

このプロパティシートはフォーム印刷を利用する場合に、フォーム印刷に関する設定を行うものです。フォーム印刷は見出し文字や罫線枠などのフォームデータを文書データと重ね合わせて印刷するものです。フォームデータを作成するには別売のアプリケーションが必要です。

「フォーム印刷」

フォーム印刷をする場合、リストボックスから使用したいフォームファイルを選びます。リストボックスに希望のファイルがない場合は[ファイル参照]をクリックして他の場所のファイルを参照することができます。

- フォーム印刷を有効にした場合は、フォームデータが優先されるため以下の項目がグレー表示となり変更できなくなります。

  ◇　用紙サイズ
  ◇　出力用紙サイズ
  ◇　印刷の向き
  ◇　給紙方法
  ◇　複数ページレイアウト
  ◇　従来互換の印刷範囲
  ◇　印刷位置微調整

  なおフォームデータで設定された「用紙サイズ」、「印刷の向き」、「給紙方法」などがアプリケーションの設定と異なる場合や印刷データの途中で「用紙サイズ」、「印刷の向き」、「給紙方法」などが変更された場合、印刷結果は保証されません。

- フォームファイルは、次の場所に保存されている必要があります。

  ◇　￥￥システムディレクトリ￥system32を含む下のディレクトリ

「フォームデータを先に描画する」

フォーム印刷を行う場合、フォームデータを文書データの上に描画するかどうかを選択します。

[補助機能]シート

このプロパティシートは印刷時にプリンターの操作パネルの下段に表示する文字列を設定します。

「操作パネル表示」

- **なし**
  プリンターの操作パネルの下段には何も表示しません。

- **ユーザ名**
  ネットワーク上にログインしたときのユーザー名が操作パネルの下段に表示されます。[ユーザ名]をチェックすると[表示文字列]テキストボックスでユーザー名が確認できます。

- **指定文字列**
  プリンターの操作パネルの下段に[表示文字列]に入力した文字列が表示されます。

- **表示文字列**
  プリンターの操作パネルの下段に表示される文字列です。[指定文字列]を選択した場合は、16文字まで入力可能になります。入力可能な文字については以下の表を参照してください。
  [ユーザ名]を選択した場合は、ユーザー名が表示されます。
  [ユーザ名]に入力可能な文字以外の文字が設定されている場合、[なし]が選択されます。

[表示文字列]に入力可能な文字一覧(スペースを含む)

スペース	!	#	$	%	&	‘	(	)	=
-	'	^	¥	¦	@	{	[	+	;
*	:	}	]	<	,	>	.	?	/
_									
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T
U	V	W	X	Y	Z				
a	b	c	d	e	f	g	h	i	j
k	l	m	n	o	p	q	r	s	t
u	v	w	x	y	z				
ｱ	ｲ	ｳ	ｴ	ｵ	ｶ	ｷ	ｸ	ｹ	ｺ
ｻ	ｼ	ｽ	ｾ	ｿ	ﾀ	ﾁ	ﾂ	ﾃ	ﾄ
ﾅ	ﾆ	ﾇ	ﾈ	ﾉ	ﾊ	ﾋ	ﾌ	ﾍ	ﾎ
ﾏ	ﾐ	ﾑ	ﾒ	ﾓ	ﾔ	ﾕ	ﾖ	ﾗ	ﾘ
ﾙ	ﾚ	ﾛ	ﾜ	ｦ	ﾝ	ｧ	ｨ	ｩ	ｪ
ｫ	ｬ	ｭ	ｮ	ｯ	ﾞ	ﾟ	ｰ	｢	｣
､	｡	･							

半角文字のみ入力可能です。

[プリンタの状態]シート

このプロパティシートは現在のプリンターの状態を表示するものです。

MultiWriter 2300の場合

MultiWriter 2100の場合

MultiWriter 210Sの場合

[プリンタ情報取得]

プリンターの最新情報を取得します。双方向通信している場合(PrintAgentがインストールされており、[プリンターのプロパティ]ダイアログボックスの[ポート]シートにある[双方向サポートを有効にする]がチェックされているとき)のみ有効です。

Windows NT 3.51の場合

Windows NT 3.51では以下の2つのプロパティダイアログボックスで行います。

[デバイスプロパティ]ダイアログボックス

このダイアログボックスは、次の2枚のプロパティシートで構成されています。このダイアログボックスはアプリケーションのメニューからは表示させることができません。

- [プリンタの設定]シート
- [プリンタの構成]シート

[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックス

このダイアログボックスは印刷の詳細な設定を行うものです。MultiWriter 2300/2100では8枚、MultiWriter 210Sでは7枚のプロパティシートで構成されています。

【MultiWriter 2300/2100の場合】

- [用紙]シート
- [出力制御]シート
- [レイアウト]シート
- [グラフィックス]シート
- [フォント]シート
- [印刷品質]シート
- [フォーム]シート
- [補助機能]シート

【MultiWriter 210Sの場合】

- [用紙]シート
- [出力制御/レイアウト]シート
- [グラフィックス]シート
- [フォント]シート
- [印刷品質]シート
- [フォーム]シート
- [補助機能]シート

プロパティダイアログボックスを開く

プロパティダイアログボックスを開く方法は次の2通りあります。

- **アプリケーションのメニューから開く方法**
  一般的にダイアログボックスの設定は、そのアプリケーションでのみ有効となります。またアプリケーションから呼び出せるのは印刷設定を行う[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックスだけです。

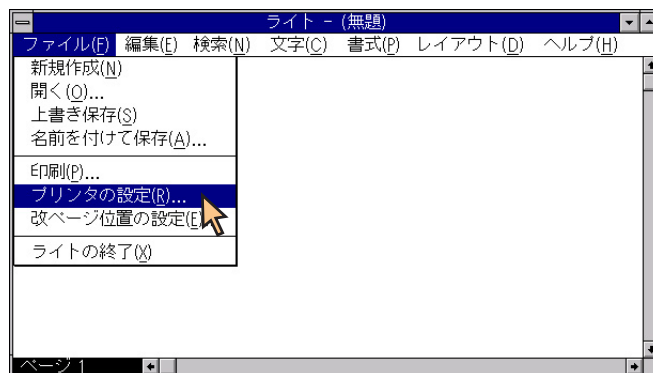
- **Windows付属の[プリントマネージャ]から開く方法**
  ダイアログボックスの設定、[デバイスプロパティ]、[ドキュメントプロパティ]ともに、すべてのアプリケーションでの基本設定になります。

アプリケーションから開く

Windowsのアプリケーションから[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックスを開く場合、[印刷]コマンドか[プリンタの設定]コマンドを使います。(このコマンドは、ほとんどの場合[ファイル]メニューの中にありますが、[ファイル]メニューの構成はアプリケーションによって異なります。詳しくはアプリケーションのマニュアルをご覧ください。)

ここではWindows NT 3.51に付属されている日本語ワードプロセッサー「ライト」を例にとって、[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックスを開く手順を説明します。任意のライト文書を表示させて次の手順を確認してください。

1. [ファイル]メニューの[プリンタの設定]をクリックする。

   [プリンタの設定]ダイアログボックスが開きます。

2. [プロパティ]をクリックする。

このような[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックスが表示されます。

各プロパティシートについては「設定の概要(ドキュメントプロパティ)」を参照してください。

[プリントマネージャ]から開く

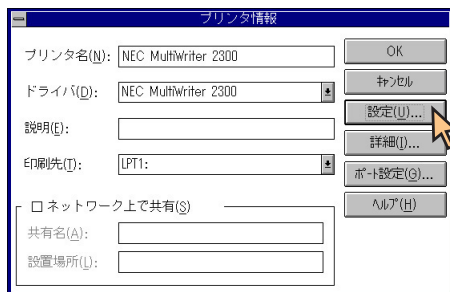
1. [プリントマネージャ]を開く。

2. [プリンタ]メニューの[プリンタ情報]をクリックする。

[プリンタ情報]ダイアログボックスが表示されます。

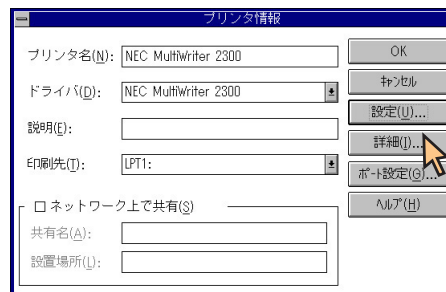
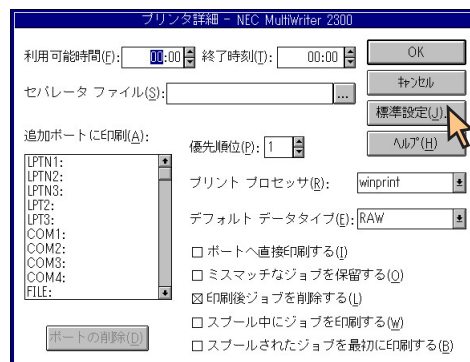
[デバイスプロパティ]ダイアログボックスを開きたい場合は手順3を、[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックスを開きたい場合は手順4および手順5を行ってください。

3. [設定]をクリックする。

[デバイスプロパティ]ダイアログボックスが開きます。

このような[デバイスプロパティ]ダイアログボックスが表示されます。

各プロパティシートについては「設定の概要(デバイスプロパティ)」を参照してください。

4. [詳細]をクリックする。

[プリンタ詳細]ダイアログボックスが表示されます。

5. [標準設定]をクリックする。

このような[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックスが表示されます。

各プロパティシートについては「設定の概要(ドキュメントプロパティ)」を参照してください。

設定の概要(デバイスプロパティ)

[デバイスプロパティ]ダイアログボックスの概要をプロパティシートごとに説明します。詳細は各プロパティシート上のそれぞれの項目の上で右クリックすると表示されるヘルプでも説明されています。

[プリンタの設定]シート

このプロパティシートは以下のプリンターの設定を行います。

- TrueTypeフォントの置き換え設定
- 従来互換の印刷範囲を使用する
- ハーフトーンセットアップ

「TrueTypeフォントの置き換え設定」

TrueTypeフォントの置き換え方法を設定することができます。

● 一番近いプリンタフォントに置き換える
アプリケーションから送られたTrueTypeフォントを書体が似ているプリンターフォントに置き換えます。

● 指定したプリンタフォントに置き換える
アプリケーションから送られたTrueTypeフォントを[置き換えるフォントの設定]によって設定したプリンターフォントに置き換えます。

[置き換えるフォントの設定]

このダイアログボックスを使って置き換えるプリンターフォントを設定します。それぞれフォントを選択して[OK]をクリックすることで置き換えが設定されます。

[標準に戻す]をクリックするとフォントの置き換えに関する設定を標準設定に戻すことができます。

ANSI、SHIFT JISなど文字セットが異なるフォント、デザインが著しく異なるフォントへの置き換えは行わないでください。期待どおりの印刷結果にならない場合があります。

「従来互換の印刷範囲を使用する」

印刷範囲をMultiWriter 2400X/2200NW2など、MultiWriter 2000X以前のMultiWriterシリーズのプリンターと同じ印刷範囲に設定する場合に選択します。

この設定を変更することで印刷位置が印刷範囲の外側に設定される場合があります。その場合は[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックスの[レイアウト]シートにある[詳細設定]にて確認の上、印刷位置を設定し直してください。

従来互換の印刷範囲を設定しない場合は、用紙の全周5mm 幅が余白となります。

[ハーフトーン セットアップ]

クリックするとこのダイアログボックスが表示され、ハーフトーンの設定を行います。

[デバイスカラー/ハーフトーンのプロパティ]を開き設定します。

● ハーフトーンのパターン
ハーフトーンパターンのセルサイズを設定することができます。

● デバイスガンマ
デバイスのガンマ補正を行うことができます。

● ピクセルの大きさ
ピクセルの大きさを設定することができます。

● 輝度
白の明るさの値を調整することができます。

● [リセット]
クリックするとダイアログボックスの設定をダイアログボックスが表示されたときの状態に戻します。

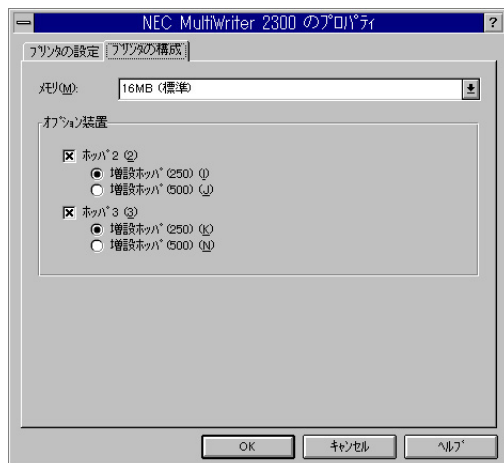
● [標準値]
クリックするとダイアログボックスの設定を標準の値に戻します。

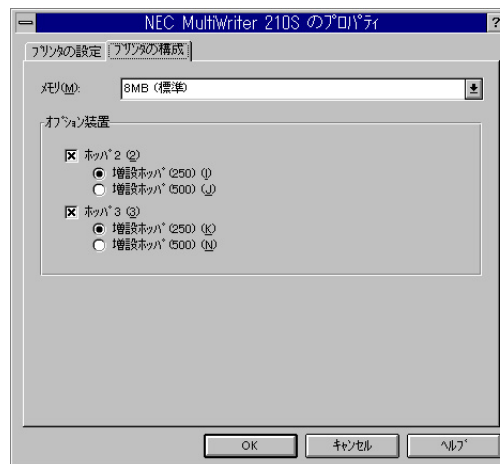
[バージョン情報]

クリックすると本プリンタードライバーのバージョン情報が表示されます。

[プリンタの構成]シート

このプロパティシートはプリンターの構成を表示・設定するものです。

- メモリ
- ホッパ2
- ホッパ3

MultiWriter 2300の場合

MultiWriter 2100の場合

MultiWriter 210Sの場合

設定の概要(ドキュメントプロパティ)

[ドキュメントプロパティ]ダイアログボックスの概要をプロパティシートごとに説明します。詳細は各プロパティシート上のそれぞれの項目の上で右クリックすると表示されるヘルプでも説明されています。

[用紙]シート

このプロパティシートは以下の用紙に関する設定を行います。

- 用紙サイズ
- 用紙種類
- 給紙方法
- 印刷の向き
- 部数

「用紙サイズ」

印刷する用紙サイズ、縮小・拡大サイズを選択できます。

アプリケーションによっては[A3→A4]などの拡大・縮小が正しく印刷されないものがあります。

ユーザ定義サイズを含むデータを印刷する場合は、[用紙サイズエラーを検出する]チェックボックスをOFFにしてください。選択されたユーザ定義で印刷されないことがあります。

「給紙方法」

給紙先(ホッパー/MP/手差し*)を[給紙方法]コンボボックスから選択します。コンボボックスには使用できる給紙方法が表示されます。「自動」に設定すると選択した用紙サイズがセットされている給紙先(ホッパー、MP、手差し*)から自動的に給紙されます。

給紙先を[自動]に設定した場合の注意事項

- 「出力制御」シート(MultiWriter 210Sの場合「出力制御/レイアウト」シート)の[用紙サイズエラーを検出する]のチェックを外していると、[MP]、[手差し]*を対象とした自動給紙は行いません。給紙先すべての自動給紙を行うには[用紙サイズエラーを検出する]をチェックしてください。

- ユーザ定義サイズを含むデータを印刷する場合に、[出力制御]シートの[用紙サイズエラーを検出する]がチェックされているときは、チェックを外してください。チェックされていると、選択したユーザ定義サイズの用紙で印刷されない場合があります。

● プリンターの操作パネルでMPまたはテサシ*を設定し、印刷したい用紙がMPまたは手差し*にセットされている場合は、[用紙サイズエラーを検出する]の設定に関係なく[MP]または、[手差し]*から給紙します。

「印刷の向き」

ページを縦長（ポートレート）か横長（ランドスケープ）で印刷するかを設定します。枠内の[用紙]をクリックして選択します。

「用紙種類」

給紙方法]を[MP]、[手差し]*に選択したとき、用紙の種類を[普通紙]、[厚紙]、[OHP]の3種類から選択できます。また、印刷する用紙サイズの出力用紙サイズをユーザ定義サイズに選択しているときは給紙先が[MP]、[手差し]*になりますので、[用紙種類]を選択することができます
[MP]、[手差し]*以外のときは[普通紙]のみとなり選択することができません。

＊　MultiWriter 2300/2100 のみ

「部数」

印刷時の部数（コピー部数）を指定することができます。1～99部まで設定可能です。

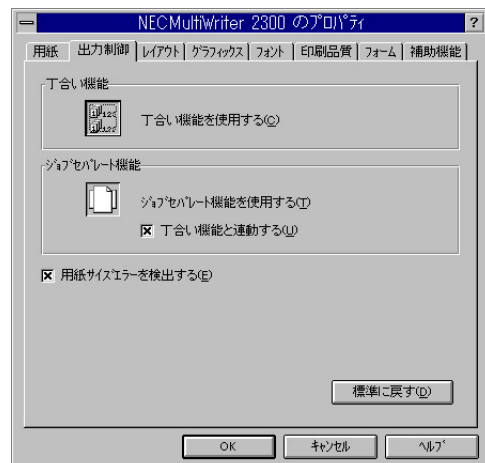
アプリケーションの印刷機能で部数を設定できる場合があります。アプリケーション側で設定できる場合は、アプリケーション側で設定するようにしてください。

[バージョン情報]

クリックすると本プリンタードライバーのバージョン情報が表示されます。

[出力制御]シート(MultiWriter 2300/2100)

このプロパティシートは以下の出力制御に関する設定を行います。

- 丁合い機能
- ジョブセパレート機能
- 用紙サイズエラーを検出する

[出力制御/レイアウト]シート(MultiWriter 210S)

- 丁合い機能
- ジョブセパレート機能
- 用紙サイズエラーを検出する
- 詳細設定

「丁合い機能」

● 丁合い機能を使用する
複数部数の印刷を行うとき、丁合いを行うかの設定をします。

丁合い機能を有効にするには、プリンターにメモリーを増設して電子ソート機能を有効にする必要があります。

［プリンタの構成］シートで増設したメモリーを選択してください。

また、ジョブセパレート機能と組み合わせて使用することによって、A4用紙のみ縦置き横置きに出力された仕分けを実現させることができます。

アプリケーションの印刷機能で「丁合い」もしくは「部単位で印刷」などの指定ができる場合がありますが、アプリケーションによっては、プリンターの丁合い機能を使用せずに、アプリケーション独自の機能で丁合い印刷を実現している場合があります。このような場合には、アプリケーションの丁合い機能は使用せずに、プリンターのプロパティで「丁合い」を設定してください。
プリンターの機能で丁合い印刷を行うと、文書の1部分の処理で印刷できるため、アプリケーションの丁合い機能を使用するよりもより速く印刷することができます。プリンターに増設メモリーを装着すると、「電子ソート」の機能を使って、より高速に丁合い印刷をすることができます。

電子ソート機能
プリンターの機能で丁合い印刷を行うと、文書の1部分の処理で印刷できるため、アプリケーションの丁合い機能を使用するよりも速く印刷することができます。プリンターに増設メモリーを装着すると、「電子ソート」の機能を使って、より高速に印刷することができます。

「電子ソート」機能は以下の設定で使用できます。

- 解像度1200dpi時（MultiWriter 2300のみ）：増設メモリー の容量が256MB以上
- その他の解像度：増設メモリーの容量が64MB以上
- データによっては部数分印刷されない場合があります。

「ジョブセパレート機能」

● ジョブセパレート機能を使用する
ジョブセパレート機能を使用するかしないかを切り替えます。ジョブセパレート機能とは、文書を印刷実行した単位で、縦横に置き分けてスタッカーに排出する機能です。詳細についてはユーザーズマニュアルをご覧ください。

● 丁合い機能と連動する
チェックボックスをチェックするとジョブセパレート機能と丁合い機能を連動して印刷することができます。

本機能はプリンター本体のいずれかのホッパーまたはMPにA4用紙を縦、横にセットしておく必要があります。
[用紙サイズ]にA4用紙（＊＊→A4を含む）が設定されていない場合や[給紙方法]に[自動]が設定されていない場合は、ジョブセパレート機能はグレー表示され使用できません。

「用紙サイズエラーを検出する」

給紙先から用紙を給紙したときに設定されている用紙サイズ、異なる用紙サイズを給紙した場合、用紙サイズエラーを検出するかどうか設定します。

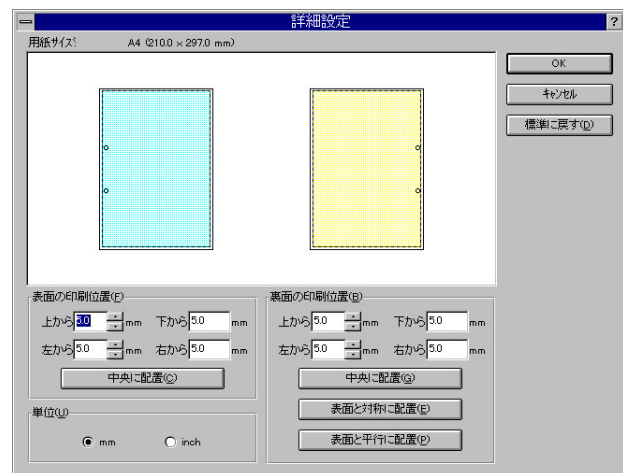
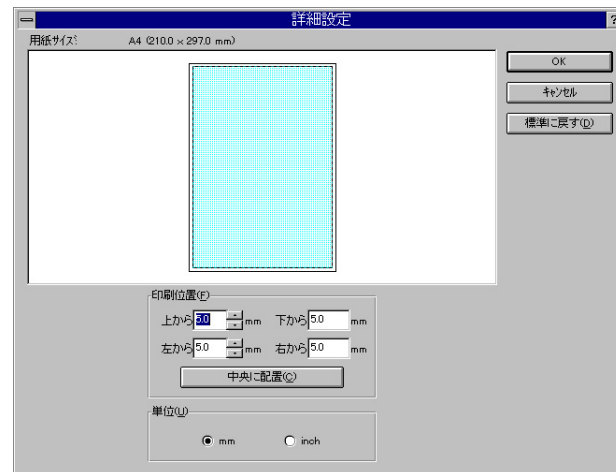
本機能は、[用紙サイズ]ボックスでユーザ定義サイズを指定した場合、または[用紙]シートを[給紙方法]でホッパーを選択した場合はグレー表示され使用できません。
[用紙サイズエラーを検出する]をチェックしていない場合[用紙]シートの[給紙方法]で[自動]を選択しても[MP]、[手差し]*からの給紙を行いません。[MP]、[手差し]*からも給紙を行いたいときは[用紙サイズエラーを検出する]をチェックしてください。ただしプリンター操作パネルで[MP]、[手差し]*が設定されている場合は、[給紙方法]が[自動]でも[用紙サイズエラーを検出する]のチェックにかかわらず、[MP]、[手差し]*から給紙されます。

ユーザー定義サイズを含むデータを印刷する場合は、[用紙サイズエラーを検出する]チェックボックスをOFFにしてください。選択されたユーザー定義サイズで印刷されないことがあります。

＊　MultiWriter 2300/2100のみ

「詳細設定」

このボタンをクリックすると以下の[詳細設定]ダイアログボックスが開き、印刷位置を設定できます。

本機能は、以下の場合以外はいつでも有効で両面*印刷などの印刷機能と組み合わせることができます。
- [フォーム]シートでフォーム印刷を設定している。
- [用紙]シートの[用紙サイズ]で[＊＊→＊＊]の用紙を選択している。

両面*設定の場合

片面設定の場合

- [中央に配置]

  ボタンをクリックすると印刷範囲枠が用紙の中央に配置されます。

- [表面と対称に配置]*

  両面印刷の場合、裏面設定のみの機能です。ボタンをクリックすると印刷範囲枠が綴じ辺を軸にして表面と対称の位置に配置されます。

- [表面と平行に配置]*

  両面印刷の場合、裏面設定のみの機能です。ボタンをクリックすると印刷範囲枠が表面と同じ位置に配置されます。

* MultiWriter 2300/2100のみ

[レイアウト]シート（MultiWriter 2300/2100）

このプロパティシートは以下のレイアウトに関する設定を行うものです。

- 両面印刷
- 詳細設定

「両面印刷」

両面印刷するかどうか、および両面印刷する場合の綴じ方を設定します。

[用紙]シートの[用紙サイズ]で[はがき]、[往復はがき]、[封筒洋形4号]、[ユーザ定義サイズ]が選択されている場合や、[用紙種類]で[厚紙]、[OHP]が選択されている場合には、両面印刷はできません。

- **印刷開始ページ**
  両面印刷する場合に、先頭ページを用紙の表面から印刷するか裏面から印刷するかを選択します。両面印刷が選択されていない場合はグレー表示となり使用できません。

「詳細設定」

このボタンをクリックすると以下の[詳細設定]ダイアログボックスが開き、印刷位置を設定できます。

本機能は、以下の場合以外はいつでも有効で両面*印刷などの印刷機能と組み合わせることができます。

- [フォーム]シートでフォーム印刷を設定している。
- [用紙]シートの[用紙サイズ]で[＊＊→＊＊]の用紙を選択している。

両面*設定の場合

片面設定の場合

- [中央に配置]
  ボタンをクリックすると印刷範囲枠が用紙の中央に配置されます。

- [表面と対称に配置]*
  両面印刷の場合、裏面設定のみの機能です。ボタンをクリックすると印刷範囲枠が綴じ辺を軸にして表面と対称の位置に配置されます。

- [表面と平行に配置]*
  両面印刷の場合、裏面設定のみの機能です。ボタンをクリックすると印刷範囲枠が表面と同じ位置に配置されます。

＊ MultiWriter 2300/2100のみ

[グラフィックス]シート

このプロパティシートは印刷解像度やグラフィックスデータに対するプリンターの処理の設定を行うものです。以下の設定が可能です。

- 解像度
- ブラシパターンを拡大する
- すべてビットマップで印刷する
- グレイスケールの網点を細かく印刷する
- ハーフトーン カラーの調整

「解像度」

解像度を次の中から選択できます。

機種名	解像度
MultiWriter 2300	1200dpi、600dpi、400dpi、300dpi、240dpi、200dpi
MultiWriter 2100	600dpi、400dpi、300dpi、240dpi、200dpi
MultiWriter 210S	600dpi、300dpi

「ブラシパターンを拡大する」

解像度に合わせてブラシパターンの大きさを変える機能です。拡大率は設定されている解像度によって異なります。240dpiではこの設定は無効です。またアプリケーションによっては効果がないことがあります。

- 1200dpi → 600%(3倍拡大)*1
- 600dpi → 300%(3倍拡大)
- 400dpi → 200%(2倍拡大)*2
- 300dpi → 300%(3倍拡大)
- 240dpi → 100%(拡大しない)*2
- 200dpi → 200%(2倍拡大)*2

*1 MultiWriter 2300のみ
*2 MultiWriter 2300/2100のみ

「すべてビットマップで印刷する」

コンピューター側で文字、図形などをすべてビットマップ処理します。複雑な図形が多いドキュメントが高速に印刷できます。

「グレイスケールの網点を細かく印刷する」

グレースケールのパターンを細かく印刷します。グレーの濃淡を白地に黒いドットで作られたパターンで表現する際に、パターンの繰り返し周期が短くなります。

本設定は解像度に600dpiが設定されているときのみ有効で、その他の場合はグレー表示され使用できません。

[ハーフトーン カラーの調整]

クリックするとこのダイアログボックスが表示され、ハーフトーンの設定を行います。

設定できる項目はプリンターによって異なります。カラー印刷に適用される項目はMultiWriter 2300/2100/210Sのようなモノクロプリンターでは無効です。

ハーフトーンカラーの調整項目と機能・設定内容

項目名	機能・設定内容
照度	照度を調整して、イメージの表示を調整します。
コントラスト	明暗の色調の差を調整することができます。
明るさ	光の輝度を調整することができます。
色	色の鮮やかさを調整することができます。
濃淡	色合いを調整することができます。
暗い色	露出過度のグラフィックを調整することができます。
反転	色を反転することができます。
RGBガンマの入力	入力イメージの明るさのアンバランスを修正することができます。赤、緑、青をまとめて調整するときは、それぞれのチェックボックスをオンにします。個別に調整するときはそれぞれのチェックボックスをオフにします。「リニア」チェックボックスをオンにすると入力イメージに等しい明るさを設定できます。
黒/白の混合率	モノクロの混合率により、イメージの最も暗い点から明るい点までの範囲を設定することができます。
テストパターン	参照色またはグラフィックを選択することができます。
表示	テストパターンで選択した参照色またはグラフィックを表示させます。
最大化	フルスクリーンを使ってグラフィックを表示させます。
パレット	グラフィックのカラーパレットを表示させます。
スケール	グラフィックを元の比率で表示させます。
Xフリップ	イメージを水平軸に沿って反転させます。
Yフリップ	イメージを垂直軸に沿って反転させます。
［標準値］ボタン	クリックするとダイアログボックスの設定を標準の値に戻します。
［リセット］ボタン	クリックするとダイアログボックスの設定を、ダイアログボックスが表示されたときの状態に戻します。
［開く］ボタン	クリックするとグラフィックファイルを選択することができます。
［名前を付けて保存］ボタン	クリックすると開いたグラフィックファイルを保存します。

[フォント]シート

このプロパティシートはフォントに関する以下の設定を行うものです。

- TrueTypeフォント
- 文字を白黒で印刷する
- OCR文字の文字ピッチ固定する

「TrueTypeフォント」

TrueTypeフォントの置き換え方法を設定することができます。

- **そのまま印刷**
  アプリケーションから送られたTrueTypeフォントイメージをそのままビットマップで印刷します。
- **プリンタフォントに置き換えて印刷**
  [プリンタの設定]シートの[置き換えるフォントの設定]をクリックして表示される[TrueType 置き換えテーブル]ダイアログボックスで設定した内容に従って割り付けられたフォントで印刷されます。
- **[割付内容の表示]**
  [TrueType置き換えテーブル]を表示し、割り付け内容の確認を行うことができます。

「文字を白黒で印刷する」

チェックボックスをチェックすると文字の色を、グレースケールを使わずに、白色の文字は白、その他の色の文字は黒で印刷します。

「OCR文字の文字ピッチを固定して印刷する」

チェックボックスをチェックするとOCR文字列を強制的にJISで定められた文字ピッチに固定して印刷します。

［印刷品質］シート

このプロパティシートは印刷品質に関する以下の設定を行うものです。

【MultiWriter 2300/2100の場合】

- SET機能を使用する
- トナー節約機能
- 印刷濃度の設定

【MultiWriter 210Sの場合】

- 印刷濃度の設定

「SET機能」（MultiWriter 2300/2100）

SET（Sharp Edge Technology）機能を使用するかしないかを選択します。SET機能を使用すると、テキストや斜線などのグラフィックスで細かなエッジ部分のギザギザをなくし、画質を向上させることができます。

「トナー節約機能」（MultiWriter 2300/2100）

トナー節約モードを使用するかしないかを設定します。

解像度1200dpiでの印刷時には設定できません。

トナー節約機能を使用すると、細い線、濃度の薄い印刷、網かけおよびグラデーションが不鮮明になることがあります。本機能は試し印刷などにご使用ください。

「印刷濃度の設定」

印刷濃度を5段階の中からスライダーで設定します。

［フォーム］シート

このプロパティシートの設定はフォーム印刷を利用する場合にフォーム印刷に関する設定を行うものです。フォーム印刷とは見出し文字や罫線枠などのフォームデータを文書データと重ね合わせて印刷することです。フォームデータを作成するには別売のアプリケーションが必要です。

「フォーム印刷」

フォーム印刷をする場合、リストボックスから使用したいフォームファイルを選びます。リストボックスに希望のファイルがない場合は[ファイル参照]をクリックして他の場所のファイルを参照することができます。

フォーム印刷を有効にした場合は、フォームデータが優先されるため以下の項目がグレー表示となり変更できなくなります。

- 用紙サイズ
- 印刷の向き
- 給紙方法
- 従来互換の印刷範囲
- 印刷位置微調整

なおフォームデータで設定された「用紙サイズ」、「印刷の向き」、「給紙方法」などがアプリケーションの設定と異なる場合や印刷データの途中で「用紙サイズ」、「印刷の向き」、「給紙方法」などが変更された場合、印刷結果は保証されません。

「フォームデータを先に描画する」

フォーム印刷を行う場合、フォームデータを文書データの上に描画するかどうかを選択します。

[補助機能]シート

このプロパティシートは印刷時にプリンターの操作パネルの下段に表示する文字列を設定します。

「操作パネル表示」

● **なし**
プリンターの操作パネルの下段には何も表示しません。

● **ユーザ名**
ネットワーク上にログインしたときのユーザ名が操作パネルの下段に表示されます。[ユーザ名]をチェックすると[表示文字列]テキストボックスでユーザー名が確認できます。

● **指定文字列**
プリンターの操作パネルの下段に[表示文字列]に入力した文字列が表示されます。

● **表示文字列**
プリンターの操作パネルの下段に表示される文字列です。[指定文字列]を選択した場合は、16文字まで入力可能になります。入力可能な文字については以下の表を参照してください。
[ユーザ名]を選択した場合は、ユーザー名が表示されます。

[ユーザ名]に入力可能な文字以外の文字が設定されている場合、[なし]が選択されます。

[表示文字列]に入力可能な文字一覧(スペースを含む)

スペース	!	#	$	%	&	‘	(	)	=
-	'	^	¥	¦	@	{	[	+	;
*	:	}	]	<	,	>	.	?	/
_									
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T
U	V	W	X	Y	Z				
a	b	c	d	e	f	g	h	i	j
k	l	m	n	o	p	q	r	s	t
u	v	w	x	y	z				
ｱ	ｲ	ｳ	ｴ	ｵ	ｶ	ｷ	ｸ	ｹ	ｺ
ｻ	ｼ	ｽ	ｾ	ｿ	ﾀ	ﾁ	ﾂ	ﾃ	ﾄ
ﾅ	ﾆ	ﾇ	ﾈ	ﾉ	ﾊ	ﾋ	ﾌ	ﾍ	ﾎ
ﾏ	ﾐ	ﾑ	ﾒ	ﾓ	ﾔ	ﾕ	ﾖ	ﾗ	ﾘ
ﾙ	ﾚ	ﾛ	ﾜ	ｦ	ﾝ	ｧ	ｨ	ｩ	ｪ
ｫ	ｬ	ｭ	ｮ	ｯ	ﾞ	ﾟ	ｰ	｢	｣
､	｡	･							

半角文字のみ入力可能です。

Windows 3.1の場合

Windows 3.1では、次のような[印刷設定]ダイアログボックスで印刷に関する詳細な設定を行うことができます。

【MultiWriter 210Sの場合】

[印刷設定]ダイアログボックス

[オプション]ダイアログボックス

[レイアウト]ダイアログボックス

[グラフィックス]ダイアログボックス

[フォント置換設定]ダイアログボックス

[フォーム設定]ダイアログボックス

[補助機能]ダイアログボックス

ダイアログボックスを開く

[印刷設定]ダイアログボックスを開く方法は次の2通りあります。

- アプリケーションのメニューから開く方法

  一般的にダイアログボックスの設定は、そのアプリケーションでのみ有効となります。

- Windows付属の[コントロールパネル]から開く方法

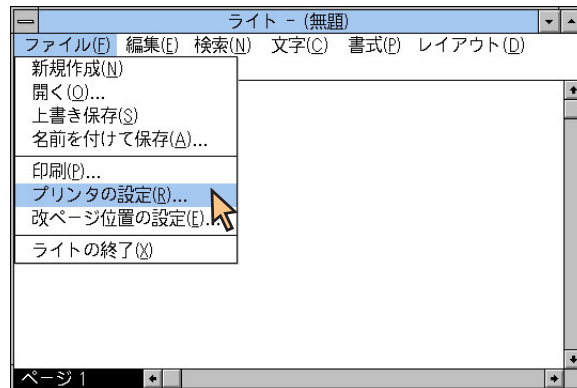
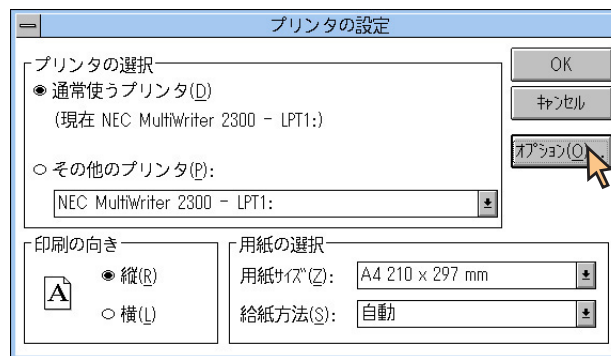
  ダイアログボックスの設定はすべてのアプリケーションでの基本設定になります。

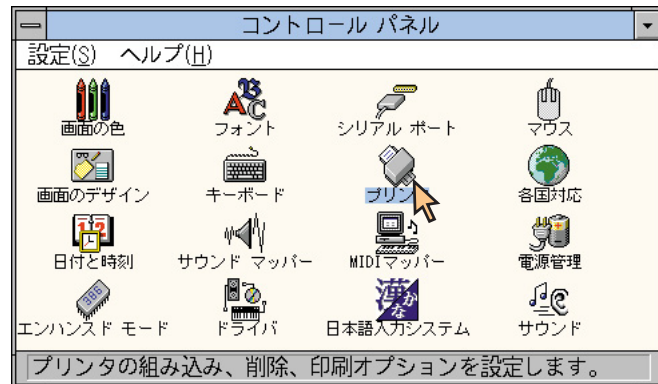
アプリケーションから開く

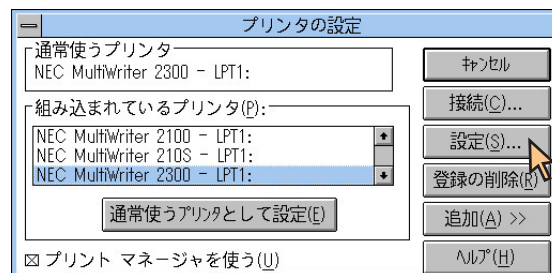
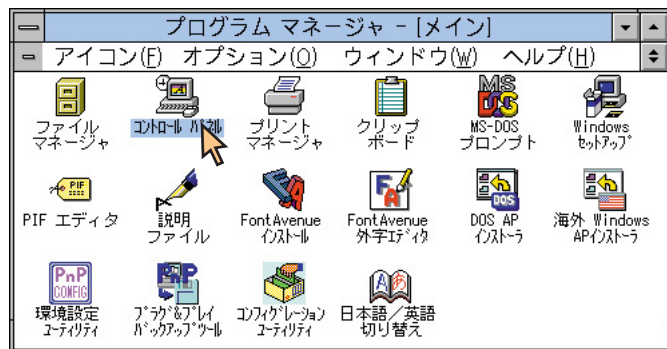
Windowsのアプリケーションから[印刷設定]ダイアログボックスを開く場合、[印刷]コマンドか[プリンタの設定]コマンドを使います。このコマンドは[ファイル]メニューの中にありますが、[ファイル]メニューの構成はアプリケーションによって異なります。詳しくはアプリケーションのマニュアルをご覧ください。

ここではWindows 3.1に付属されている日本語ワードプロセッサー「ライト」を例にとって説明します。任意のライト文書を表示させて次の手順を確認してください。

1. [ファイル]メニューの[プリンタの設定]をクリックする。

   [プリンタの設定]ダイアログボックスが開きます。

2. [オプション]をクリックする。

このような[印刷設定]ダイアログボックスが表示されます。

各ダイアログボックスについては「設定の概要」を参照してください。

[コントロールパネル]から開く

1. [コントロールパネル]を開く。

2. [プリンタ]アイコンをダブルクリックする。

[プリンタの設定]ダイアログボックスが表示されます。

3. [設定]をクリックする。

このような[印刷設定]ダイアログボックスが表示されます。

各ダイアログボックスについては「設定の概要」を参照してください。

設定の概要

印刷設定ダイアログボックスから開かれる各ダイアログボックスの概要をダイアログボックスごとに説明します。詳細については各ダイアログボックスの[ヘルプ]をクリックすると表示される説明も参照してください。

[印刷設定]ダイアログボックス

このダイアログボックスは用紙や印刷品質に関する設定を行うものです。さらにグラフィックやフォントなど詳細な設定を行いたい場合は[オプション]をクリックすると表示する[オプション]ダイアログボックスから設定することができます。

- 用紙サイズ
- 解像度
- 用紙種類
- 部数
- 印刷の向き
- 給紙方法
- ジョブセパレート機能を使用する
- 用紙サイズエラーを検出する

「用紙サイズ」

印刷する用紙サイズ、縮小・拡大サイズを選択できます。コンボボックス内をクリックして選択します。

[ユーザ定義サイズ]を選択した場合は、用紙の寸法を入力する次のダイアログボックスが表示されます。

アプリケーションによっては[A3→A4]などの拡大・縮小が正しく印刷されないものがあります。

ユーザ定義サイズを含むデータを印刷する場合は、[用紙サイズエラーを検出する]チェックボックスをOFFにしてください。選択されたユーザ定義サイズで印刷されないことがあります。

「用紙種類」

[給紙方法]を[MP]、[手差し]*に選択したとき、用紙の種類を[普通紙]、[厚紙]、[OHP]の3種類から選択できます。また、用紙サイズを「ユーザ定義サイズ」に選択しているときは給紙先が[MP]、[手差し]*になりますので、[用紙種類]を選択することができます。
[MP]、[手差し]*以外のときは[普通紙]のみとなり選択することができません。

「給紙方法」

給紙先(ホッパー/MP/手差し*)を[給紙方法]コンボボックスから選択します。コンボボックスには使用できる給紙方法が表示されます。「自動」に設定すると選択した用紙サイズがセットされている給紙先(ホッパー、MP、手差し*)から自動的に給紙されます。

給紙先を[自動]に設定した場合の注意事項

- 「印刷設定」ダイアログボックスの[用紙サイズエラーを検出する]のチェックを外していると、[MP]、[手差し]*を対象とした自動給紙は行いません。給紙先すべての自動給紙を行うには[用紙サイズエラーを検出する]をチェックしてください。

- ユーザ定義サイズを含むデータを印刷する場合に、[印刷設定]ダイアログボックスの[用紙サイズエラーを検出する]がチェックされているときは、チェックを外してください。チェックされていると、選択したユーザ定義サイズの用紙で印刷されない場合があります。

● プリンターの操作パ ネルでMPまたはテサシ*を設定し、印刷したい用紙がMPまたは手差し*にセットされている場合は、[用紙サイズエラーを検出する]の設定に関係なく[MP]または、[手差し]*から給紙します。

* MultiWriter 2300/2100のみ

機種名	解像度
MultiWriter 2300*/2100	600dpi、400dpi、300dpi、240dpi
MultiWriter 210S	600dpi、300dpi

「解像度」

解像度を次の中から選択できます。
* 解像度1200dpiでの印刷は対応しておりません

「部数」

印刷時の部数(コピー部数)を指定することができます。1～99部まで設定可能です。

アプリケーションの印刷機能で部数を設定できる場合があります。アプリケーション側で設定できる場合は、アプリケーション側で設定するようにしてください。

「印刷の向き」

ページを縦長(ポートレート)か横長(ランドスケープ)で使用するかを設定するものです。枠内のチェックボックスをクリックして選択します。

[用紙サイズ]で[LP*→A4]、[LP*→B4]が設定されている場合、[縦]は設定できません。

* LPとは帳票のことを示しています。

「ジョブセパレート機能を使用する」

ジョブセパレート機能を使用するかしないかを切り替えます。ジョブセパレート機能とは、文書を印刷実行した単位で、縦横に置き分けてスタッカーに排出する機能です。詳細についてはユーザーズマニュアルをご覧ください。

「用紙サイズエラーを検出する」

給紙先から用紙を給紙したときに設定されている用紙サイズ、異なる用紙サイズを給紙した場合、用紙サイズエラーを検出するかどうか設定します。

本機能は、[用紙サイズ]ボックスで[ユーザ定義サイズ]を指定した場合または、[給紙方法]でホッパーを選択した場合はグレー表示され使用できません。

ユーザ定義サイズを含むデータを印刷する場合は、[用紙サイズエラーを検出する]チェックボックスをOFFにしてください。選択されたユーザ定義サイズで印刷されないことがあります。

[用紙サイズエラーを検出する]をチェックしていない場合[印刷設定]ダイアログボックスの[給紙方法]で[自動]を選択しても[MP]、[手差し]*からの給紙を行いません。[MP]、[手差し]*からも給紙を行いたいときは[用紙サイズエラーを検出する]をチェックしてください。ただしプリンター操作パネルで[MP]、[手差し]*が設定されている場合は、[給紙方法]が[自動]でも[用紙サイズエラーを検出する]のチェックにかかわらず、[MP]、[手差し]*から給紙されます。

＊ MultiWriter 2300/2100のみ

[オプション]

クリックすると[オプション]ダイアログボックスが表示されます。

[バージョン情報]

クリックするとプリンタードライバーのバージョン情報が表示されます。

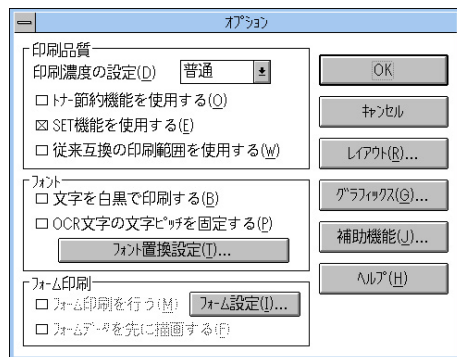
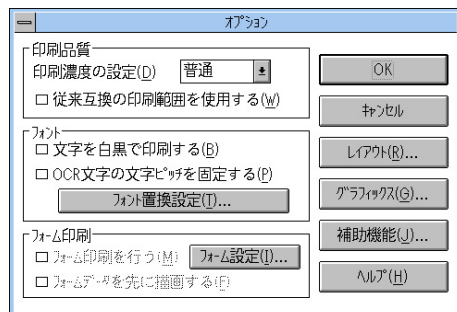
[標準に戻す]

クリックすると各設定がインストール時の設定に戻ります。

[標準に戻す]をクリックしても一部の設定は元に戻りません。詳しくはヘルプを参照してください。

[オプション]ダイアログボックス

このダイアログボックスは印刷品質、フォント、およびフォーム印刷に関する設定を行うものです。

- 印刷品質
- フォント
- フォーム印刷
- [レイアウト]
- [グラフィックス]
- [補助機能]

MultiWriter 2300

MultiWriter 210S

「印刷品質」

- **印刷濃度の設定**
  [印刷濃度]コンボボックスから濃度を[濃い]、[やや濃い]、[普通]、[やや淡い]、[淡い]の5種類から選択します。

- **トナー節約機能を使用する(MultiWriter 2300/2100)**
  トナー節約モードを使用するかしないかを設定します。

トナー節約機能を使用すると細い線、濃度の薄い印刷、網かけおよびグラデーションが不鮮明になることがあります。この機能は試し印刷などにご使用ください。

- **SET機能を使用する(MultiWriter 2300/2100)**
  SET(Sharp Edge Technology)機能を使用するかしないかを選択します。SET機能を使用すると、テキストや斜線などのグラフィックスで細かなエッジ部分のギザギザをなくし、画質を向上させることができます。

- **従来互換の印刷範囲を使用する**
  チェックボックスをチェックすると印刷範囲をMultiWriter 2400X/2200NW2など、MultiWriter 2000X以前のMultiWriterシリーズのプリンターと同じ印刷範囲に設定する場合に選択します。

「フォント」

- **文字を白黒で印刷する**
  チェックボックスをチェックすると文字の色を、グレースケールを使わずに、白色の文字は白、その他の色の文字は黒で印刷します。

- **フォント置換設定**
  本ボタンをクリックすると[フォント置換設定]ダイアログボックスが開きます。ダイアログボックスの詳細に関しては[フォント置換設定]ダイアログボックスを参照してください。

「フォーム印刷」

- **フォーム印刷を行う**
  このボックスをチェックすると、フォーム印刷を行うことができます。[フォーム設定]については[フォーム設定]ダイアログボックスをご覧ください。

- **フォーム設定**
  本ボタンをクリックすると[フォーム設定]ダイアログボックスが開きます。ダイアログボックスの詳細に関しては[フォーム設定]ダイアログボックスを参照してください。

- **フォームデータを先に描画する**
  フォーム印刷を行う場合、文書データをフォームデータの上に描画するかどうかを選択します。

[レイアウト]

本ボタンをクリックすると[レイアウト]ダイアログボックスが開きます。ダイアログボックスの詳細に関しては[レイアウト]ダイアログボックスを参照してください。

[グラフィックス]

本ボタンをクリックすると[グラフィックス]ダイアログボックスが開きます。ダイアログボックスの詳細に関しては[グラフィックス]ダイアログボックスを参照してください。

[補助機能]

本ボタンをクリックすると[補助機能]ダイアログボックスが開きます。ダイアログボックスの詳細に関しては[補助機能]ダイアログボックスを参照してください。

［レイアウト］ダイアログボックス

このダイアログボックスは両面印刷機能および印刷位置調整機能に関する設定を行うものです。

【MultiWriter 2300/2100の場合】

● 両面印刷　● 印刷位置

【MultiWriter 210Sの場合】

● 印刷位置

「両面印刷」(MultiWriter 2300/2100)

両面印刷するかどうか、および両面印刷する場合の綴じ方を設定します。

［印刷設定］シダイアログボックスの［用紙サイズ］で［はがき］、［往復はがき］、［封筒洋形4号］、［ユーザ定義サイズ］が選択されている場合や、［用紙種類］で［厚紙］、［OHP］が選択されている場合には、両面印刷はできません。

● 印刷開始ページ

両面印刷する場合に、先頭ページを用紙の表面から印刷するか裏面から印刷するかを選択します。両面印刷が選択されていない場合はグレー表示となり使用できません。

「印刷位置」

印刷対象の用紙に対して印刷データの印刷位置を設定します。両面印刷する場合は表面と裏面をそれぞれ別に位置調整することが可能です。

● 対称*

両面印刷の場合、裏面設定のみの機能です。ボタンをクリックすると印刷範囲枠が綴じ辺を軸にして表面と対称の位置に配置されます。

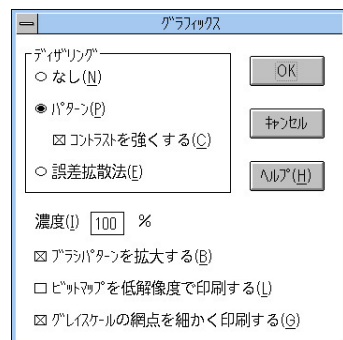
● 平行*

両面印刷の場合、裏面設定のみの機能です。ボタンをクリックすると印刷範囲枠が表面と同じ位置に配置されます。

* MultiWriter 2300/2100のみ

[グラフィックス]ダイアログボックス

このダイアログボックスは印刷解像度やグラフィックスデータに対するプリンターの処理の設定を行うものです。

- ディザリング
- 濃度
- ブラシパターンを拡大する
- ビットマップを低解像度で印刷する
- グレイスケールの網点を細かく印刷する

「ディザリング」

グレイスケールイメージのデータをプリンターで処理できるように変換する設定です。

アプリケーションおよび印刷データによっては効果がないことがあります。

- **なし**
  グラフィックスのグレーを白か黒に変換します。この設定はテキストや線画などの印刷に適しています。
- **パターン**
  グレーの濃淡を白地に黒いドットでできたパターンに変換します。ドットを周期的に集中させて印刷する方式です。

  [コントラストを強くする]を外すとハーフトーンセルのグレーの明暗を弱く表現します。
- **誤差拡散法**
  [パターン]と同様にドットに変換する方法ですが、ドットを分散させて印刷する方式です。パターンと誤差拡散法は好みに応じて使い分けてください。

「濃度」

グラフィックスの明暗を0～200の範囲で設定することができます。印刷を薄くするときは[0]へ、濃くするときは[200]へ、テキストボックス中に直接数値を入力して設定してください。

「ブラシパターンを拡大する」

解像度に合わせてブラシパターンの大きさを変える機能です。拡大率は設定されている解像度によって異なります。240dpiではこの設定は無効です。またアプリケーションによっては効果がないことがあります。

- 600dpi → 300%(3倍拡大)
- 400dpi → 200%(2倍拡大)*
- 300dpi → 300%(3倍拡大)
- 240dpi → 100%(拡大しない)*

* MultiWriter 2300/2100のみ

「ビットマップを低解像度で印刷する」

ビットマップデータを1/2の解像度で印刷します。通常の印刷より高速で出力することができます。

印刷データによってはハーフトーンがきれいに出ないことがあります。そのような場合はチェックを外してください。
本設定は[解像度]に[600dpi]が設定されているときのみ有効で、その他の場合はグレー表示され使用できません。

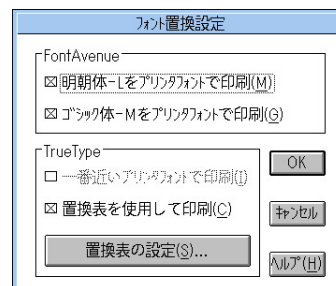
「グレイスケールの網点を細かく印刷する」

グレースケールのパターンを細かく印刷します。グレーの濃淡を白地に黒いドットで作られたパターンで表現する際に、パターンの繰り返し周期が短くなります。お好みにより選択してください。

本設定は[解像度]に[600dpi]が設定されているときのみ有効で、その他の場合はグレー表示され使用できません。

[フォント置換設定]ダイアログボックス

このダイアログボックスはFontAvenueフォント、TrueTypeフォントをプリンターフォントに置き換えて印刷する設定を行うものです。

- FontAvenue
- TrueType

「FontAvenue」

FontAvenueフォントの置き換え方法を設定します。

- 明朝体-Lをプリンタフォントで印刷
  アプリケーションから送られたFontAvenueの明朝体をプリンターフォントの明朝体に置き換えて印刷します。

- ゴシック体-Mをプリンタフォントで印刷
  アプリケーションから送られたFontAvenueのゴシック体をプリンターフォントのゴシック体に置き換えて印刷します。

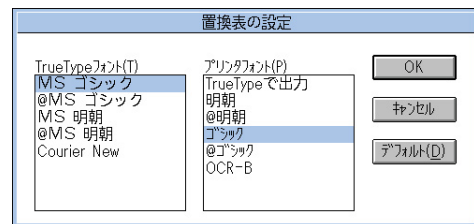
「TrueType」

TrueTypeフォントの置き換え方法を設定します。

- **一番近いプリンタフォントで印刷**
  アプリケーションから送られたTrueTypeフォントを書体が似ているプリンターフォントで置き換えます。

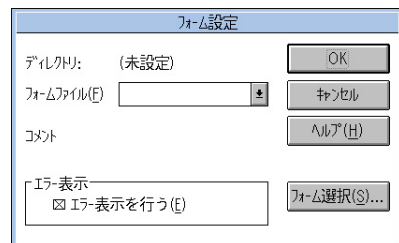
- **置換表を使用して印刷**
  アプリケーションから送られたTrueTypeフォントを［置換表の設定］によって設定したプリンターフォントで印刷します。

［置換表の設定］

このダイアログボックスを使って置き換えるTrueTypeフォントを設定します。それぞれフォントを選択して［OK］をクリックすることで置き換えが設定されます。

- **［デフォルト］**
  クリックするとフォントの置き換えに関する設定を標準設定に戻すことができます。

ANSI、SHIFT JISなど文字セットが異なるフォント、デザインが著しく異なるフォントへの置き換えは行わないでください。期待どおりの印刷結果にならない場合があります。

[フォーム設定]ダイアログボックス

このダイアログボックスはフォーム印刷を利用する場合にフォーム印刷に関する設定を行うものです。フォーム印刷とは見出し文字や罫線枠などのフォームデータを文書データと重ね合わせて印刷することです。フォームデータを作成するには別売のアプリケーションが必要です。

「ディレクトリ」

フォームファイルを指定するために現在開かれているディレクトリを表示します。この表示は[フォーム選択]によって指定されたディレクトリです。

「フォームファイル」

コンボボックスから使用するファイルを選択します。コンボボックスに希望のファイルがない場合は[フォーム選択]をクリックして他の場所のファイルを参照することができます。

「コメント」

選択したフォームファイルのコメントを表示します。

「エラー表示を行う」

フォームファイルが壊れている場合、フォームファイルが見つからない場合、およびフォームファイルがサポート外の用紙で構成されている場合に、エラーメッセージを表示するかどうかを設定します。

[フォーム選択]

フォームファイルを指定するためのディレクトリを指定します。

[補助機能]ダイアログボックス

このダイアログボックスでは、印刷時にプリンターの操作パネルの下段に表示する文字列を設定します。

「操作パネル表示」

● **なし**
プリンターの操作パネルの下段には何も表示しません。

● **ユーザ名**
ネットワーク上にログインしたときのユーザー名が操作パネルの下段に表示されます。[ユーザ名]をチェックすると[表示文字列]テキストボックスでユーザー名が確認できます。

● **指定文字列**
プリンターの操作パネルの下段に[表示文字列]に入力した文字列が表示されます。

● **表示文字列**
プリンターの操作パネルの下段に表示される文字列です。[指定文字列]を選択した場合は、16文字まで入力可能になります。入力可能な文字については下の表を参照してください。[ユーザ名]を選択した場合、ユーザー名が表示されます。

[ユーザ名]に入力可能な文字以外の文字が設定されている場合、[なし]が選択されます。

[表示文字列]に入力可能な文字一覧(スペースを含む)

スペース	!	#	$	%	&	‘	(	)	=
-	'	^	¥	¦	@	{	[	+	;
*	:	}	]	<	,	>	.	?	/
_									
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T
U	V	W	X	Y	Z				
a	b	c	d	e	f	g	h	i	j
k	l	m	n	o	p	q	r	s	t
u	v	w	x	y	z				
ｱ	ｲ	ｳ	ｴ	ｵ	ｶ	ｷ	ｸ	ｹ	ｺ
ｻ	ｼ	ｽ	ｾ	ｿ	ﾀ	ﾁ	ﾂ	ﾃ	ﾄ
ﾅ	ﾆ	ﾇ	ﾈ	ﾉ	ﾊ	ﾋ	ﾌ	ﾍ	ﾎ
ﾏ	ﾐ	ﾑ	ﾒ	ﾓ	ﾔ	ﾕ	ﾖ	ﾗ	ﾘ
ﾙ	ﾚ	ﾛ	ﾜ	ｦ	ﾝ	ｧ	ｨ	ｩ	ｪ
ｫ	ｬ	ｭ	ｮ	ｯ	ﾞ	ﾟ	ｰ	｢	｣
､	｡	･							

半角文字のみ入力可能です。

IBM DOS J5.0/Vでの設定

IBM社製のDOSで、Windows 3.1を使用する場合、正常に印刷されない場合があります。その場合、以下の手順でDOS上のプリンター設定を「なし」にしてください。（Windows上では使用するプリンターを設定します。）

1. コンピューターの電源を入れる。

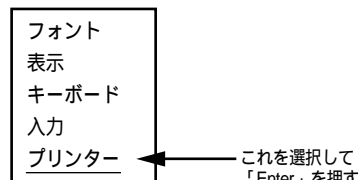
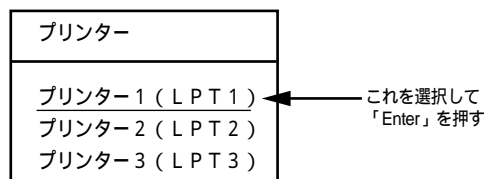
2. PC DOSを起動する。

設定の仕方については、コンピューターの取扱説明書を参照してください。

WindowsのDOSプロンプトモードからの設定は操作が複雑となりますのでお勧めできません。

3. 次のコマンドを入力し、セットアップププログラムを立ち上げる。

＞setupv Enter

4. 「プリンター」を選択する。

5. 「プリンター1(LPT1)」を選択する。

6. 「プリンタードライバー」を選択する。

ここで、現在の設定が「なし」になっている場合は、設定を変える必要はありません。F3を押して、操作を終了してください。

7. 「なし」を選択する。

8. 次のような表示が出るので、プリンタードライバーが「なし」になっていることを確認し、 F10 を押す。

プリンター１（ＬＰＴ１）	現在の設定
プリンタードライバー	なし

9. Ente を押して、変更を保存する。

変更を保存して終了します。
よろしいですか？
Enter（改行）　：実行
ESC　：取消

10. Y を押して、システムを再起動させる。

システムを再起動しますか？
Y：再起動する
N：プロンプトに戻る

これで設定は終了です。

PrintAgent

この章ではPrintAgentが提供する各機能の設定方法、PrintAgentを正常に機能させるための注意事項、OSアップグレード時の注意事項について説明します。なお説明は原則としてWindows 98の画面を使っています。Windows 95、Windows 2000、Windows NT 4.0とはタイトルバーなどの形状が異なるだけです。OSの違いによる機能の違い、制限事項があった場合は、そのつど説明を付け加えています。なお、MultiWriter 2300/2100/210SのPrintAgentは、Windows NT 3.51、Windows 3.1に対応しておりません。

ソフトウエアの起動

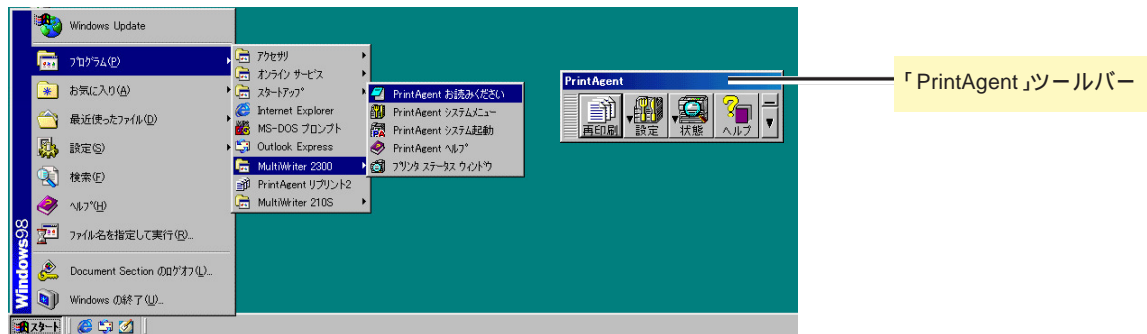
PrintAgentはローカルプリンターの印刷、管理に加えネットワークプリンターで印刷される方とネットワークプリンターを管理される方のためにさまざまな機能を提供します。PrintAgentの機能は次のソフトウエアを使ってご利用になれます。
これらのソフトウエアはOSのデスクトップ上([スタート]ボタン、またはタスクバーのPrintAgentアイコンなど)から呼び出すことができます。

[スタート]ボタンから

- **PrintAgentシステムメニュー**
  [PrintAgentシステムメニュー]ダイアログボックスが起動されます。このダイアログボックスではPrintAgentを効率よく運用していただくための環境を設定します。

- **PrintAgentシステム起動**
  PrintAgentのシステムを起動させます。通常はOSが立ち上がると自動的に起動する設定になっています。

- **プリンタステータスウィンドウ(PSW)**
  現在使用しているプリンターの状態(用紙なしやカバーオープンなど)や、印刷の進行状況をコンピューターの画面上のアニメーションや音声で確認することができます。「PrintAgent」ツールバーから起動することもできます。

- **PrintAgent リプリント2**
  一度印刷したドキュメントを再びアプリケーションの起動をすることなく再印刷することができます。

● プリンター覧

お使いのコンピューターにインストールされているプリンターを一覧形式で表示し、各プリンターの使用状況が確認できます。

● プリンタ管理ユーティリティ

お使いのコンピューターが利用できるプリンターを一覧形式で表示し、プリンター、LANボード、およびLANアダプターを設定・管理できます。Windows 98/95/2000またはWindows NT 4.0が動作するコンピューターにプリンターソフトウエアを管理者向けでインストールした方のみご利用になれます。

[PrintAgent管理ツール] フォルダー

タスクバーのアイコンから

● ツールバーを表示

「PrintAgent」ツールバーを表示させることができます。「PrintAgent」ツールバーはPrintAgentの機能をボタン化してひとまとめにし、より便利になったリプリント機能「PrintAgent リプリント2」を追加したものです。

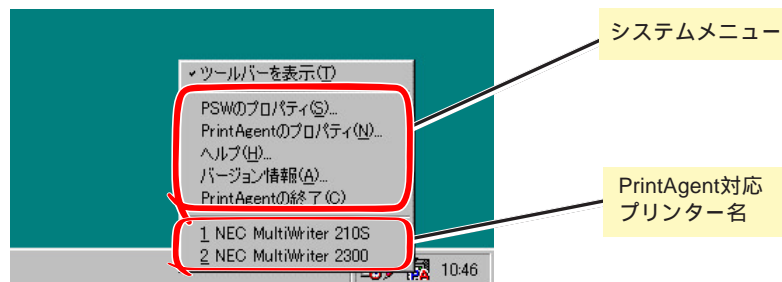
● システムメニュー

PrintAgentをネットワークで効率よく運用していただくための以下の設定ダイアログボックスを直接起動します。またPrintAgentシステムを直接終了することもできます。

◇ PSWのプロパティ　◇ バージョン情報
◇ PrintAgentのプロパティ　◇ PrintAgentの終了
◇ ヘルプ

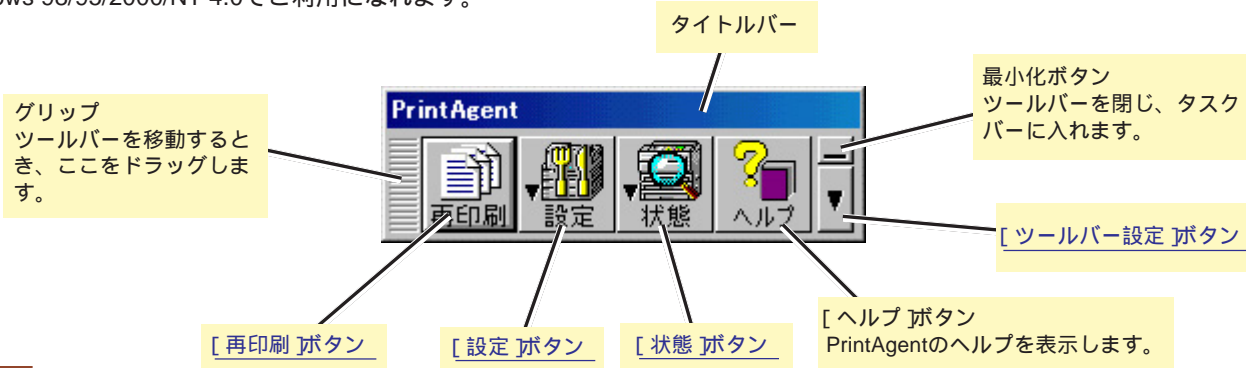
● プリンタステータスウィンドウ(PSW)

プリンターの状態(用紙なしやカバーオープンなど)や印刷の進行状況をコンピューターの画面上のアニメーションや音声で確認することができます。現在ご使用になっていないプリンターのPSWも起動することができます。ネットワーク内でPSWの対象となっているPrintAgent対応プリンター名が列挙されますので希望のプリンターをクリックすることによって該当プリンターのPSWを起動することができます。

タスクバーのアイコン(左クリック)

タスクバーのアイコン(右クリック)

「PrintAgent」ツールバー

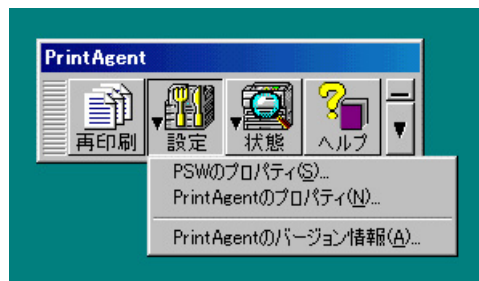
「PrintAgent」ツールバーはPrintAgentの機能のうち「再印刷」、「設定」、「状態」、「ヘルプ」に関する4項目をボタン化し、ツールバーにまとめたものです。それぞれのボタンをクリックするだけで簡単に各機能を呼び出すことができます。

「PrintAgent」ツールバーはタスクバーのアイコンをダブルクリックするかタスクバーのアイコンのメニューから呼び出すことができます。「PrintAgent」ツールバーはWindows 98/95/2000/NT 4.0でご利用になれます。

[再印刷]ボタン

このボタンをクリックするとPrintAgent リプリント2が起動され、再印刷を行うことができます。このアプリケーションを使うとPSWから起動するリプリント機能よりさらに便利な機能がご利用になれます。詳細はPrintAgnet リプリント2をご覧ください。

PrintAgnet リプリント2

[設定]ボタン

PrintAgentの設定に関するコマンドを表示します。

PSWのプロパティ

[PSWのプロパティ]ダイアログボックスが表示されます。[スタート]ボタン、タスクバーのアイコンを介して表示されるものと同じです。

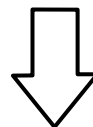
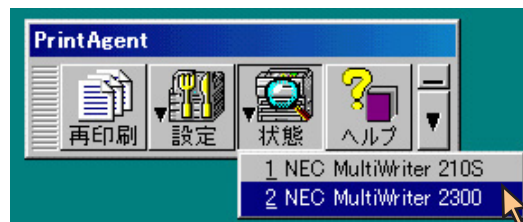
PrintAgentのプロパティ

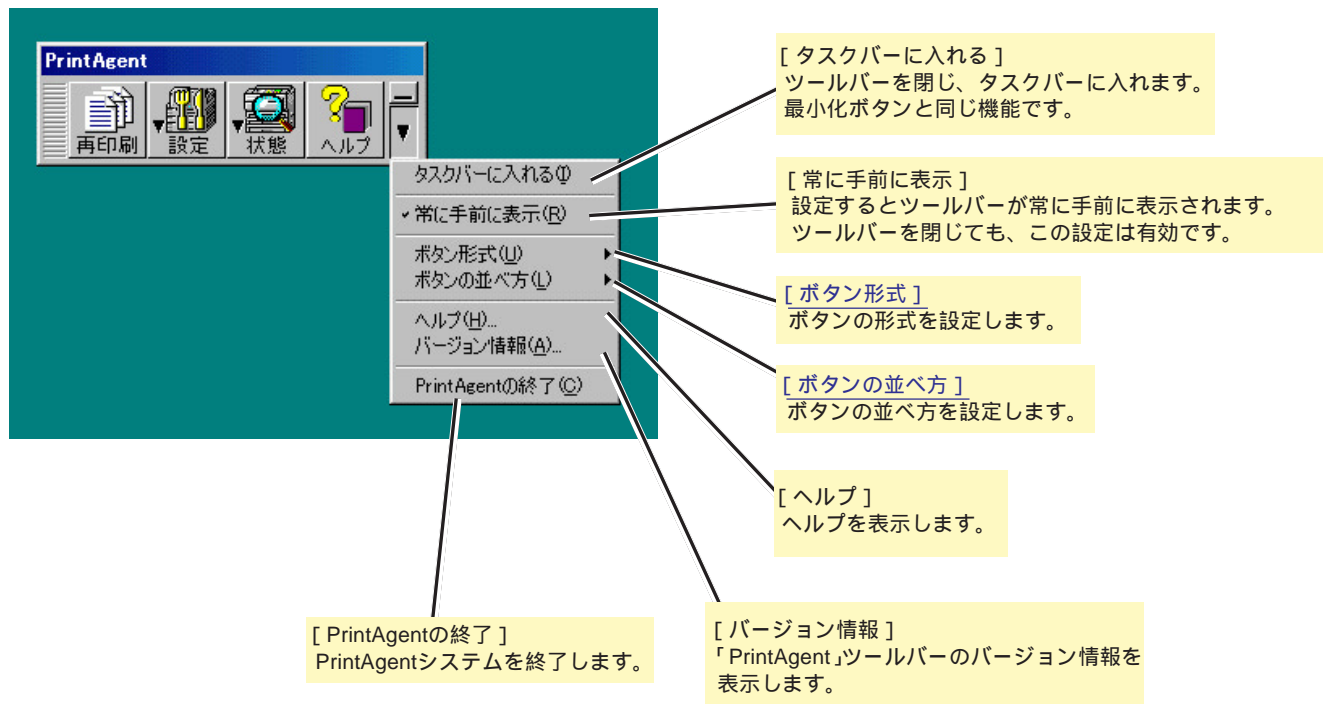
[PrintAgentのプロパティ]ダイアログボックスが表示されます。[スタート]ボタン、タスクバーのアイコンを介して表示されるものと同じです。

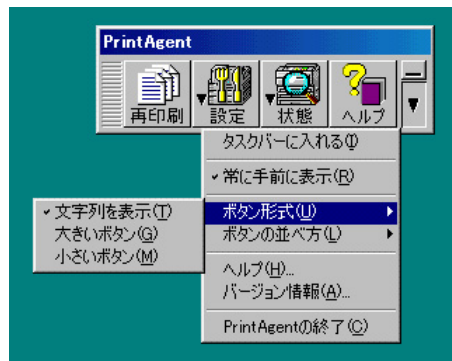
PrintAgentのバージョン情報

PrintAgentのバージョンが表示されます。

[状態]ボタン

このボタンをクリックするとプリンターステータスウィンドウが表示されます。PrintAgentに対応しているプリンターが複数ある場合は下記のようにプリンターが列記されます。

[ツールバー設定]ボタン

このボタンをクリックするとツールバーの表示形式などを設定するコマンドのメニューが表示されます。

ボタン形式

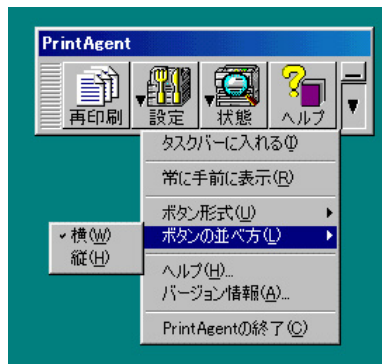
ボタンの形式を次の3種類から選択できます。この設定はツールバーを閉じても有効です。

● 文字列を表示

● 大きいボタン

● 小さいボタン

[大きいボタン]、[小さいボタン]で表示したとき、ツールバーを移動するときはグリップをドラッグします。

ボタンの並べ方

ボタンの並べ方を次の2種類から選択できます。この設定はツールバーを閉じても有効です。

● 横

● 縦

PrintAgent リプリント2

PrintAgent リプリント2は、一度印刷されたドキュメントを再びアプリケーションの起動をすることなく、簡単に再印刷することができるアプリケーションです。
PrintAgent リプリント2は「PrintAgent」ツールバーの[再印刷]ボタンをクリックすると起動できます。また[スタート]メニューの[プログラム]フォルダーからも起動することができます。

PrintAgent リプリント2の機能を使って次のような印刷ができます。

●一度印刷した文書を再びアプリケーションを起動せずに高速に再印刷することができます。
●必要な部数やページ範囲を指定して再印刷することができます。
●以前に印刷した文書の丁合い、ジョブセパレート、両面印刷*の印刷方法を組み合わせて印刷することができます。
●複数の文書を一つにまとめて丁合い、ジョブセパレート、両面印刷*の印刷方法を組み合わせて印刷することができます。(ジョブ結合)

* MultiWriter 2300/2100のみ

スプールファイルを保存する制限や格納するフォルダなどリプリント機能の設定に関しては、プリンタステータスウィンドウから起動するリプリント機能と同じです。ここでは、PrintAgent リプリント2ソフトウエアの概要をMultiWriter 2300の画面を中心に説明します。このソフトウエアを使った実際の手順はユーザーズマニュアルをご覧ください。

PrintAgent リプリント2はWindows 98/95/2000/NT 4.0でご利用になれます。

PrintAgent リプリント2の操作画面

操作画面についてボタン名と機能の概要を説明します。

ディスプレイパネル

ディスプレイパネルはリプリントの設定内容を表示し、リプリント文書に対して丁合い、ジョブセパレート機能、両面印刷*の設定をすることができます。

[標準]モード

再印刷する文書に対して、丁合い、ジョブセパレート機能、両面印刷*を選択して仕分け印刷することができます。

* 両面印刷機能はMultiWriter 2300/2100でのみご利用になれます。

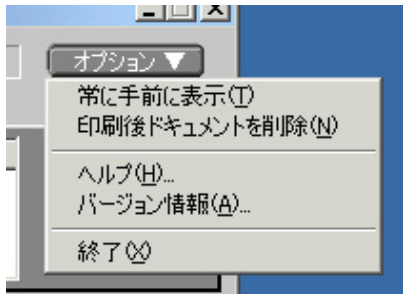
MutiWrite 2300で1つのドキュメントを選択にしたところ

[ジョブ結合] モード

一度印刷された文書を複数選択・結合し、一文書として再印刷することができます。(ジョブ結合の概要についてはユーザーズマニュアルをご覧ください。)

MutiWriter 2300で3つのドキュメントを選択し、丁合い機能を有効にしたところ

[オプション]ボタン

[オプション]メニューはPrintAgent リプリント2のオプション機能を設定します。

常に手前に表示

設定するとPrintAgent リプリント2が他のウィンドウよりも常に前に表示されます。

ヒント

PrintAgent リプリント2を終了してもこの設定は有効です。

印刷後ドキュメントを削除

設定するとリプリント実行後、選択されていたファイルを削除します。

ヒント

PrintAgent リプリント2を終了してもこの設定は有効です。

ヘルプ

PrintAgent リプリント2のヘルプが表示されます。

バージョン情報

PrintAgent リプリント2のバージョンが表示されます。

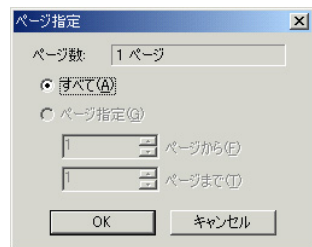
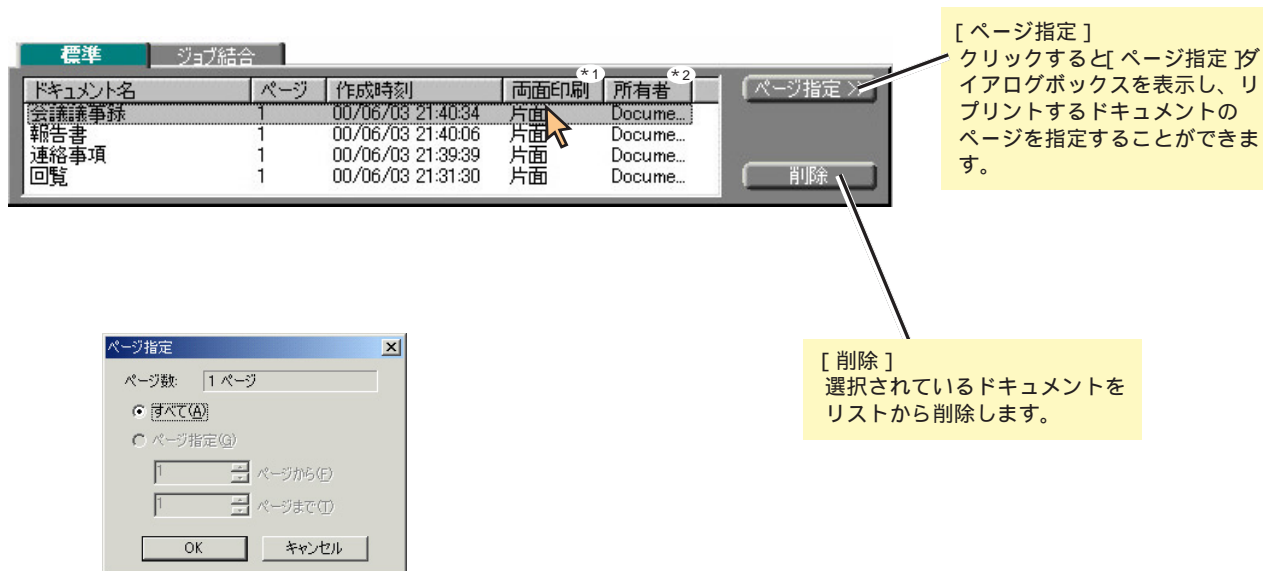
終了

PrintAgent リプリント2を終了します。

スプールドキュメントシート

このシートは[リプリント機能の設定]ダイアログボックスの設定に従って保存してあるドキュメントをリスト表示し、再印刷するドキュメントの選択、結合、印刷順の変更などを設定することができます。

[標準]モード

リスト中の希望するドキュメントを直接クリックし、ハイライト表示させることでリプリントするドキュメントとして選択することができます。

[ページ指定]ダイアログボックス

*1 両面印刷はMultiWriter 2300/2100でのみ使用できます。

*2 [所有者]の項目は、クライアントコンピューターのときは表示されません。お使いになっているWindows環境がWindows 2000/NT 4.0の場合、Administratorsの権限がないユーザーは[所有者]の項目が表示されません。

[ジョブ結合]モード

リスト中の希望するドキュメントのチェックボックスをクリックしてチェックマークを付けることで、ジョブ結合するドキュメントを選択することができます。

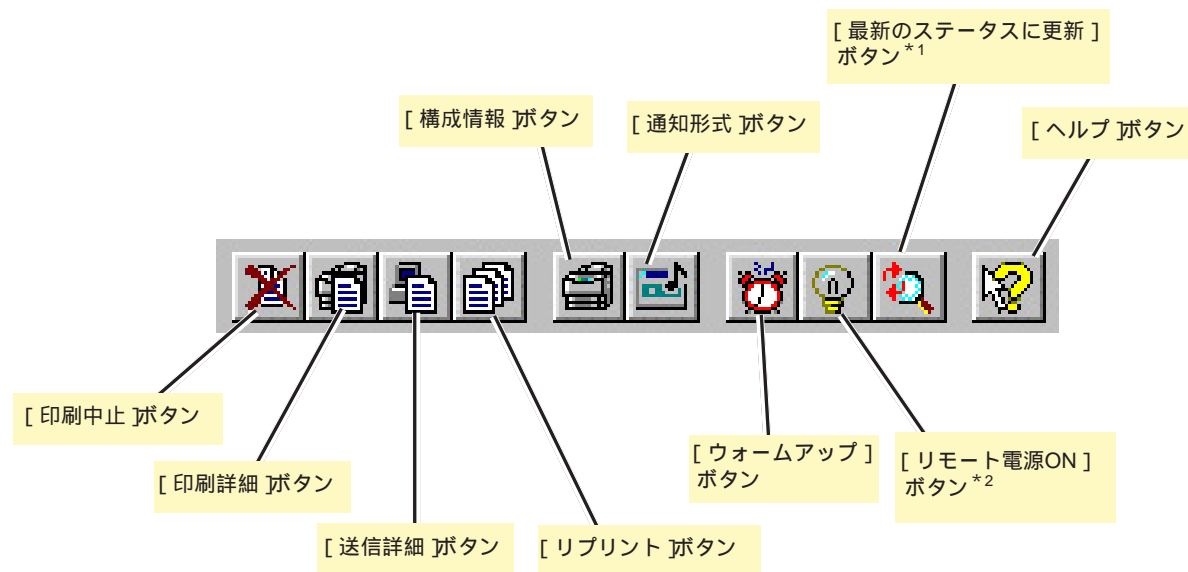
* 両面印刷はMultiWriter 2300/2100でのみ使用できます。

プリンタステータスウィンドウ(PSW)

プリンターステータスウィンドウ(PSW)は印刷の進行状況やプリンターの状態を画面と音声*1によるメッセージで通知します。また、印刷のとりやめの指示もこのウィンドウから行うことができます。

*1 音声機能は初期設定ではインストールされません。

*2 初期設定では表示されません。ドキュメント情報エリアを表示させるには[通知形式のプロパティ]ダイアログボックスで[ドキュメント情報]をチェックしてください。(「通知形式を変更する」参照)。

*3 MultiWriter 2300/2100で表示されます。

プリンタステータスウインドウのツールバー

*1 初期設定では印刷中以外はプリンターの状態を監視しないことになっています。プリンターの最新の状態を知るためには[最新のステータスに更新]ボタンをクリックしてください。常にプリンターの状態を取得するようにするには[通知形式のプロパティ]ダイアログボックスで[常にステータスを取得]をチェックしてください。(「通知形式を変更する」参照)。

*2 プリンターがリモート電源制御対応LANアダプタ(型番PR-NP-03TR2)に接続されている状態で電源制御の設定が有効な状態に表示されます。

メニュー＆ツールバー

メニューとツールバーを使うと印刷の中止、ドキュメント情報の表示、リプリント機能、ウォームアップ開始機能などが利用できます。ツールバーのボタンはメニューの項目をアイコン化したものです。

印刷の中止

ツールバーの[印刷中止]をクリックするか[ドキュメント]メニューの[印刷中止]を選択すると送信中のドキュメントの印刷中止(ジョブキャンセル)を行います。

印刷の中止は、この「ジョブキャンセル」機能を使うことをお勧めいたします。ジョブキャンセルは、送信中の印刷データを削除し、印刷を取りやめることができます。すでに送られた印刷データは削除することができません。

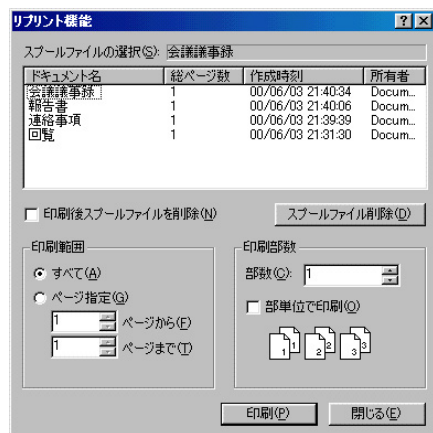
印刷中ドキュメントの表示

ツールバーの[印刷詳細]ボタンをクリックするか[ドキュメント]メニューの[印刷詳細]を選択すると印刷中、印刷待ちのドキュメント一覧を表示します。

送信中のドキュメントの表示

ツールバーの[送信詳細]ボタンをクリックするか[ドキュメント]メニューの[送信詳細]を選択すると送信中、送信待ちのドキュメント一覧を表示します。

リプリント機能を使う

リプリント機能を利用すると、一度印刷したデータをアプリケーションから再び印刷することなく、プリンターステータスウィンドウのダイアログボックスから直接再印刷(リプリント)できるようになります。

ツールバーの[リプリント]ボタンをクリックするか[ドキュメント]メニューの[リプリント機能]を選択すると[リプリント機能]ダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスを使ってリプリントするドキュメントの設定を行います。

リプリント機能についてはPrintAgent リプリント2をご利用になると、より高機能な使い方ができます。リプリントはPrintAgent リプリント2をお使いになることをお勧めします。

[スプールファイルの選択]

リプリントを行うドキュメントを選択します。

[印刷後スプールファイルを削除]

リプリントを行った後に、プライベートスプールしてあるドキュメントを削除します。プライベートスプールしてあるドキュメントとは、リプリントのために保存されたドキュメントのことです。

[印刷範囲]

[スプールファイルの選択]で選択したドキュメントの印刷範囲を指定します。

[スプールファイル削除]

クリックすると[スプールファイルの選択]で選択したドキュメントを削除します。

[部数]

印刷時の部数(コピー枚数)を指定することができます(1~99枚まで設定可能)。

[部単位で印刷]

印刷時の部数を複数枚指定した場合、部単位で印刷(丁合い印刷)するかどうかについて指定します。

[印刷]

クリックするとリプリントを実行します。

[閉じる]

クリックするとリプリントを実行せずに、[リプリント機能]ダイアログボックスを閉じます。

すでに他のPrintAgent対応プリンターをご使用になり、PrintAgentをインストールしている場合に、MultiWriter 2300/2100/210SのPrintAgentをインストールすると、リプリント機能のスプールファイルの[ドキュメント数]は、すでにインストールされているPrintAgentの設定値が10未満の場合は10、10以上の設定値がされている場合は、その設定値となります。

プリンターの構成情報を見る

ツールバーの[構成情報]ボタンをクリックするか[オプション]メニューの[プリンタの構成情報]を選択するとプリンターの給紙構成、オプション、メモリーの情報を表示します。

プリンタの構成情報

給紙構成

給紙方法	タイプ	用紙サイズ	用紙種別	状態
ホッパ1	標準(250)	A4	–	用紙あり
ホッパ2	増設(250)	B4	–	用紙なし
ホッパ3	増設(500)	A3	–	用紙あり
MP	標準(100)	A4	普通紙	用紙あり
手差し	標準(1)	–	普通紙	用紙あり

メモリ

16MB (標準)

OK

MultiWriter 2300

プリンタの構成情報

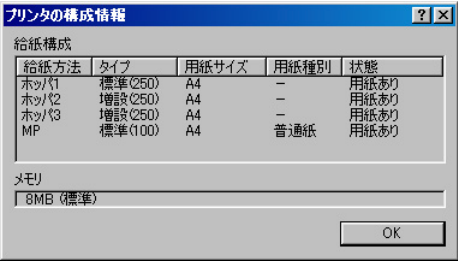
給紙構成

給紙方法	タイプ	用紙サイズ	用紙種別	状態
ホッパ1	標準(250)	A4	–	用紙あり
ホッパ2	増設(250)	B4	–	用紙なし
ホッパ3	増設(500)	A3	–	用紙あり
MP	標準(100)	A4	普通紙	用紙あり
手差し	標準(1)	–	普通紙	用紙あり

メモリ

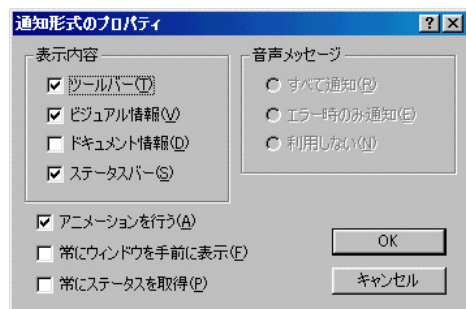
8MB (標準)

OK

MultiWriter 2100

MultiWriter 210S

プリンターとコンピューターで双方向通信が行われていないときは[プリンタのプロパティ]ダイアログボックス(Windows 2000の場合)または[プロパティ]ダイアログボックス(Windows 98/95/NT 4.0の場合)の「プリンタの構成」の設定内容が表示されます。

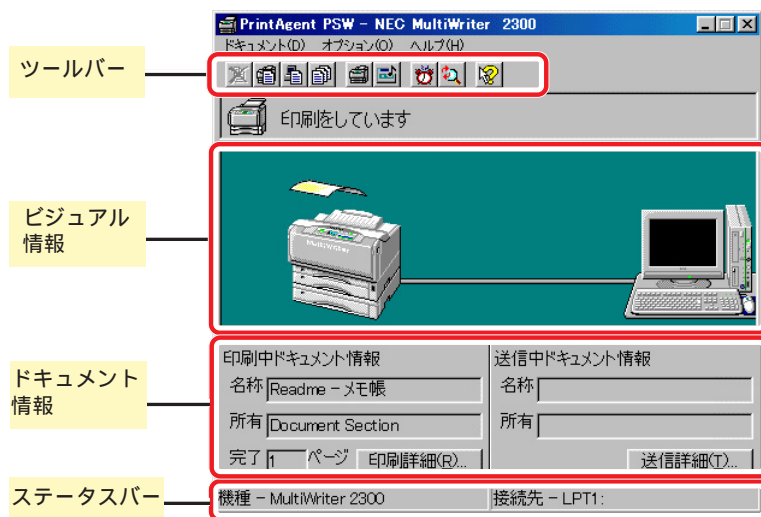
通知形式を変更する

ツールバーの通知形式ボタンをクリックするか[オプション]メニューの[通知形式]を選択するとプリンターステータスウィンドウの通知形式を変更することができます。

表示内容を必要とする項目だけを選択することにより、ウィンドウをコンパクトにすることができたり、プリンターステータスウィンドウのアニメーションを行うかどうかなどを設定できます。

[表示内容]

ウィンドウに表示する内容を次の項目で選択します。初期設定では[ドキュメント情報]がオフになっています。

- ツールバー
- ビジュアル情報
- ドキュメント情報*
- ステータスバー

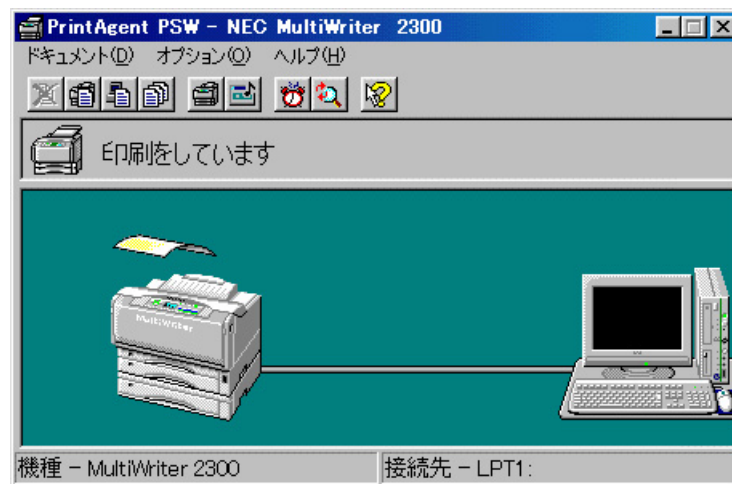
＊ 初期設定では表示されません

[音声メッセージ]

音声メッセージの利用方法を切り替えます。

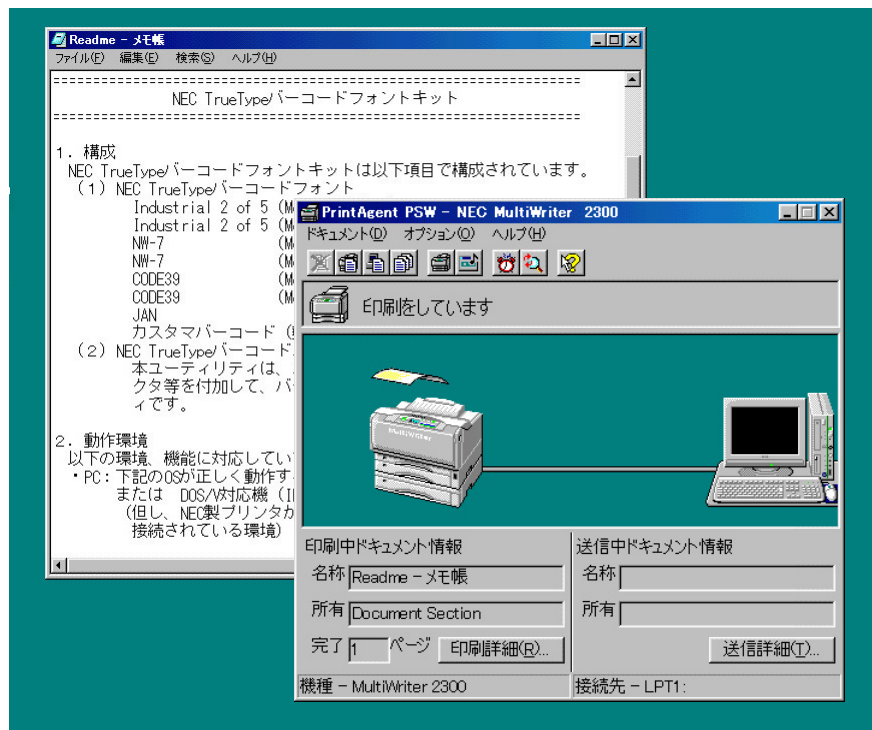
- すべて通知
- エラー時のみ通知
- 利用しない

- 音声メッセージ通知は標準ではインストールされません。
- 音声メッセージは、自分のドキュメントの印刷中にはプリンターステータスウィンドウが表示されていない場合でもPrintAgentが起動していれば通知されます。必要ない場合は[音声メッセージ]で[利用しない]を選択してください。
- 音声メッセージは、自分のドキュメントを印刷していないときの通知に関しては、PSWのプロパティの設定内容により変わります。詳細については[PSWのプロパティ]をご覧ください。
- 連続して印刷を行っている場合、印刷開始のメッセージは最初のデータの印刷処理が開始されたときだけ通知されます。同様に印刷終了のメッセージは最後のデータが処理終了したときだけ通知されます。

[アニメーションを行う]

ステータス情報エリア、またはビジュアル情報エリアでアニメーション(通知/エラー/印刷中/ウォームアップアイコン、排紙、印刷データの送信状況の動画表現)を行うかどうかを切り替えます。

印刷時のアニメーション

[常にウィンドウを手前に表示]

これをチェックしておくと一番手前にPSWが表示されるので、プリンターの状態を常に確認できます。

[常にステータスを取得]

●これをチェックしておくと印刷中以外でもプリンターの状態を常に監視します。
●ネットワーク共有プリンターの場合はサーバーで設定してください。

Windows 2000、Windows NT 4.0ではAdministrators権限のユーザーのみが設定変更できます。自動切替機能をご使用の場合、グループを構成するプリンターはプリンターの状態を常に監視する必要があるため、設定の変更はできません。

ウォームアップを行う

ツールバーの[ウォームアップ開始]をクリックするか[オプション]メニューの[ウォームアップ開始]を選択すると節電状態のプリンターのウォームアップを開始します。通常はデータ受信とともにウォームアップを開始しますが印刷前にあらかじめウォームアップを開始させておくと印刷までの時間が早くなります。

節電機能のON/OFFと節電状態に入るまでの時間は、プリンターの操作パネルによるメニューモードの[ウンヨウメニュー]で設定できます。

プリンターの電源をONする

ツールバーの[電源制御]をクリックするか、[オプション]メニューの[電源をONにする]を選択すると指定したプリンターの電源をONすることができます。

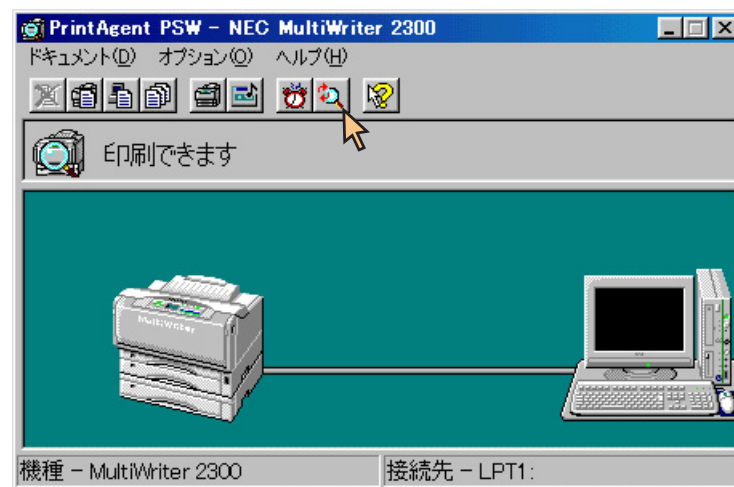
プリンターがリモート電源制御対応のLANアダプター(型番PR-NP-03TR2)に接続されている場合のみ利用できます。プリンタステータスウィンドウからはプリンターの電源をOFFにすることはできません。プリンターの電源OFFはプリンタ管理ユーティリティのマニュアルをご覧ください。

プリンターステータスウィンドウでリモート電源制御機能を利用するには

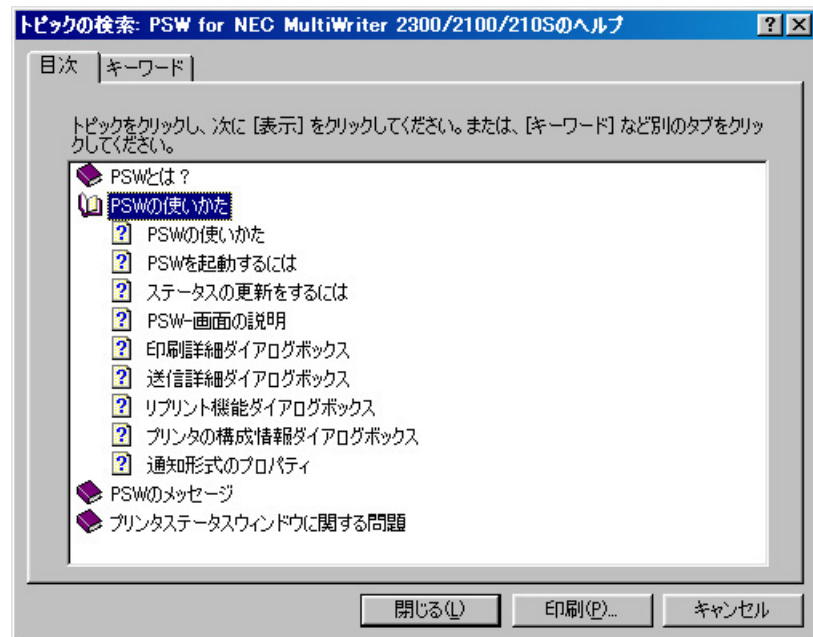
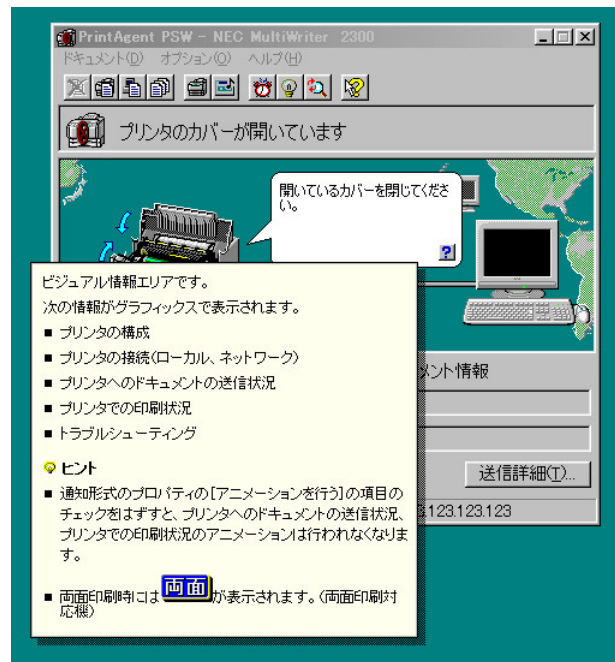
設定方法についての詳細は「3 PrintAgentでMultiWriterを管理する」の「リモート電源制御」をご覧ください。

最新のステータスに更新する

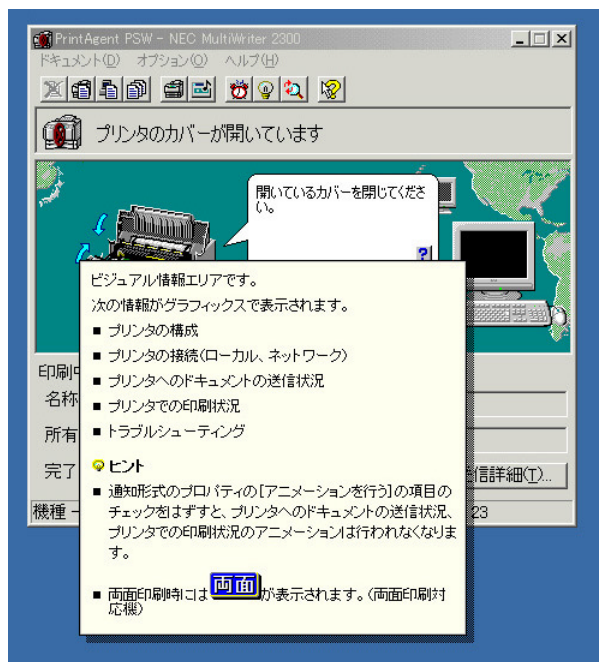
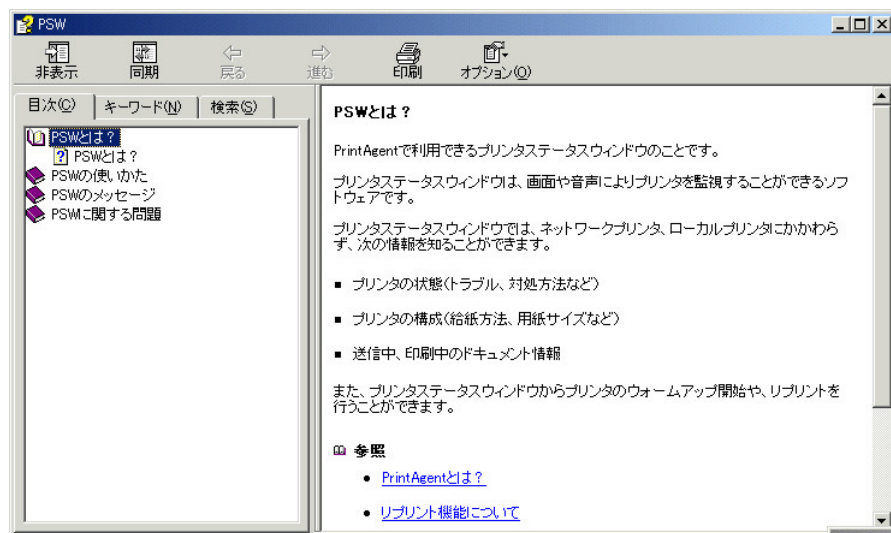
ツールバーの「最新のステータスに更新」ボタンをクリックするか、[オプション]メニューの[最新のステータスに更新]を選択するとプリンターのステータスを取得することができます。

通常は印刷中以外のプリンターのステータス情報を監視していませんので、最新のプリンターステータス情報を表示するには、ステータス更新を行ってください。

ヘルプを見る

ヘルプを見るためには[？]ボタンをクリックし、そのままポインタを移動させウィンドウ内の各部分をクリックするか、[ヘルプ]メニューの[目次]を選択しPSWのヘルプを表示させます。

Windows 98/95、Windows NT 4.0の場合

[？]ボタンから表示するヘルプ

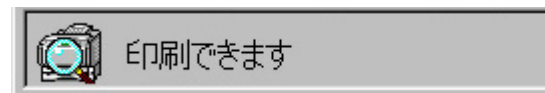
PSWのヘルプ

Windows 2000の場合

［？］ボタンから表示するヘルプ

PSWのヘルプ

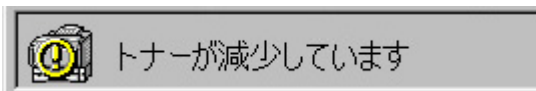
ステータス情報エリア

5種類のアイコンでプリンターの状態を表示し、文字と音声によるメッセージが付随します。

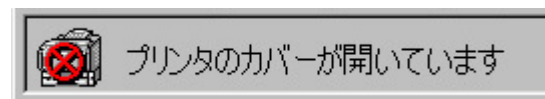
通常状態

印刷できます

通常に印刷できる状態または処理中の表示です。

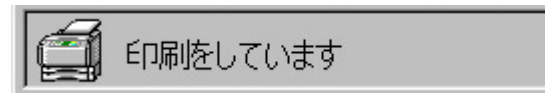
通知状態

トナーが減少しています

「トナーの減少」など印刷を続行するために必要な情報を表示します。プリンターアイコン上の黄色いアイコンが回転します。

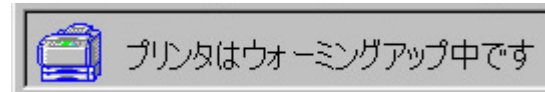
エラー状態

プリンタのカバーが開いています

「カバーが開いている」など印刷を再開するために必要な情報を表示します。プリンターアイコン上の赤いアイコンが回転します。

印刷中

印刷をしています

プリンターが印刷中に表示されます。

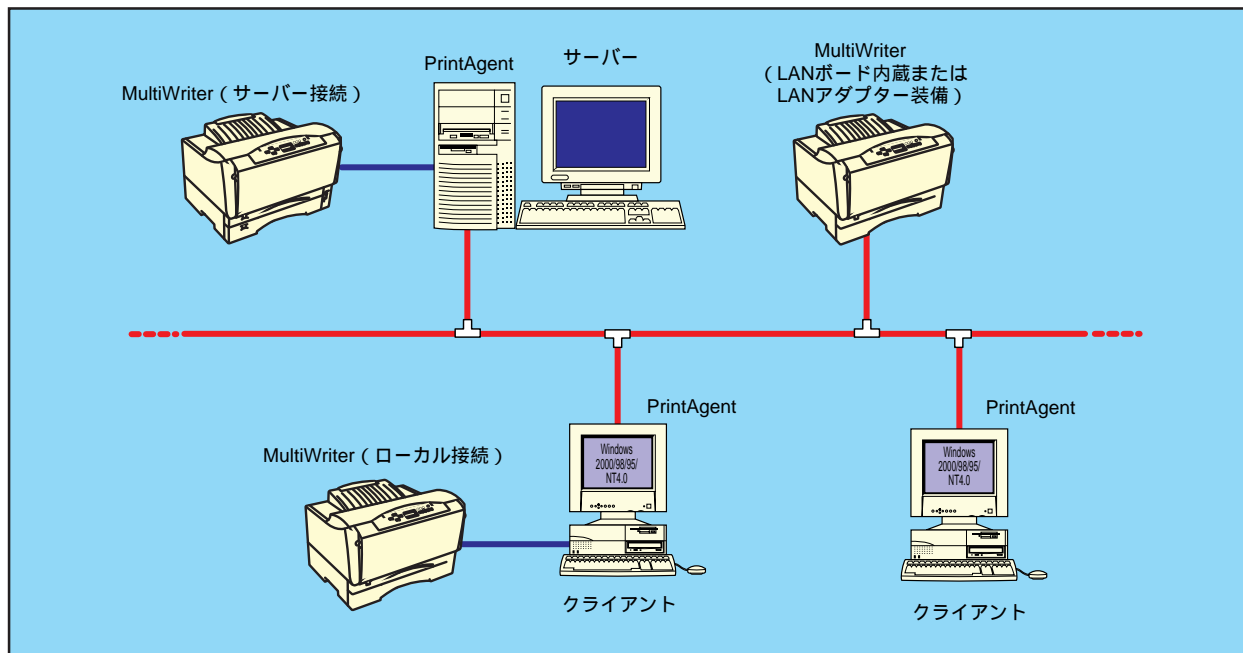
ウォームアップ中

プリンタはウォーミングアップ中です

プリンターがウォーミングアップ状態になっているときに表示されます。

プリンタステータスウィンドウ(PSW)の通知一覧

プリンタステータスウィンドウ(PSW)は、プリンターがローカル接続されているかサーバー接続されているかによって利用できる機能や通知できる内容に違いがあります。

サーバー接続プリンターの場合、ネットワークプロトコルはTCP/IPのときに、PSWがご利用になれます。

MultiWriter（サーバー接続）
PrintAgent
サーバー
MultiWriter
（LANボード内蔵または
LANアダプター装備）
PrintAgent
MultiWriter（ローカル接続）
Windows
2000/98/95/
NT4.0
クライアント
PrintAgent
Windows
2000/98/95/
NT4.0
クライアント

プリンタステータスウィンドウ(PSW)で利用できる機能

機能項目	ローカル・サーバー接続	LAN接続
タイトルバー		
プリンタ名の表示	○	○
「ドキュメント」メニュー		
印刷中止	○	○*1
印刷詳細	○	○
送信詳細	○	○
リプリント機能	○	○
「オプション」メニュー		
プリンタの構成情報	○	○
通知形式	○	○
ウォームアップ開始	○	○
電源をONにする	X	○*2
最新のステータスに更新	○	○
「ヘルプ」メニュー		
目次	○	○
バージョン情報	○	○
ツールバー		
［印刷中止］ボタン	○	○*1
［印刷詳細］ボタン	○	○
［送信詳細］ボタン	○	○
［リプリント］ボタン	○	○
［構成情報］ボタン	○	○
［通知形式］ボタン	○	○
［ウォームアップ開始］ボタン	○	○
［リモート電源ON］ボタン	X	○*2
［最新のステータスに更新］ボタン	○	○
［ヘルプ］ボタン	○	○
ステータス情報エリア*3	○	○

機能項目	ローカル・サーバー接続	LAN接続
ビジュアル情報エリア		
バルーンメッセージ	○	○
ステータスヘルプボタン	○	○
両面インジケータ*4	○	○
データ送信アニメーション	○	○
用紙排出アニメーション	○	○
音声メッセージ	○	○*3
ドキュメント情報エリア		
「印刷中ドキュメント情報」	○	○
「送信中ドキュメント情報」	○	○
ステータスバー		
「機種」	○	○
「接続先」	○	○

*1　実行可能ですが実行後、印刷データが残ったままになることがあります。
*2　電源制御付き外付けLANアダプター（型番：PR-NP-03TR2）との接続時のみ表示されます。
*3　表示・通知がプリンターの動作、状態により若干遅れることがあります。
*4　MultiWriter 2300/2100で表示されます。

ステータス情報エリアの表示(1/2)

ステータス	表示メッセージ	音声メッセージ	ローカル・サーバー接続	LAN接続
通常	印刷できます	ーーーーーーーーー	○	○
	印刷ドキュメントを準備中です	ーーーーーーーーー	○	○
	印刷をしています	印刷を開始します 印刷が再開されました	○	○
	プリンタは節電状態になっています	ーーーーーーーーー	○	○
	プリンタはウォーミングアップ中です	ーーーーーーーーー	○	○
通知	プリンタのもう一方のポートで印刷しています	ーーーーーーーーー	○	○
	EPカートリッジの寿命です。	ーーーーーーーーー	○	○
	トナーが減少しています	ーーーーーーーーー	○	○
	プリンタの情報を取得中です	ーーーーーーーーー	○	○
	プリンタの情報が取得できません	ーーーーーーーーー	○	○
	テスト印刷を実行中です*3	ーーーーーーーーー	○	X
	印刷ドキュメントを削除中です	印刷を取りやめました	○	○
	16進ダンプ印刷を実行中です*4	ーーーーーーーーー	○	X
	ネットワークプリンタの情報は取得できません	ーーーーーーーーー	○*1	X
	ネットワークプリンタの情報が取得できません	ーーーーーーーーー	○*1	X
	ネットワーク関連の内部エラーです	ーーーーーーーーー	○	○
エラー	ネットワークプリンタの状態が不明です	ーーーーーーーーー	○*1*2	X
	プリンタの情報が取得できません	ーーーーーーーーー	○	○
	電源がOFFかケーブルが接続されていません	プリンタの応答がありません	○	○
	印刷可スイッチが押されていません	印刷可スイッチが押されていません	○	○
	接続されているプリンタはサポートされていません	このプリンタはサポートしていません	○	○
	ドキュメントの印刷を一時停止中です	印刷が一時停止されました	○	○

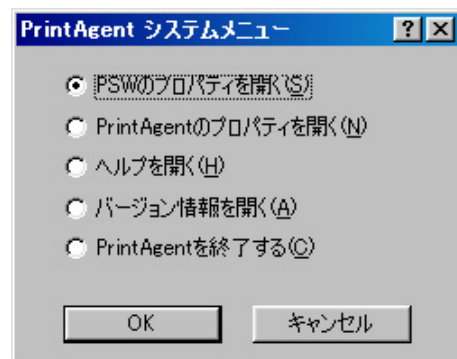
*1　サーバー接続のときのみ通知されます。
*2　Windows2000/ NT4.0のときのみ通知されます。
*3　「印刷可スイッチが押されていません」が通知されることがあります。
*4　「印刷できます」が通知されることがあります。

ステータス情報エリアの表示（2/2）

ステータス	表示メッセージ	音声メッセージ	ローカル・サーバー接続	LAN接続
エラー（続き）	プリンタは一時停止中です	印刷が一時停止されました	○	○
	用紙がありません	用紙がありません	○	○
	指定サイズと異なる用紙がセットされています	正しい用紙がセットされていません	○	○
	正しい用紙サイズで印刷できませんでした	正しい用紙サイズで印刷できませんでした	○	○
	ピックミスです	紙づまりです	○	○
	紙づまりです	紙づまりです	○	○
	EPカートリッジが入っていません	EPカートリッジが入っていません	○	○
	プリンタのカバーが開いています	プリンタのカバーが開いています	○	○
	EPカートリッジの寿命です	ーーーーーーーー	○	○
	トナーが減少しています	ーーーーーーーー	○	○
	プリンタのメモリが不足しています	プリンタで障害が発生しました	○	○
	ネットワークプリンタはオフライン作業中です	オフライン作業中です	○*1*2	X
	状態が取得できません	ーーーーーーーー	○	○
	プリンタで障害が発生しています	プリンタで障害が発生しました	○	○
	EPカートリッジが間違っています	EPカートリッジが入っていません	○	○
	用紙カセットが入っていません	用紙がありません	○	○

*1 Windows 98/95のときのみ通知されます。
*2 サーバー接続のときのみ通知されます。

システムメニュー

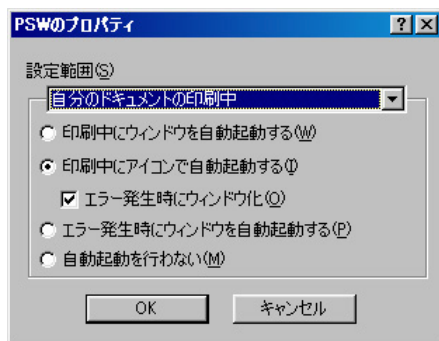
システムメニューはプリンタステータスウィンドウ(PSW)とPrintAgentを効率よく運用していただくための環境を設定します。システムメニューでは以下のようなPrintAgentの設定項目を選ぶことができます。

- PSWのプロパティを開く
- PrintAgentのプロパティを開く
- ヘルプを開く
  PirntAgentのヘルプを起動します。
- バージョン情報を開く
  PrintAgentのバージョン情報ダイアログを開きます。
- PrintAgentを終了する
  PrintAgentを終了します。

PSWのプロパティ

[PSWのプロパティ]ダイアログボックスはPSWをいつ自動起動(表示)させるかを設定します。設定範囲のリストボックスから以下の2つのいずれかを選択できます。

[設定範囲]

- 自分のドキュメントの印刷中
  自分が印刷を行ったときのPSWの自動起動に関して設定できます。

- 自分のドキュメントを印刷していないとき
  自分が印刷していない場合(ネットワーク上でプリンターを共有しているときに他の人が印刷を行った場合を含む)のPSWの自動起動に関して設定できます。

特定のクライアントで、プリンターを管理する場合等は、[自分のドキュメントを印刷していないとき]を選択し、自動起動を行うようにすると便利です。

[印刷中にウィンドウを自動起動する]

印刷を開始すると自動的にPSWを表示し、印刷が終了すると自動的にウィンドウを閉じます。

[印刷中にアイコンで自動起動する]

印刷を開始すると自動的にPSWのアイコンをタスクバー上に表示します。印刷が終了すると自動的にPSWアイコンは消えます。必要に応じてウィンドウとして表示することができます。また、[エラー発生時にウィンドウ化]をチェックすると、印刷中にエラーが発生したとき、自動的にウィンドウが表示されます。

[エラー発生時にウィンドウを自動起動する]

なんらかの対処をしなければ印刷を継続できないエラーが発生した場合に自動的にPSWを表示します。エラー状態が解除されると自動的にウィンドウは閉じます。

[自動起動を行わない]

印刷時やエラー発生時も含めて自動起動を行いません。

PrintAgentのプロパティ

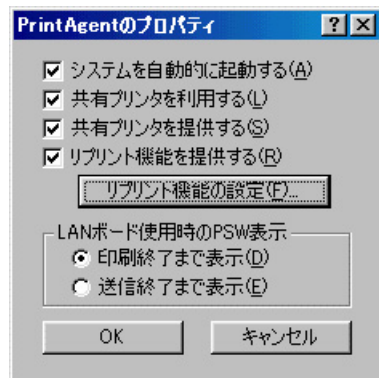
[PrintAgentのプロパティ]ダイアログボックスでは、MultiWriterを効率よく運用していただくために必要な項目が設定できます。

[システムを自動的に起動する]

Windowsの起動時にPrintAgentが自動的に起動します。設定した内容は、次回のWindows起動時(Windows 98/95)またはログオン時(Windows 2000、Windows NT 4.0)から有効となります。

[共有プリンタを利用する]

他のコンピューター(プリントサーバー)がネットワーク共有プリンターとして提供しているMultiWriterに対してPrintAgentの機能を利用できるようになります。

この設定は、共有プリンターに対するPrintAgent機能の利用のみを設定するもので、OFFになっていても印刷自体は可能です。

設定が有効になるためには、プリントサーバー側のPrintAgentのプロパティで[共有プリンタを提供する]がチェックされている必要があります。

[共有プリンタを提供する]

お使いのコンピューターに接続されているMultiWriterを共有プリンターとして他のコンピューターに対して提供する場合に、他のコンピューターからPrintAgentの機能を利用できるようにします。

この設定は、PrintAgentの機能の利用のみを設定するもので、OFFになっていてもクライアントから共有プリンターに印刷することはできます。また共有プリンターを提供するコンピューターがWindowsのログオン画面表示中(ユーザーがログオンしていない間)であっても他のコンピューターからPrintAgent機能は利用可能です。

共有プリンターの利用/提供について

本項目は、Windows 2000、Windows NT 4.0をお使いの場合、提供はAdministrators権限のある方のみが設定を変更でき、利用についてはAdministrators権限を持たなくても設定を変更することが出来ます。
[共有プリンタを利用する]、[共有プリンタを提供する]は、通常はONのままで支障ありませんが、次の場合はOFFにすることをお勧めします。

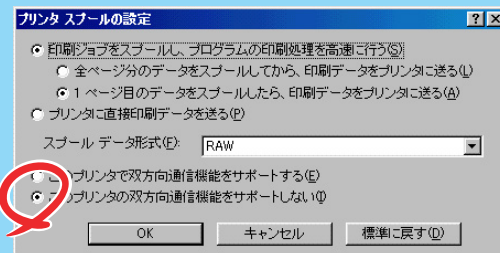
- ネットワークの回線速度が遅い
  低速回線を経由する共有プリンターに対して、PrintAgentを使用すると、通信速度の関係でPSWなどの操作がしにくかったり、状態の表示が遅れたりすることがあります。この場合は、[PrintAgentのプロパティ]で[共有プリンタを利用する]のチェックを外してください。ネットワーク共有プリンターについてのPrintAgentの双方向通信機能を無効にすることができます。

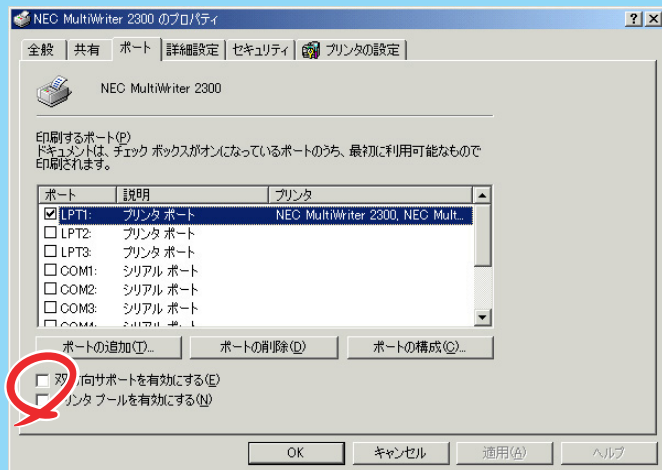
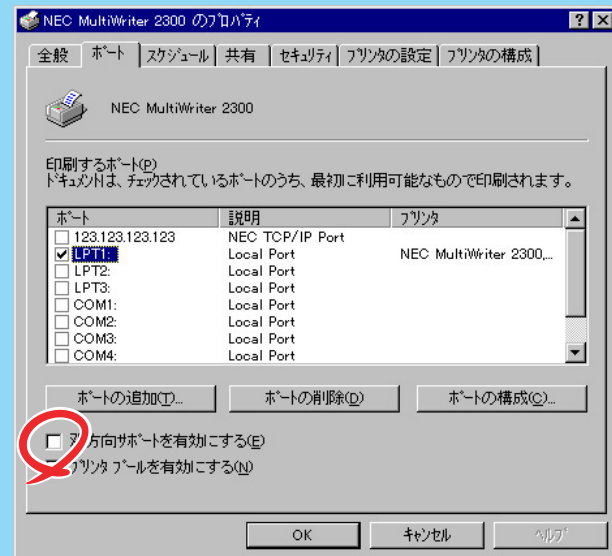
- 課金されるネットワークを使っている
  転送データ量に応じて課金される従量課金制のネットワークを経由してPrintAgentを使用している場合にも、PrintAgentの双方向通信によってデータ転送が発生し、課金されることがあります。
  考慮すべきネットワーク環境の例としては以下のケースがあります。
  - ◇ ネットワークプリンターが、公衆回線を経由した別のネットワーク上に存在する場合。
  - ◇ プリントサーバー、DNSサーバー、WINSサーバーが公衆回線を経由した別のネットワーク上に存在する場合。
  - ◇ ローカルネットワークの通信自体が課金ネットワークの場合。

  これを避けたい場合にも、上記操作によってネットワーク共有プリンターについてのPrintAgentの双方向通信機能を無効にしてください。

- コンピューターの処理能力が十分でない
  コンピューターの性能があまり高くない場合、PrintAgentのご利用により、他の作業の処理速度に影響する可能性があります。この設定を外してもローカルに接続しているプリンターでは、引き続きPrintAgentがご利用になれます。

従量課金回線での課金を最小限(印刷時のみ)とするためには

- クライアントコンピューター側で[PrintAgentのプロパティ]の[共有プリンタを利用する]のチェックを外す。
- サーバーコンピューター側で[PrintAgentのプロパティ]の[共有プリンタを提供する]のチェックを外す。
- サーバーコンピューターがWindows 98/95の場合はプリンターのプロパティーの[詳細]-[スプールの設定]-[このプリンタの双方向通信機能をサポートしない]を選択し、再起動する。

Windows 98/95

サーバーコンピューターがWindows 2000またはWindows NT 4.0の場合は[プロパティ]ダイアログボックスの[ポート]-[双方向サポートを有効にする]のチェックを外してご利用ください。

Windows 2000

Windows NT 4.0

[リプリント機能を提供する]

チェックすると、一度印刷されたデーターがコンピューター上に保管(スプール)が可能になります。いったんスプールされたデータはアプリケーションを起動することなくPrintAgent リプリント2 やPSWのダイアログボックスからリプリント(再印刷)できるようになります。ネットワーク共有プリンターの場合は、サーバーにスプールされます。

[リプリント機能の設定]ボタン

このボタンをクリックすることにより、[リプリント機能の設定]ダイアログボックスが表示されます。[リプリント機能の設定]ダイアログボックスは、リプリント機能で用いるスプールファイルについての設定をするダイアログボックスです。

ドキュメント数について

チェックを外すとスプール可能なドキュメント数の最大値(100個)が設定されます。

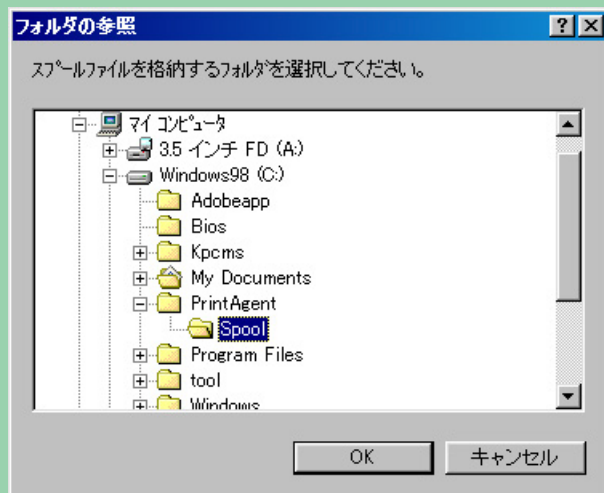
有効期限について

チェックを外すと期限が最大値(720時間)になります。

ディスク領域について

チェックを外すと最大容量(空き容量の50%)になります。

スプール先について

空き容量が不足した場合には、[変更]ボタンをクリックし、以下の[フォルダの参照]ダイアログボックスにより、スプールするフォルダーを変更できます。ただしネットワークで接続されたフォルダーやリムーバブルディスクはスプールするフォルダーとして指定できません。

[LANボード使用時のPSW表示]

LANボードや、LANアダプターを使用している時に、プリンターで印刷中のドキュメント情報や排紙アニメーションをPSWで表示させるか設定します。LANボードを使用してネットワーク接続された共有プリンターに対して「印刷ログ出力機能」を利用したい場合は[印刷終了まで表示]に設定する必要があります。

ネットワーク共有プリンターの場合、リプリントとLANボードの設定はサーバーで行ってください。また、Windows 2000、Windows NT環境ではAdministratorsの権限が必要です。

OSアップグレード時の注意事項

お使いのコンピューターでOSをWindows 2000日本語版にアップグレードしてMultiWriterをお使いになる場合、アップグレード前にいったんPrintAgent、およびプリンタードライバーを削除する必要があります。

他のMultiWriterシリーズをご使用の場合にも注意が必要です。Windows NT 3.51 日本語版からWindows 2000日本語版にアップグレードしてMultiWriterをお使いになる場合[PrintAgentセットアップ]を使ってPrintAgentの削除を行っても、お使いの環境によってはWindows 2000日本語版へのアップグレードが行えないことがあります。Windows NT 3.51上でPrintAgent Eraserを使って削除を行ってください。

すでにWindows NT 4.0 日本語版でPrintAgentをご利用され、Windows 2000日本語版にアップグレードした場合、[PrintAgentセットアップ]を使ったPrintAgentの削除が行えないことがあります。

PrintAgent Eraserはこういった場合に使われるソフトウエアでWindows 2000日本語版上のプリンターソフトウエア(PrintAgentとプリンタードライバー)をすべて削除します。PrintAgent EraserでPrintAgentおよびプリンタードライバーを削除してからOSのアップグレードを行い、Windows 2000に対応したソフトウエアのインストール作業を続けてください。

PrintAgent EraserはプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されています。詳細についてはPrintAgent Eraserに添付されているReadme.txtファイルをご覧ください。

PrintAgent Eraserの処理を実行するとプリンターソフトウエアに関する各種設定がクリアされます。実行前に以下の設定を記録しておいてください。

- LANプリンターで使用しているNEC Network PortのIP アドレス
- ネットワーク共有プリンターのパス
- 印刷ログのサービスの設定
- リプリントの設定
- プリンタステータスウインドウの設定
- メール通知の設定
- 自動切替の設定

PrintAgentでMultiWriterを管理する

ここでは、PrintAgentでMultiWriter 2300/2100/210Sを管理する便利な機能、使い方について説明します。高度な機能が手間をかけずに利用できるばかりでなく、印刷コスト ・管理コストの削減も図れます。この章をよくお読みになり、MultiWriter 2300/2100/210Sを使いこなしてください。

PrintAgentを使うと次のような機能により、効率良くMultiWriterを管理することができます。

プリンタ管理ユーティリティ

「プリンタ管理ユーティリティ」は管理者向けとしてソフトウエアをインストールした方のみご利用になれるユーティリティーです。このユーティリティーは、ローカル接続も含めネットワーク内に接続されているプリンターを設定・管理することができます。プリンタ管理ユーティリティ、プリンター一覧はWindows 98/95/2000/NT 4.0でご利用になれます。

- プリンターの使用状況の確認
- 印刷ジョブの制御
- 保守情報のメール通知（NEC e-mailメンテナンス）の設定
- プリンターの自動切替機能の設定
- LANボード/LANアダプターの設定（NEC製のみ）→詳しくはLANボードまたはLANアダプターに添付の取扱説明書かCD-ROM収録のオンラインマニュアルをご覧ください。
- グループプリンターの作成・設定（プリンタ自動切替）
- プリンターステータスウインドウの起動

プリンタ管理ユーティリティは以下のウィンドウを使って設定･管理します。ここではウィンドウの概略を説明します。プリンタ管理ユーティリティを使って実現する機能の手順についてはプリンターのユーザーズマニュアル、またはNECプリントサーバーの設定方法についてはLANボード/LANアダプターに添付の取扱説明書をご覧ください。

チェック

「プリンター覧」のウィンドウでは「ツリービュー」の部分が表示されず機能も一部制限されます。（管理者の機能は表示されません）
各メニューのコマンドをポイントするとステータスバーに簡単な説明が表示されます。詳細な説明が必要な場合はヘルプをご覧ください。

メニューバー

ツールバー
メニューの項目をアイコン化したものです。選んだプリンター、接続形態を選択しているツリービューによって表示内容は異なります。

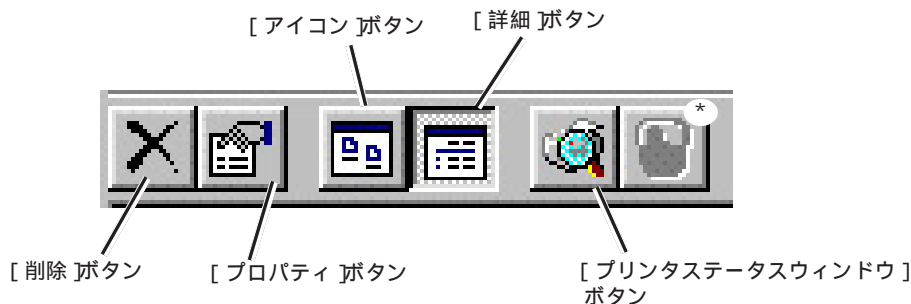
ツリービュー
利用できるプリンターをツリー形式で表示します。

- 利用可能なプリンタ：
  お使いのコンピューターにインストールされているすべてのプリンターです。
- ネットワーク共有プリンタ：
  ネットワーク内で共有に出されているすべてのプリンターです。
- NECプリントサーバ：
  NEC製のLANボードまたはLANアダプターを使ってネットワーク接続されているプリンターです。

ステータスバー

リストビュー
左側のボックスで選ばれた接続形態のプリンターの使用状況をリストで表示します。

ツールバー

プリンタ管理ユーティリティはツールバーとメニューを使ってネットワーク内のプリンターの設定・管理をします。ツールバーのボタンはメニューの項目をアイコン化したものです。以下のボタンの表示は、ツリービューで利用可能なプリンタを選択したときのものです。

[削除]ボタン

リストビューで選択したプリンターを削除します。

[プロパティ]ボタン

リストビューで選択したプリンターのプロパティシートが開きます。

[アイコン]ボタン

リストビューのプリンター一覧をアイコンで表示します。

[詳細]ボタン

リストビューのプリンター一覧を詳細なリストで表示します。

[プリンタステータスウィンドウ]ボタン

リストビューで選択したプリンターのPSWを表示させます。

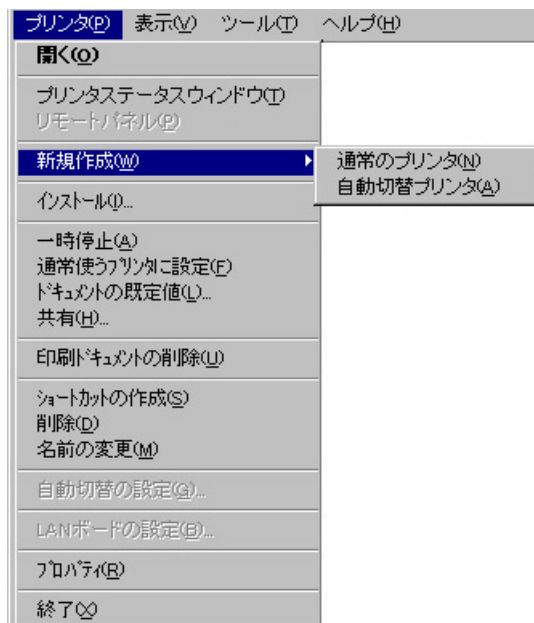
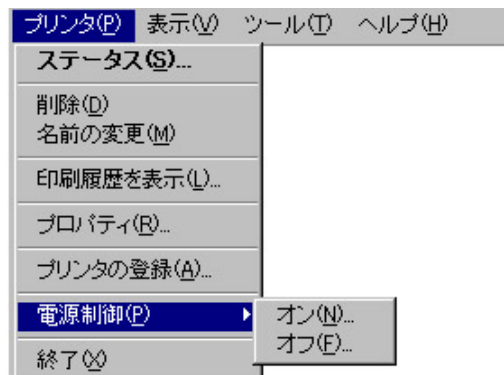
* リストビューで選択したプリンターのリモートパネルを表示させます。MultiWriter 2300/2100/210Sでは無効です。

メニュー

メニューの表示項目、順番はそれぞれのOSの環境、プリンターの接続方法によって変わります。以下はWindows NT 4.0の表示例です。

[プリンタ] メニュー

選択されているプリンターに対して有効なコマンドが表示されます。

● 利用可能なプリンターを選択した場合

● LANプリンターを選択した場合

メニューの表示項目と内容(1/2)

項目名	機能・設定内容
開く	プリンタードライバーを開きます。
プリンターステータスウィンドウ	PSWを開きます。
リモートパネル*	リモートパネルを開きます。
場所の設定 （Windows 98/95のみ）	プリンターの設置場所を設定します。設定された場所はプリンターの状況確認や印刷終了通知を受け取ったときに参照できます。
新規作成	プリンターを追加し、利用できるようにします。通常のプリンターと自動切り替えができるグループプリンターが作成できます。
ドキュメントの既定値 （Windows NT 4.0の場合） 印刷設定 （Windows 2000の場合）	プリンターの［印刷設定］ダイアログボックスを表示します。
通常使うプリンタに設定	通常使うプリンターに設定します。
一時停止	印刷を一時停止します。
印刷ドキュメントの削除 （Windows 98/95/NT 4.0の場合） すべてのドキュメントの取り消し （Windows 2000の場合）	すべての送信中の印刷ジョブを削除します。
共有	プリンターの共有プロパティを表示します。

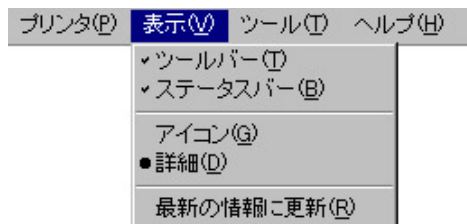
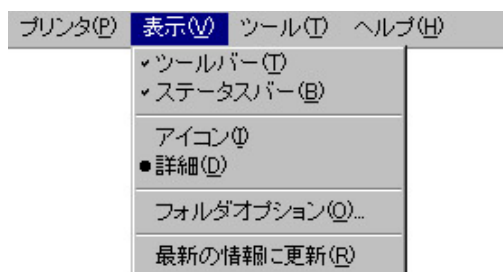
＊ MultiWriter 2300/2100/210Sでは無効です。

メニューの表示項目と内容(2/2)

項目名	機能・設定内容
プリンターをオフラインで使用する（Windows 2000の場合）	選択されたプリンターへは接続しません。 印刷ジョブをプリントサーバーあるいはプリンターに送らずにコンピューターにスプールします。
ショートカットの作成	プリンターのショートカットを作成します。
削除	プリンタードライバーを削除します。
名前の変更	プリンターの名前を変更します。
自動切替の設定	［グループプリンタの編集］ダイアログボックスを表示し、自動切替の設定を行います。
アラームの発信設定	［アラームの発信設定］ダイアログボックスを表示し、保守情報のメール通知設定を行います。
LANボードの設定	プリンターに接続されているLANボード、LANアダプターのプロパティーを表示します。
プロパティ	プリンターの［プロパティ］ダイアログボックスを表示します。
ステータス	プリンターの［ステータス］ダイアログボックスを表示します。
印刷履歴を表示	プリンターの印刷履歴を表示します。
プリンタの登録	新しいプリンターを登録します。
電源制御	プリンターの電源をリモートオン/オフします。
終了	プリンタ管理ユーティリティを終了します。

[表示]メニュー

ウィンドウのデザインを変更するコマンドが表示されます。

● [利用可能なプリンタ]および[ネットワーク共有プリンタ]を選択した場合

● [NECプリントサーバ]を選択した場合

◇ ツールバー
ツールバーの表示/非表示を切り替えます。

◇ ステータスバー
ステータスバーの表示/非表示を切り替えます。

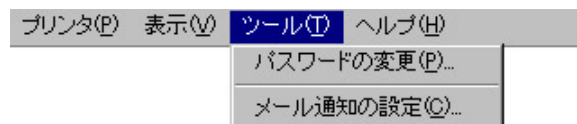
◇ アイコン
プリンターをアイコンで表示します。

◇ 詳細
プリンターを詳細なリストで表示します。

◇ フォルダオプション
[NECプリントサーバのオプション]ダイアログボックスを表示し、ステータスの更新周期や表示項目を設定します。

◇ 最新の情報に更新
各項目を最新の情報に更新します。

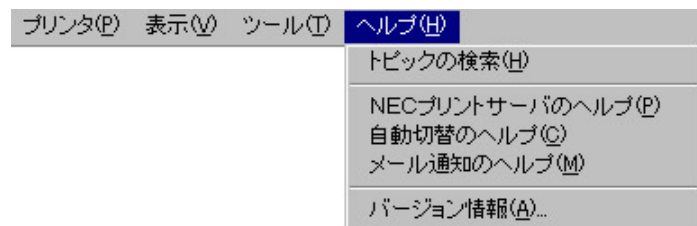
[ツール]メニュー

プリンタ管理ユーティリティーの設定を行うコマンドが表示されます。

◇ パスワードの変更
管理者用パスワードを変更します。

◇ メール通知の設定
[メール通知の設定]ダイアログボックスを表示し、保守情報のメール通知設定を行います。

[ヘルプ]メニュー

ヘルプコマンドが表示されます。

プリンタ(P)　表示(V)　ツール(T)　ヘルプ(H)
トピックの検索(H)
NECプリントサーバのヘルプ(P)
自動切替のヘルプ(C)
メール通知のヘルプ(M)
バージョン情報(A)...

◇ **トピックの検索**
[プリンタ管理ユーティリティ]のヘルプダイアログボックスが表示され、トピックの検索でヘルプを表示・印刷できます。

◇ **NECプリントサーバのヘルプ**
[NECプリントサーバ]のヘルプダイアログボックスが表示され、トピックの検索でヘルプを表示・印刷できます。

◇ **自動切替のヘルプ**
[プリンタ自動切替]のヘルプダイアログボックスが表示され、トピックの検索でヘルプを表示・印刷できます。

◇ **メール通知のヘルプ**
[メール通知]のヘルプダイアログボックスが表示され、トピックの検索でヘルプを表示・印刷できます。

◇ **バージョン情報**
プリンタ管理ユーティリティ、プリンター覧のバージョンを表示します。

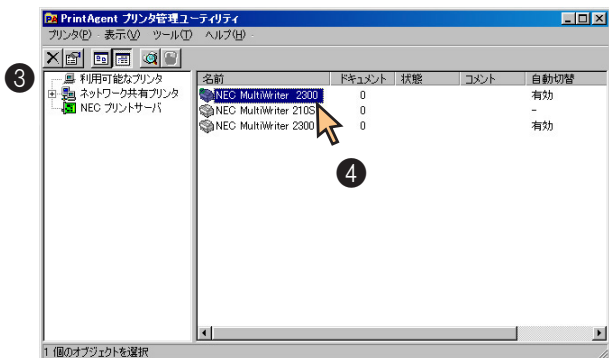
次の手順でプリンターを設定・管理項目を選択します。

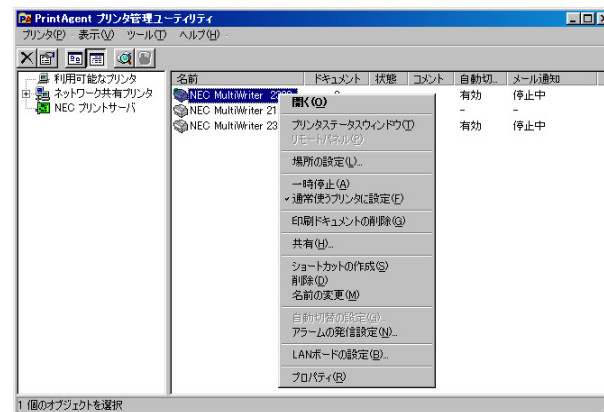
1. プリンタ管理ユーティリティを起動する。

2. パスワードを入力する。

パスワードをあらかじめ設定することをお勧めします。

3. 対象のプリンターの接続形態を選ぶ。

4. 対象のプリンターを選ぶ。

5. 設定・管理項目を選んで実行する。

対象のプリンターを右クリックするかウィンドウ上部のメニューバーをクリックしてメニューを表示させ、希望の項目をクリックします。

- [NECプリントサーバ]の設定に関してはLANボードまたはLANアダプターに添付の「PrintAgent プリンタ管理ユーティリティ取扱説明書」をご覧ください。
- メール通知の設定とグループプリンタの作成は、ご利用のコンピューターで[利用可能なプリンタ]としてインストールされたプリンターに対して設定できます。ネットワーク共有プリンターには設定できません。

プリンタ自動切替

プリントサーバーで管理する複数台のMultiWriter 2300/2100/210Sをグループプリンターとしてグループ化することで印刷ジョブを自動的に切替えて印刷する「プリンタ自動切替」機能を利用することができます。また、グループプリンタを共有化することでネットワーク上のクライアントコンピューターからも利用することができます。グループプリンターとして設定可能なプリンターは「グループプリンターとして設定可能なプリンター」を参照してください。（プリントサーバーのOSがWindows 98/95の場合グループ化できるプリンターは2台までです。）
プリンターの切替は、プリンターの状態（印刷中など）、用紙サイズ、両面印刷機能の有無、優先順位（プリンター管理者が設定します）の要素から決定し印刷を行います。以下の図はプリンタ自動切替機能を利用した構成例を表したものです。
また、設定は次のステップで行ってください。

Step 1　グループプリンタの設定

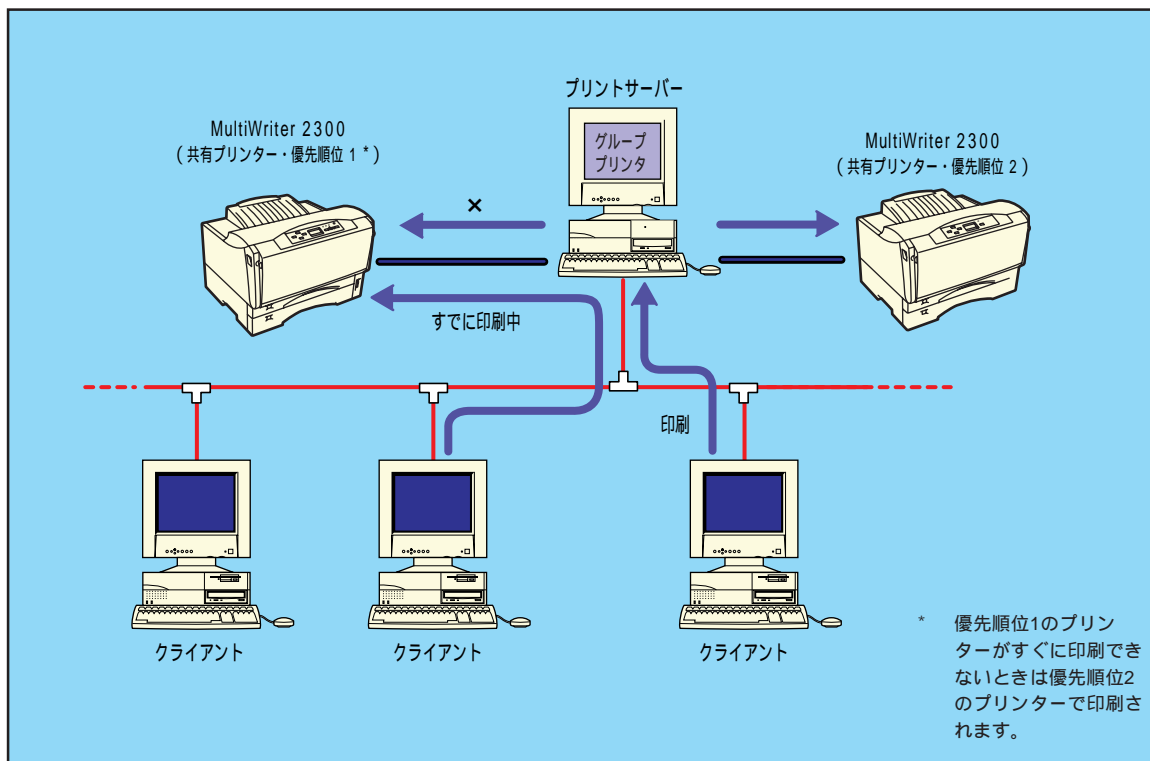
Step 2　グループプリンタを共有プリンタにする

Step 3　共有されたグループプリンタに接続する

Step 4　グループプリンタへ出力する

Step 2、Step 3を行なう場合プリンタサーバーに以下のことが必要です。

- ネットワーク環境で共有プリンターをお使いになるためには、コンピューターにあらかじめ以下のソフトウエアをインストールしておく必要があります。詳しくは各OSのマニュアルをご覧ください。
  ーWindows 98/95の場合：　「Microsoft ネットワーク共有サービス」
  ーWindows 2000の場合：　「Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有」
  ーWindows NT 4.0/3.51の場合：　「サーバー」
- ネットワーク環境でLANプリンターとしてお使いになるためには、あらかじめコンピューターのネットワーク設定にTCP/IPプロトコルをインストールしておく必要があります。詳しくは各OSのマニュアルをご覧ください。

プリンタ自動切替機能を利用した構成例（MultiWriter 2300）

Step 1　グループプリンタの設定

ここではグループプリンタの作成・編集方法を説明します。グループプリンタへの印刷方法とグループプリンタ使用時のプリンタステータスウィンドウについては「グループプリンタ用プリンタステータスウィンドウ」をご覧ください。
グループプリンタを作成するには、次の手順が必要です。

1　グループプリンタを作成する前に確認する

グループプリンタを作成する前に以下の点を確認してください。

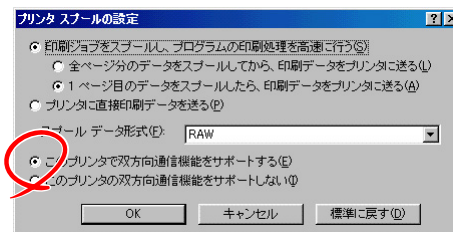
● グループを構成できるプリンターについて

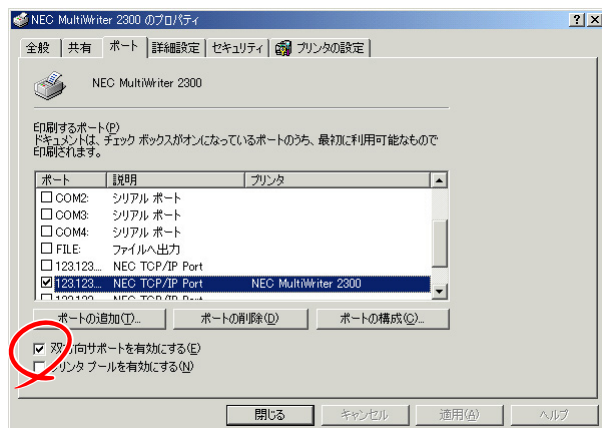
グループを構成できるプリンターは次の条件をすべて満たしているプリンターです。

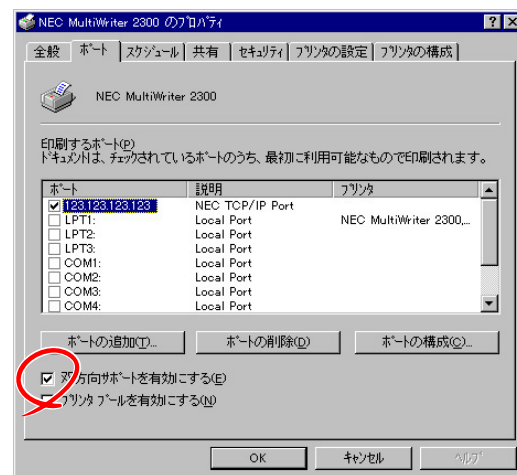
◇「グループプリンタとして設定可能なプリンター」を参照してグループ化できるプリンターであることを確認してください。

◇ 双方向通信していること

【Windows 98/95の場合】

プリンターの[プロパティ]ダイアログボックスの[詳細]シートで[プリンタスプールの設定]ダイアログボックスを表示させ、[このプリンタで双方向通信機能をサポートする]が選択されていることを確認します。

【Windows 2000の場合】

[プリンタのプロパティ]ダイアログボックスの[ポート]シートで[双方向サポートを有効にする]がチェックされていることを確認します。

【Windows NT 4.0】

[デバイスプロパティ]ダイアログボックスの[ポート]シートで[双方向サポートを有効にする]がチェックされていることを確認します。

◇ 双方向のポートに接続していること

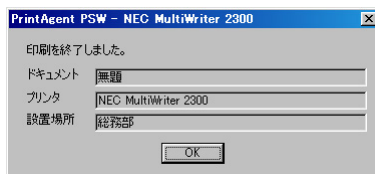
それぞれの接続形態において双方向が可能な以下のポートを使っていることを確認してください。

接続先がプリントサーバーの共有プリンターの場合はグループを構成できません。

OS	プリンタケーブル接続	LANプリンター接続	USBケーブル接続
Windows 98/95	LPTx	NEC TCP/IP Printing System	LPTUSBxxx
Windows 2000	LPTx	NEC Network Port	LPTUSBxxx:
Windows NT 4.0	LPTx	NEC Network Port	–

● [設置場所]の表示について

グループプリンタの印刷が終了すると利用者には、印刷の終了を通知するダイアログボックスが表示されます。

このダイアログボックスに[設置場所]が設定されていると、どこのどのプリンターで印刷されているのかが利用者に表示されるので設定しておくと便利です。

Windows 98/95の場合[プリンタ管理ユーティリティ]を使って[利用可能なプリンタ]に[設置場所]を設定することができます。入力方法については、次ページをご覧ください。Windows 2000/NT 4.0の場合Administratorsの権限で[設置場所]を設定することができます。詳しくはそれぞれのOSのヘルプをご覧ください。

2 場所を設定する

プリンターの設置場所を設定しておくと、PrintAgentの機能を使ってプリンターの状況を確認するときや印刷終了通知を受け取ったときにプリンターの場所が参照できて便利です。
Windows 98/95の場合、以下の手順でプリンターの場所を設定します。

1. プリンタ管理ユーティリティを起動する。

2. パスワードを入力する。

3. [利用可能なプリンタ]を選ぶ。

4. 対象のプリンターを右クリックし[場所の設定]を選ぶ。

   [場所の設定]ダイアログボックスが表示されます。

5. 場所を設定する。

Windows 2000の場合は[プリンタのプロパティ]ダイアログボックスで、Windows NT 4.0の場合は[デバイスプロパティ]ダイアログボックスで、場所の設定をすることができます。詳しくはそれぞれのOSのヘルプをご覧ください。

3 グループプリンタを作成する

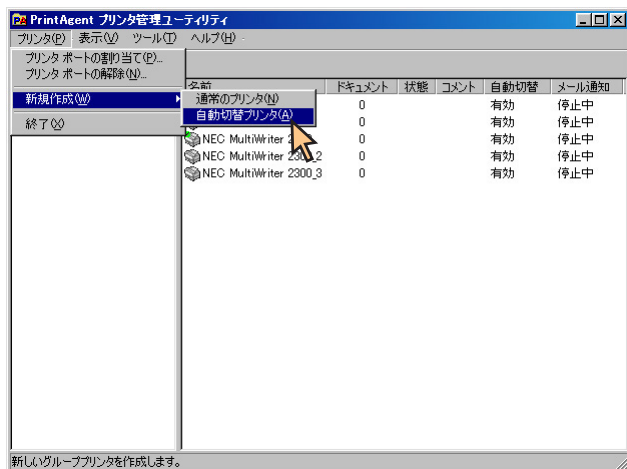
以下の手順でグループプリンタを作成します。

1. [プリンタ管理ユーティリティ]を起動する。

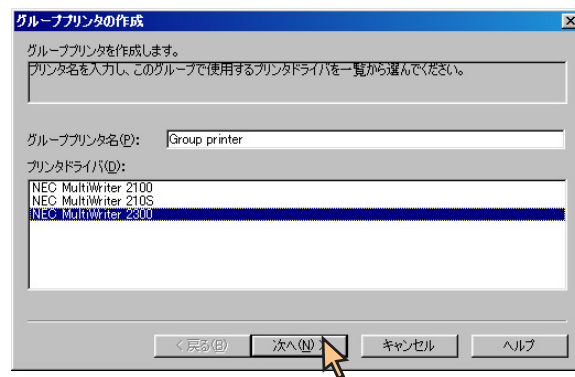
2. パスワードを入力する。

3. 左側のボックスから[利用可能なプリンタ]を選ぶ。

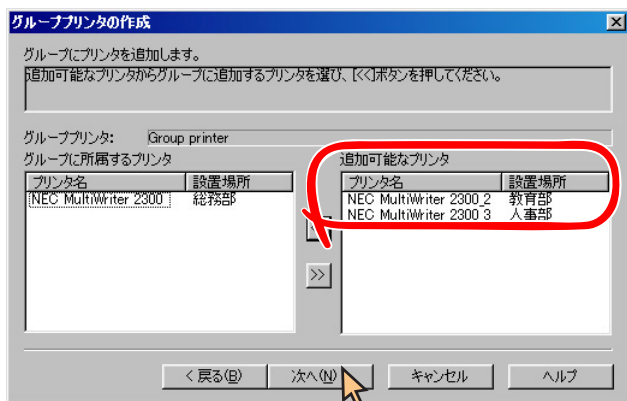
4. [自動切替プリンタの作成]ウィザードを起動する。

[プリンタ]メニューの[新規作成]をポイントし、[自動切替プリンタ]をクリックします。

5. [グループプリンタ名]を入力し、基本となる[プリンタードライバ]を選択し、[次へ]をクリックする。

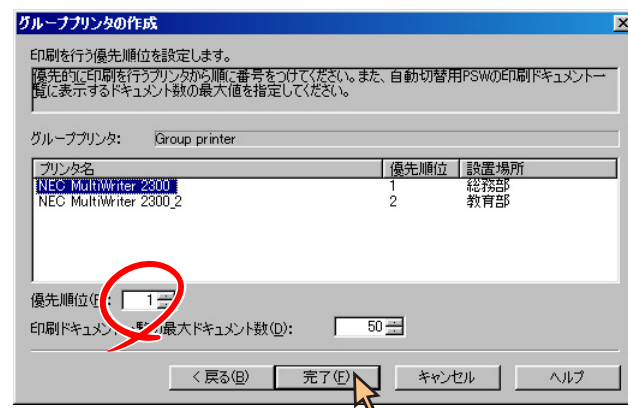
チェック

基本となるプリンタードライバーによって選択できる構成プリンターが異なります。詳細な組み合わせは「グループプリンタとして設定可能なプリンター」を参照してください。

6. グループを構成するプリンターを選び、[次へ]をクリックする。

[追加可能なプリンタ]ボックスから希望のプリンターを選び[<<]をクリックします。

● Windows 98/95をプリントサーバーのOSとしてご使用になる場合、追加可能なプリンターは2台までです。
● グループプリンタを設定するためには、あらかじめ自動切替オプションがインストールされている必要があります。（PrintAgentの追加についてはユーザーズマニュアルを参照してください）

7. 印刷の優先順位を設定し、[完了]をクリックする。

希望のプリンタ名を選び、[▲]か[▼]をクリックして順位を変更します。

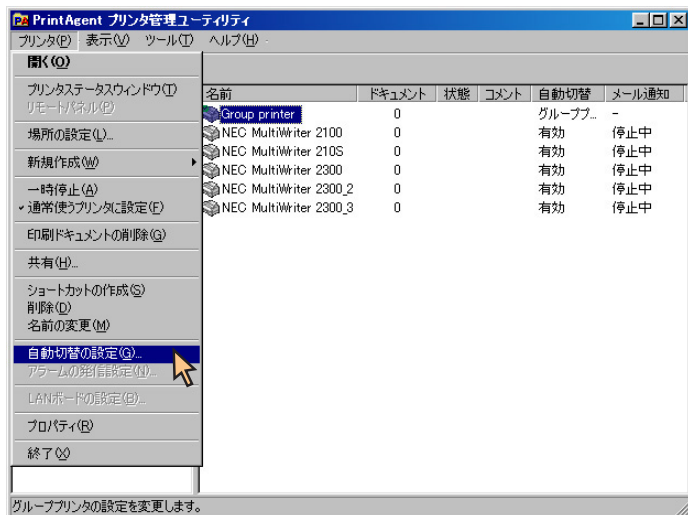
また、ここでグループプリンタ用プリンタステータスウィンドウの[印刷ドキュメント一覧]で表示できる最大ドキュメント数も設定できます。（設定可能範囲は1～100）

4 グループプリンタを編集する

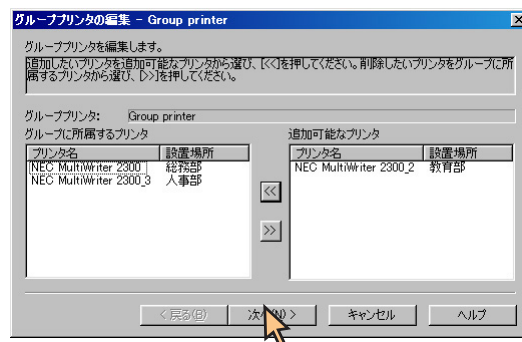
以下の手順でグループプリンタを編集します。

1. **[プリンタ管理ユーティリティ]を起動する。**

2. **パスワードを入力する。**

3. **左側のツリービューから[利用可能なプリンタ]を選ぶ。**

4. **右側のリストビューから希望のグループプリンタを右クリックし、[自動切替の設定]をクリックする。**

5. **必要に応じてプリンターを追加・削除する。**

[次へ]をクリックすると[グループプリンタの編集]ダイアログボックスが表示されます。

6. **必要に応じて印刷の優先順位を変更する。**

グループプリンタ用プリンタステータスウィンドウの[印刷ドキュメント一覧]で表示できる最大ドキュメント数も変更できます。(設定可能範囲は1～100)

Step 2　グループプリンタを共有プリンタにする

1. ［プリンタ管理ユーティリティ］を起動する。

2. パスワードを入力する。

3. 左側のボックスから［利用可能なプリンタ］を選ぶ。

4. ［プリンタ］メニューの［共有］をクリックする。

Step 3　共有されたグループプリンタに接続する

1. クライアントコンピューター上で接続先を［ネットワークコンピュータ］を選択し、プリンターソフトウエアをインストールする。

   詳しくは、ユーザーズマニュアルの2章「プリンターソフトウエアのインストール」を参照してください。

Step 4　グループプリンタへ出力する

ここではグループプリンタへの印刷方法とグループプリンタ使用時のプリンタステータスウィンドウについて説明します。

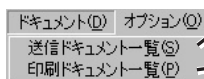
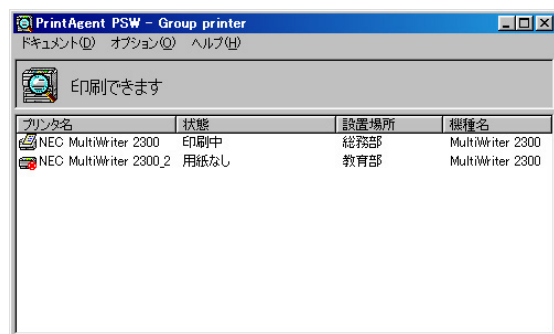
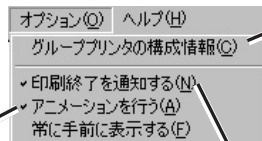
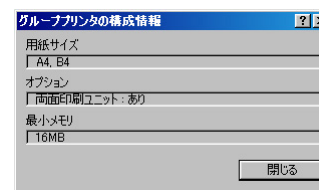
印刷方法

1. 共有プリンタを接続先としてインストールしたプリンターを指定して、アプリケーションから印刷する。

2. [印刷]ダイアログボックスで印刷範囲、印刷部数を指定して[OK]をクリックする。

印刷が終了するとこのような「印刷終了通知」が表示されます。

グループプリンタ用プリンタステータスウィンドウ

グループプリンタ使用時に表示されるプリンタステータスウィンドウは、通常のプリンター用のウィンドウを簡略したものが表示されます。このプリンタステータスウィンドウは複数台のプリンターステータスを扱うので印刷ジョブの削除などプリンター個別の処理は[プリンタ管理ユーティリティ]か[プリンター覧]で行うことになります。

グループプリンタとして設定可能なプリンターはMultiWriter系のプリンターです。下記の表を参照してください。

グループプリンタとして設定可能なプリンター

使用するプリンタードライバー	グループ設定可能なプリンターの機種
MultiWriter 2300	MultiWriter 2300
MultiWriter 2100	MultiWriter 2300、2100
MultiWriter 210S	MultiWriter 210S
MultiWriter 2650M	MultiWriter 2300、2100 MultiWriter 2650M、2250H
MultiWriter 2250H	MultiWriter 2300 MultiWriter 2250H
MultiWriter 2650	MultiWriter 2300、2100 MultiWriter 2650M、2250H MultiWriter 2650、2650E MultiWriter 2250、2050
MultiWriter 2650E	MultiWriter 2300、2100 MultiWriter 2650M、2250H MultiWriter 2650、2650E MultiWriter 2250、2050
MultiWriter 2250	MultiWriter 2300、2100 MultiWriter 2650M、2250H MultiWriter 2650、2650E MultiWriter 2250、2050
MultiWriter 2050	MultiWriter 2300、2100 MultiWriter 2650M、2250H MultiWriter 2650、2650E MultiWriter 2250、2050

保守情報のメール通知

保守情報のメール通知機能は、設定されたプリンターのトナーが少なくなったときや、定期保守が必要になった時に自動的に電子メールを送信して管理者にプリンターの状態を通知する機能です。
メール通知の設定は、ご利用のコンピューターで[利用可能なプリンタ]としてインストールされたプリンターのみに対し設定できます。ネットワーク共有プリンターとグループプリンタには設定できません。

To：xxxx@yyy.zzzz
From：日電太郎<nichitaro>
Reply-To：日電太郎<nichitaro>
Cc：zzzz@xxxx.yyyy
Subject：[PA Report]保守情報の自動通知

NEC MultiWriter PrintAgent　メール通知

通知概要：　EPカートリッジ交換
プリンタ名：　NEC MultiWriter 2300
通知アラーム：　76 トナーナシ
通知アラーム検出：　2000/07/31　00:00

入り口近くの柱の脇にあるプリンターです。
EPカートリッジを交換してください。
****

NEC　☆※部

日電太郎

東京都○×区△1丁目2番3号

□■ビル　1F

03-XXXX-XXXX

****

保守情報の通知例

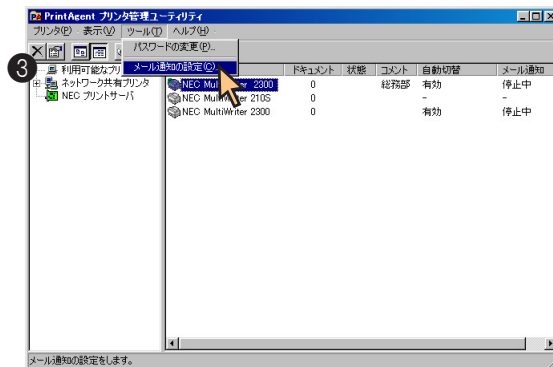
ここでは保守情報の自動通知の設定を説明します。

1. [プリンタ管理ユーティリティ]を起動する。

2. パスワードを入力する。

3. 左側のツリービューから[利用可能なプリンタ]を選ぶ。

4. [ツール]メニューの[メール通知の設定]をクリックする。

[メール通知の設定]ダイアログボックスが表示されます。

5. メール送信情報とユーザー情報を入力する。

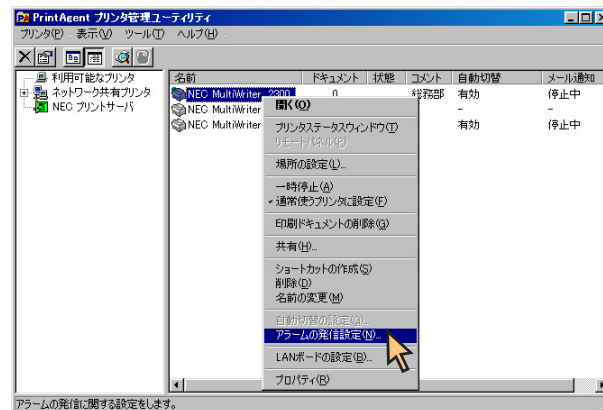
メール送信元情報の項目は必須です。管理者名、メールアドレス、メールサーバー名のすべてが入力されていないと設定が終了できません。

このダイアログボックスの設定はメール通知設定の共通設定です。このダイアログボックスで各種設定を行っておくと、複数のプリンターのメール通知設定のときに複写され、便利です。

[ユーザ情報]シート

[メール送信情報]シート

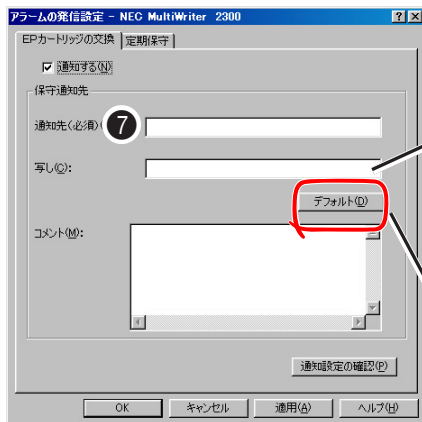
6. 右側のリストビューから希望のプリンターを右クリックし、メニューの[アラームの発信設定]をクリックする。

[アラームの発信設定]ダイアログボックスが表示されます。

7. 必要に応じてEPカートリッジの交換と定期保守の通知先情報を入力する。

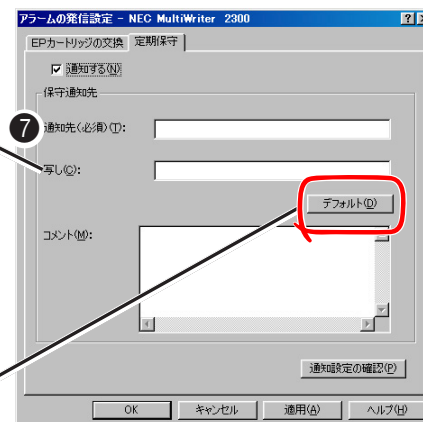
通知先のメールアドレスが入力されていないと設定が終了できません。

[通知設定の確認]をクリックして送信されるメールのイメージを確認してください。

チェック

「定期保守通知」は印刷枚数が10万、20万、30万、40万、50万ページに達したらその都度一回だけ発信されます。

[EPカートリッジの交換]と[定期保守]の通知は発信者(プリンター管理者)には、自動的に写しが送信される設定になっていますので改めて、ここの[写し]に発信者のメールアドレスを入力する必要はありません。

[デフォルト]をクリックすると[メール通知の設定]ダイアログボックスで入力された通知先、写しのメールアドレスがそれぞれ入力されます。

[EPカートリッジの交換]シート

[定期保守]シート

メール通知ログファイルの出力

PrintAgentには保守情報のメール通知（NEC e-mailメンテナンス）で通知したメールの履歴をログ情報としてプリントサーバーの［PrintAgent］フォルダーに出力し記録させることができます。

メール通知が行われるとPrintAgentをインストールしたフォルダーに「LOG」というサブフォルダーが作成されます。また、そのサブフォルダー内に「PAMail.log」というログファイルが作成され、メール通知履歴情報が記録されます。

Cドライブ上にPrintAgentをインストールしメール通知を行ったときログファイルは以下のフォルダーに作成されます。

　ログファイル：C:\PrintAgent\LOG\PAMail.log

メールを通知するたびにログファイルには次のような情報が記録されます。

　通知アラーム検出日時：通知先：写し：プリンター名：通知概要

エラーが検出されメール通知が行われなかった場合には次のような情報が記録されます。

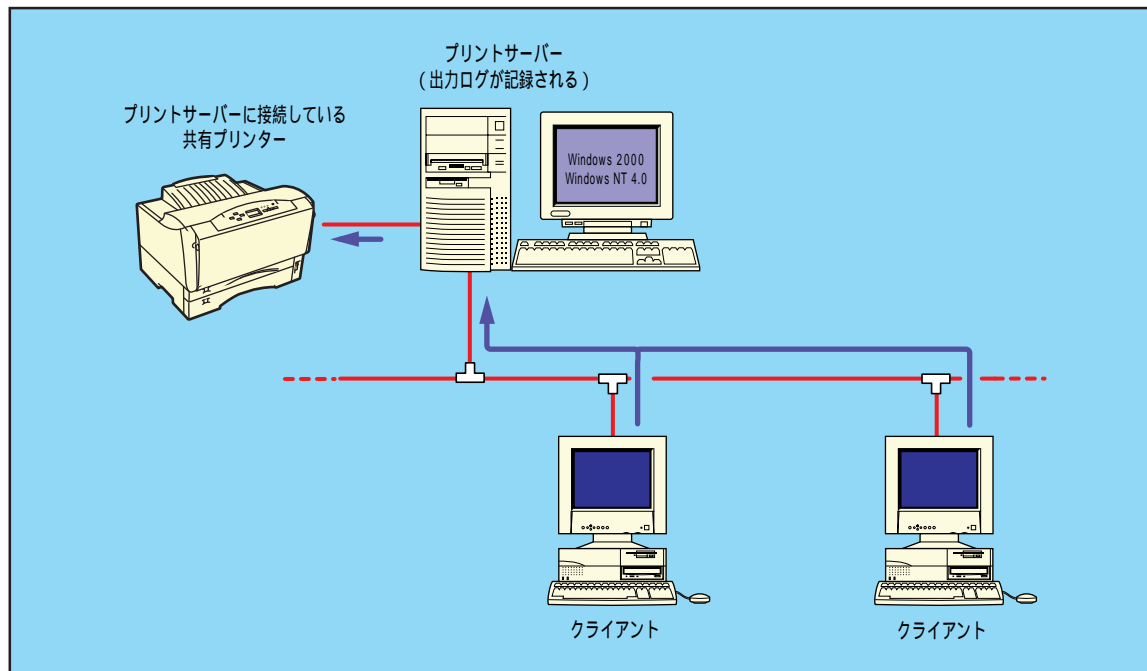
　通知アラーム検出日時 ：通知先：写し：プリンター名：通知概要：エラー情報

印刷ログの出力

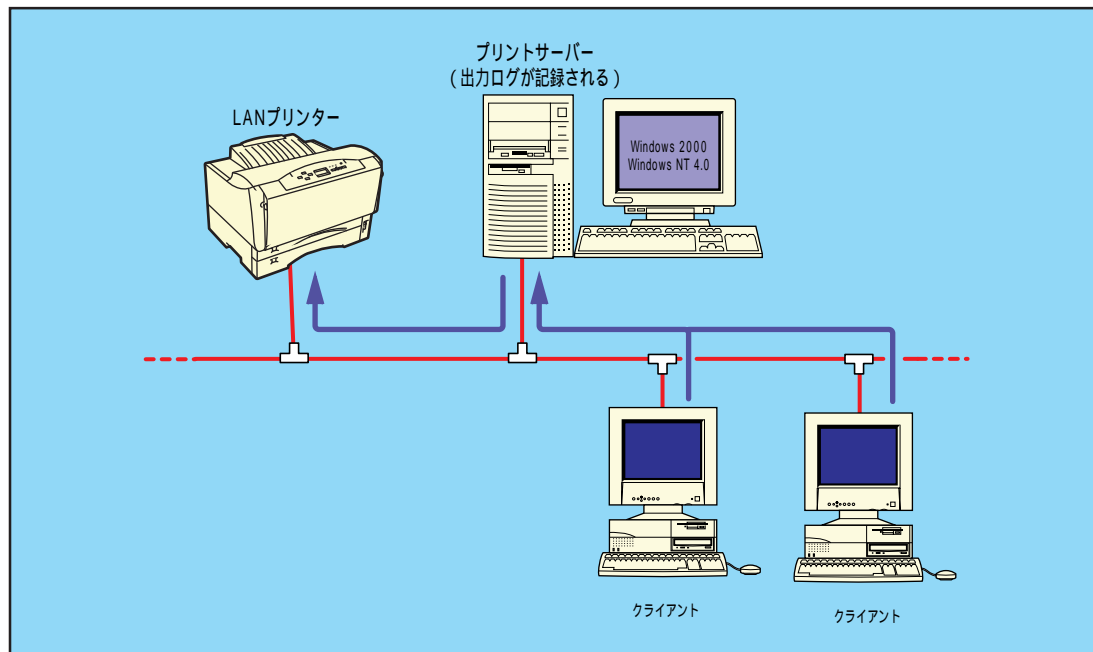
プリントサーバーで管理されているプリンターがどのくらい印刷したかを確認できるように印刷履歴を残すことができる機能です。Windows 2000とWindows NT 4.0に対応しています。
この機能を利用するにはプリントサーバーとMultiWriter 2300/2100/210Sが以下のいずれかの形態で接続されている必要があります。

ローカル接続

プリントサーバーが直接接続されているMultiWriter 2300を共有プリンターに設定している例です。

プリントサーバー
(出力ログが記録される)
プリントサーバーに接続している
共有プリンター
Windows 2000
Windows NT 4.0
クライアント
クライアント

ローカル接続されたプリンターの共有

ネットワーク接続

プリントサーバーがLANボードまたはLANアダプターを使ってネットワークに接続されているMultiWriter 2300を共有プリンターに設定している形態です。

LANボード/LANアダプターで接続されたプリンターの共有

各設定を行うにはAdministratorsの権限が必要です。

Step 1 印刷ログ出力機能を設定する

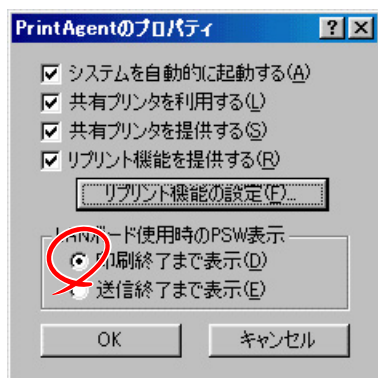
Step 2 印刷ログファイルを出力する

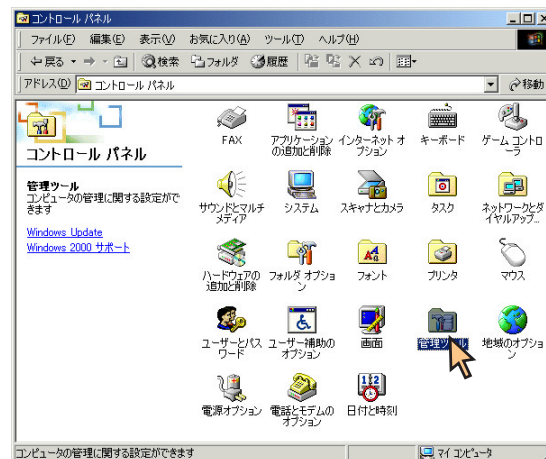
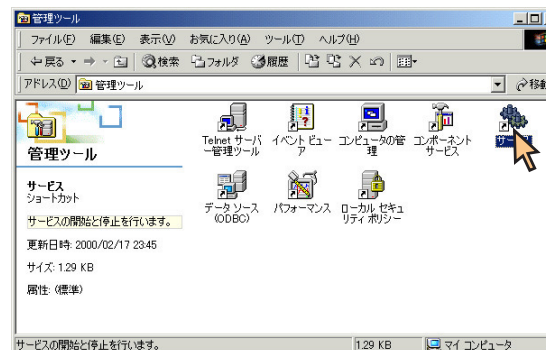
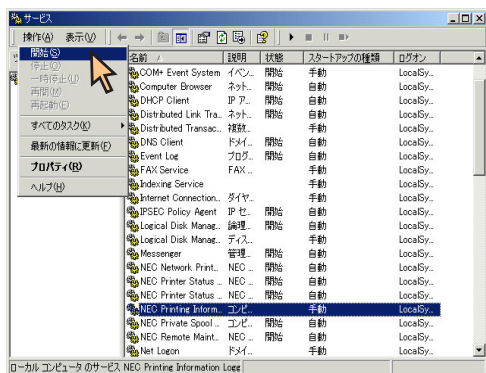
Step 1 印刷ログ出力機能を設定する

1. 「PrintAgent」ツールバーの設定ボタンメニュー、または[MultiWriter 2300]の[PrintAgentシステムメニュー]からPrintAgentのプロパティを開く。

2. [LANボード使用時のPSW表示]を[印刷終了まで表示]を選び、[OK]をクリックする。

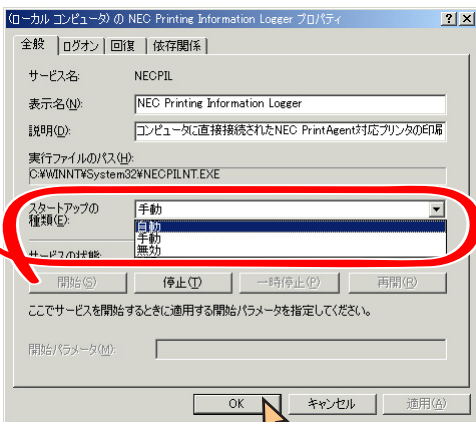
LANボード接続されているプリンターを共有している場合のみ、[PrintAgentのプロパティ]ダイアログボックスで設定してください。

この後の手順3.以降はOSごとに説明します。

＜Windows 2000の場合＞

3. [コントロールパネル]の[管理ツール]アイコンをダブルクリックする。

4. [サービス]アイコンをダブルクリックする。

5. **リストビューから[NEC Printing Information Logger]を選んで、[操作]メニューの[開始]をクリックする。**

6. **OSを再起動したときにも自動的にサービスを起動する場合は、下記の手順でサービスの設定をする。**

① **[操作]メニューから[プロパティ]を開く。**

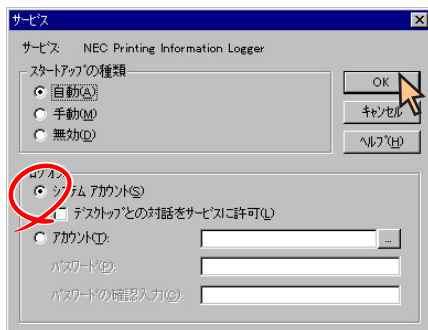
② **[全般]シートの[スタートアップの種類]で[自動]を選び、[OK]をクリックする。**

<Windows NT 4.0の場合>

3. **[コントロールパネル]の[サービス]アイコンをダブルクリックする。**

4. **リストボックスから[NEC Printing Information Logger]を選んで、[開始]をクリックする。**

5. OSを再起動したときにも自動的にサービスを起動する場合は、下記の手順でサービスの設定をする。

① [スタートアップ]をクリックする。

② [サービス]ダイアログボックスの[スタートアップの種類]で[自動]を選び、[OK]をクリックする。

Step 2　印刷ログファイルを出力する

印刷ログ出力機能を有効にする設定をして、サービスが起動すると、PrintAgentをインストールしたフォルダーに「LOG」というフォルダーが作成されます。

また、印刷が行われると、そのフォルダー内に「NEC MultiWriter 2300.log」というログファイルが作成され、印刷履歴情報が記録されます。

CドライブにPrintAgentをインストールし、NEC MultiWriter 2300で印刷を行ったとき、ログファイルは以下のフォルダーに作成されます。
なお、ログファイルのファイルネームは[プリンタ]フォルダーに登録した名前になります。

ログファイル：C:\PrintAgent\LOG\NEC MultiWriter 2300.log

印刷するたびにログファイルには次のような情報が記録されます。

“プリンタ名”,“ドキュメント名”,“ドキュメント所有者名”, 印刷開始日, 印刷開始時刻, 印刷終了日, 印刷終了時刻,印刷枚数,

（例）　ログファイルの内容

"NEC MultiWriter 2300", "アドレス一覧 - メモ帳", "近藤", 2000/07/23, 13:28:46,2000/07/23, 13:28:58, 2,
"NEC MultiWriter 2300", "「PrintAgent」ツールバーとは？", "井口", 2000/07/25, 13:29:11, 2000/07/25, 13:29:15, 1,
"NEC MultiWriter 2300", "W2Kprlog", "土橋", 2000/07/25, 13:30:09, 2000/07/25, 13:30:18, 1,
"NEC MultiWriter 2300", "会議資料", "川村", 2000/07/27, 13:30:38, 2000/07/27, 13:30:54, 4,

ログファイルについて

- ログファイルはCSV形式で記録されます。このファイル形式は表計算ソフトやデータベースソフトなどで読み込むことができます。
- ログファイルのサイズが1MB を超えると自動的にバックアップされます。バックアップファイルの拡張子は".log"から".000", ".001"...のようになります。
- OSによっては、日付、時間の記録形式が上記の例とは異なる場合があります。

リモート電源制御

ネットワーク上にあるLANプリンターの電源をプリンターステータスウィンドウからONすることができます。
この機能を利用するためには次のステップが必要です。Windows 98/95/2000/NT 4.0でご利用になれます。
また、プリンターがリモート電源制御対応LANアダプタ(型番 PR-NP-03TR2)に接続されている場合のみ有効な機能です。

Step 1 電源制御の設定をする

Step 2 プリンターの電源をONにする

Step 1　電源制御の設定をする

Step1ではOSごとに次の手順で設定します。

LANアダプターの設定が正しく行われていることを確認してください。(設定方法はLANアダプターの取扱説明書かLANアダプターに添付のCD-ROMに収録されているオンラインマニュアルをご覧ください。)

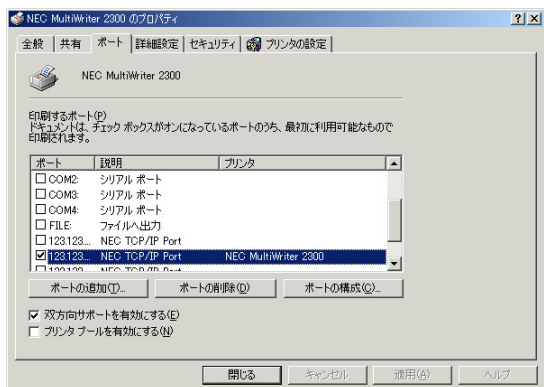
1. [プリンタ]フォルダーから対象プリンターの[プロパティ]ダイアログボックスを開く。

2. <Windows 98/95の場合>

[詳細]シートの[印刷のポート]で「NEC TCP/IP Port」を選択後、[ポートの設定]を選択し[NEC TCP/IP Printing System]ダイアログボックスを開く。

Windows 2000/NT 4.0の場合、Administrators権限を持つユーザーが設定してください。

＜Windows 2000の場合＞

［ポート］シートの印刷するポートで「NEC TCP/IP Port」を選択後、［ポートの構成］を選択し［NEC Network Port］ダイアログボックスを開く。

＜Windows NT 4.0の場合＞

［ポート］シートの印刷するポートで「NEC TCP/IP Port」を選択後、［ポートの構成］を選択し［NEC Network Port］ダイアログボックスを開く。

3. ［電源制御する］をチェックする。

4. LANアダプターの［MACアドレス］を入力し［OK］をクリックする。

プリンターー本体およびLANアダプターの電源が入っている場合は、［検索］をクリックすることで、自動的にMACアドレスを検索することができます。

本機能はプリンターがリモート電源制御対応LANアダプタ（型番：PR-NP-03TR2）に接続されている場合のみ有効な機能です。

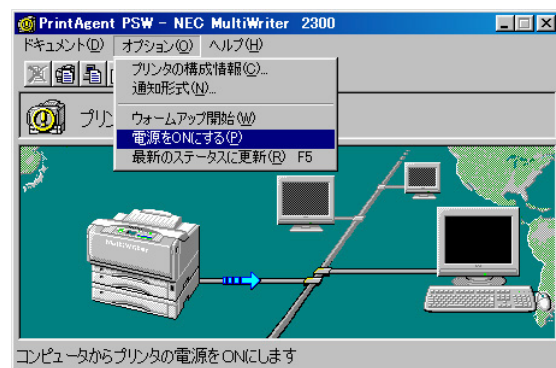
＜Windows 98/95の場合＞

＜Windows 2000の場合＞

＜Windows NT 4.0の場合＞

Step 2 プリンターの電源をONにする

プリンタステータスウィンドウからプリンターの電源をOFFにすることはできません。プリンターの電源をOFFにするには、プリンタ管理ユーティリティーを利用すると行えます。詳しくは、LANアダプターの取扱説明書か、LANアダプターに添付のCD-ROMに収録されているオンラインマニュアルをご覧ください。

プリンタステータスウィンドウの[リモート電源ON]ボタンをクリックするか、[オプション]メニューの[電源をONにする]を選択します。

Web PrintAgent

Web PrintAgentとはプリンターサーバーが管理しているプリンターの状態の参照や、プリンターの設定の参照と変更を、クライアントからネットワーク上のコンピューターの汎用ブラウザーを利用して見ることのできる機能です。

次の手順でWeb PrintAgentの準備をします。

1. **プリントサーバーのコンピューターにWebサーバーをインストールする。**

Webサーバーはマイクロソフト社のホームページからダウンロードするかOSに添付のものを使用してください。

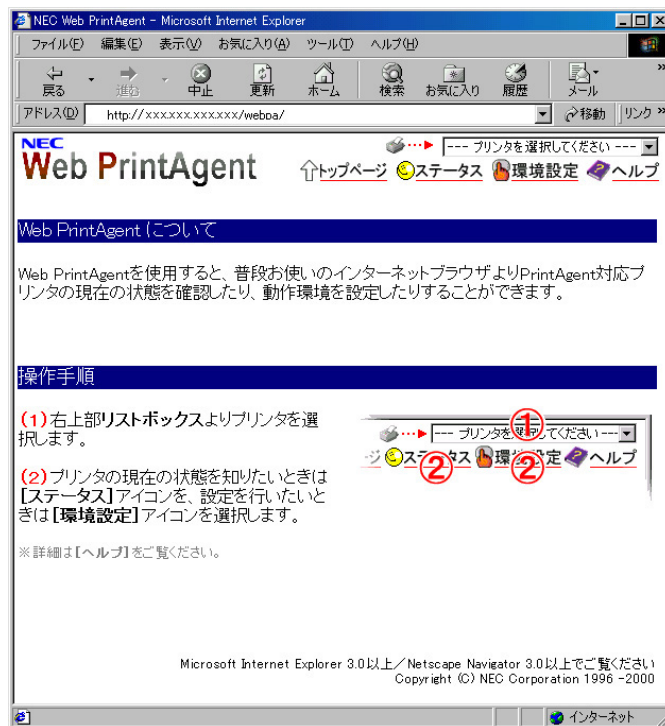
2. **クライアントのコンピューターにブラウザーソフトウエアをインストールする。**

3. **プリントサーバーのコンピューターにWeb PrintAgentをインストールする。**

プリンターソフトウエアを管理者向けとしてインストールします。（詳しくはユーザーズマニュアルを参照してください。）

お使いのブラウザーで次の場所を指定して開くと以下のトップページ画面が表示されます。詳細なWeb PrintAgentの使い方についてはWeb PrintAgentの「ヘルプ」を参照ください。

http://xxx.xxx.xxx.xxx/webpa/

（下線部はWebサーバーをインストールしたコンピューターのIPアドレスか、IPアドレスと対応させたコンピューター名です。）

上記の画面はMicrosoft Internet Explorer 5.0 日本語版で表示したときの例です。お使いのブラウザーの種類、バージョンによって画面の表示が多少異なります。また画面のデザインはソフトウエアの改版によって変更されることがあります。

索引

英数字

イ

ウ

オ

カ

キ

ク

サ

シ

ス

セ

NEC MultiWriter 2300/2100/210S
オンラインマニュアル　プリンターソフトウエアの詳細

2000年　7月　初版

日本電気株式会社
東京都港区芝五丁目7番1号
TEL（03）3454-1111（代表）